

平成19年1月－12月研究業績目録

(前段：和文業績)
(後段：欧文業績)

技術評価部

Department of Technology Assessment and Biostatistics

学術雑誌に発表した原著論文

和田正道, 丹後俊郎. 食中毒発生時における摂食時点の新しい推定法の開発. 食品衛生学雑誌 2007; 48: 27-34.

和田正道, 丹後俊郎. 原因物質別による食中毒発生時における摂食時点の推定. 食品衛生学雑誌 2007; 48: 69-76.

土井由利子, 横山徹爾, 酒井美良. 日本における難病による死亡の時系列推移 (1972-2004年). 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10): 684-94.

横山顕, 大森泰, 横山徹爾, 佐藤靖夫, 川久保博文, 水上健. 大酒家における食道表在癌内視鏡切除後の2次癌一癌のない大酒家の長期経過との比較. 胃と腸 2007; 42(9): 1365-74.

学術雑誌に発表した総説

大坪浩一, 石井敏弘, 梶本修身, 信川益明. 地域医療計画の政策動向からみた「医療圏」の概念の誤解と展望. 病院設備 2007; 49: 165-6.

著書

丹後俊郎, 横山徹爾, 高橋邦彦. 空間疫学への招待. 東京: 朝倉書店; 2007.

山岡和枝. 「健康感」と関連する社会・文化要因―「東アジア価値観調査」と「医療と文化調査」結果の分析. 吉野諒三, 編. 東アジア国民性比較 データの科学. 東京: 勉誠出版; 2007. p.71-88.

山岡和枝, 李相侖. 健康と社会文化的要因―2003年度韓国調査結果報告. 吉野諒三, 編. 東アジア国民性比較 データの科学. 東京: 勉誠出版; 2007. p.109-122.

横山徹爾, 他分担執筆. 日本栄養・食糧学会, 編. 栄養・食糧学用語辞典. 東京: 建帛社; 2007.

横山徹爾. 衛生の主要指標. 厚生統計協会, 編. 図説・国民衛生の動向2007. 東京: 厚生統計協会; 2007. p.23-37.

抄録のある学会報告

土居正明, 高橋邦彦, 丹後俊郎. シグナル検出のためのスキャン統計量 --FDA AERS データへの適用--. 2007年度日本計量生物学会シンポジウム; 2007.5.26; 東京. 講演予稿集. p.1-6.

高橋邦彦, 丹後俊郎. Flexible space-time scan statistic

による症候サーベイランスの解析. 2007年度日本計量生物学会シンポジウム; 2007.5.26; 東京. 講演予稿集. p.7-12.

高橋邦彦, 丹後俊郎. 疾病集積性検出のための新たなスキャン統計量. 2007年度統計関連学会連合大会; 2007.9.8; 神戸. 講演報告集. p.177.

井上永介, 西川正子, 高橋邦彦, 丹後俊郎. 共変量を連続変量とした場合の折れ線 Cox モデルと連続変量にカテゴリ化を行った Cox モデルの比較. 2007年度統計関連学会連合大会; 2007.9.8; 神戸. 講演報告集. p.211.

橘とも子, 高橋邦彦, 桜山豊夫, 細川えみ子. 新人看護職員における早期離職原因に関する検討. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 344.

土居正明, 高橋邦彦, 西川正子, 丹後俊郎. シグナル検出のための scan 統計量―FDA AERS データへの適用―. 2007年度日本計量生物学会シンポジウム; 2007.5.26; 東京. 講演報告集. p.1-6.

西川正子, 丹後俊郎, 大瀧慈. 臨床比較試験における2つのエンドポイントの相対的な医学的重さを考慮した複合エンドポイントの検定の適用について. 2007年度統計関連学会連合大会; 2007.9.8; 神戸. 講演報告集. p.177.

西川正子. 生存時間解析における競合危険モデル入門. 2007年度統計関連学会連合大会チュートリアルセミナー; 2007.9.6; 神戸. 大会チュートリアルセミナー冊子. p.1-26.

渡辺満利子, 山岡和枝, 丹後俊郎. 青少年における食生活の現状評価と効果的食教育のモデル化: 実態調査結果とクラスター無作為割付に基づく RCT のためのプロトコルの策定. 第17回日本疫学会学術総会; 2007.1.26; 広島. Journal of Epidemiology 2007; 17(1): 140.

山岡和枝. 米国における「生命観と文化」CATI 調査報告. 日本行動計量学会第35回大会; 2007.9.2-8; 京都. 発表論文抄録集. p.301-302.

渡辺満利子, 山岡和枝, 丹後俊郎, 可知悠子, 横塚昌子. 女子中高生における痩身傾向・低体重とエネルギー摂取に関連する要因. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 605.

可知悠子, 山岡和枝, 渡辺満利子, 小林廉毅, 山岡和枝, 丹後俊郎. 体型認識の歪みと食生活および QOL の関連―男女の比較―. 第66回日本公衆衛生学会総会;

2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 605.

大坪浩一. 秩父地域における住民の受療行動と生活行動圏. 日本地理学会2007年春期学術大会; 2007.3; 東京. 日本地理学会発表要旨集 2007; 71: 188.

大坪浩一. 地域医療計画のための医療情報地図化の試み—簡易型 GPS「みんなの地図2」の活用例—. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 244.

大坪浩一, 石井敏弘, 梶本修身, 信川益明. 地域医療計画の視点からみた「第五次改正医療法」の課題と展望. 第36回日本医療福祉設備学会; 2007.11; 東京. 予稿集. p.98.

竹野隆太, 天野浩之, 鈴木未千夫, 梶田雅義, 大坪浩一, 石井敏弘, 他. 調節機能解析装置 (AA-1) による眼精疲労評価法の検討. 第36回日本医療福祉設備学会; 2007.11; 東京. 予稿集. p.95.

三宅吉博, 田中景子, 佐々木敏, 大矢幸弘, 横山徹爾, 清原千香子, 廣田良夫. 母乳摂取とアトピー性皮膚炎発症との関連・大阪母子保健研究. 第77回日本衛生学会総会; 2007.3.25-28; 大阪. 抄録集. p.500.

横山徹爾. 例題で学ぶ研究計画と統計解析. 日本補綴歯科学会第116回学術大会; 2007.5.18-20; 神戸. 抄録集. p.59.

横山顕, 堤絵梨, 中村知瑞, 諏訪芳秀, 横山徹爾. アルコール中毒症の日本人男性における唾液中のアセトアルデヒド高濃度への ADH1B 遺伝子型及び口腔内細菌の関与. 第66回日本癌学会学術総会; 2007.10.3-5; 横浜. 総会記事. p.102.

横山雅子, 横山徹爾, 船津和夫, 山下毅, 細合浩司, 近藤修二, 中村治雄. 健康診断の問診票における頭痛の有病率とその背景因子. 第48回日本人間ドック学会学術大会; 2007.8.30-31; 東京. 抄録集. p.250.

横山徹爾, 由田克士, 吉池信男. 都道府県民健康・栄養調査における複数日調査の方法に関する検討. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 610.

Duki Zulkarnain, 土井由利子, 酒井美良, 横山徹爾. Geographical Analyses of Mortality Caused by Severe Acute Pancreatitis in Japan. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 241-2.

土井由利子, 横山徹爾, 酒井美良, 中村好一. クロイツフェルト・ヤコブ病による死亡の時系列推移. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 241.

三宅吉博, 田中景子, 佐々木敏, 清原千香子, 大矢幸弘, 福島若葉, 横山徹爾, 廣田良夫. 母乳と喘息, 喘息のリスク 大阪母子保健研究. 第57回日本アレルギー学会秋期学術総会; 2007.11.1-3; 横浜. 抄録集. p.1093.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

丹後俊郎, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「臨床研究登録制度の検索ポータルサイトの開発に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.3.

丹後俊郎, 高橋邦彦. 集積地域同定のための新たな検定手法の開発に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地理及び社会状況を加味した地域分析方法の開発に関する研究」(主任研究者: 浅見泰司) 平成18年度研究報告書. 2007.3. p.18-23.

丹後俊郎. 情報の伝播の統計モデルに関する研究. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地域における新たな普及啓発方法の開発に関する研究」(主任研究者: 浮田徹嗣) 平成18年度研究報告書. 2007.3. p.16-46.

山岡和枝, 小林国彦, 生越喬二, 井上賢一. 平成17年度—平成18年度 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2) 研究成果報告書保健医療のアウトカム評価—多文化間における QOL スコア変換の同等性. 2007.3.

横山徹爾, 水嶋春朔, 松本秀子. 健康診査の項目による循環器疾患リスク評価方法に関する考察. 厚生労働省科学研究費補助金健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロコールに関する研究」(主任研究者: 水嶋春朔) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.3. p.29-38.

横山徹爾, 齋藤京子. 妊婦の栄養と1歳6ヶ月時のアレルギー疾患との関連に関する前向きコホート研究—大阪母子保健研究—. 厚生労働科学研究費補助金免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「衛生仮説を含めたアレルギー性疾患の発症関連環境要因の解明に関する前向きコホート及び横断研究」(主任研究者: 三宅吉弘) 平成17年度研究報告書. 2007.3. p.33-46.

横山徹爾. 都道府県別指標の精度とサンプリング・統計解析手法. 厚生労働省科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「都道府県等の生活習慣病リスク因子の格差及び経年モニタリング手法に関する検討」(主任研究者: 吉池信男) 報告書. 2007.3. p.8-13.

横山徹爾, 置村康彦, 千原和夫. 間脳下垂体機能障害の長期予後追跡調査の解析計画. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「間脳下垂体機能障害調査研究班」(主任研究者: 千原和夫) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.3. p.80-83.

西川正子, 山岡和枝, 横山徹爾, 丹後俊郎, 種井優次. 臨床研究(試験)登録情報を検索広報するポータルサイトの開発. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「臨床研究登録制度の検索ポータルサイトの開発に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.3. p.7-43.

山岡和枝, 西川正子, 横山徹爾. 臨床試験登録システム, 登録項目のあり方と臨床試験啓発普及の方法に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事

業「臨床研究登録制度の今後のあり方に関する研究」平成17年度総括・分担研究報告書. 2007.3. p.45-52.

土井徹, 鈴木元, 花田信弘, 今井博久, 大江裕一郎, 西川正子, 星佳芳, 藤井仁. 研究者を対象とした倫理指針の運用及び遵守状況の調査. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「倫理指針の運用及び遵守状況の調査」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.3. p.79-123.

星佳芳, 西川正子, 大江裕一郎, 藤井仁, 母里裕子. 臨床研究と倫理指針に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「倫理指針の運用及び遵守状況の調査」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.3. p.124-134.

橋本英樹, 山岡和枝, 他. 国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究 統計編—「暮らし向きと健康」調査の概要と結果—. 平成18年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業(統計情報総合研究事業)研究報告書. 2007.3.

鄭躍軍, 山岡和枝, 他. 東アジア環境意識国際比較調査—2006年度台北調査とソウル調査. 総合地球環境学研究所 研究レポート03. 2007.3.

Originals

Tango T. A class of multiplicity-adjusted tests for spatial clustering based on case-control point data, *Biometrics* 2007 ; 63 : 119-127.

Mitani S, Kamata H, Fujiwara M, Aoki N, Okada S, Watanabe M, Tango T, Mori S. Missense mutation with/without nonsense mutation of the p53 gene is associated with large cell morphology in human malignant lymphoma. *Pathology International* 2007 ; 57 : 430-436.

Yokoyama A, Omori T, Tanaka Y, Yokoyama T, Sugiura H, Mizukami T, Matsushita S, Higuchi S, Maruyama K, Ishii H, Hibi T. p53 protein accumulation, cancer multiplicity, and aldehyde dehydrogenase-2 genotype in Japanese alcoholic men with early esophageal squamous cell carcinoma. *Cancer Lett* 2007 Mar ; 247(2) : 243-52.

Yokoyama A, Yokoyama T, Omori T, Matsushita S, Mizukami T, Takahashi H, Higuchi S, Maruyama K, Ishii H, Hibi T. *Helicobacter pylori*, chronic atrophic gastritis, inactive aldehyde dehydrogenase-2, macrocytosis, and multiple upper aerodigestive tract cancers and the risk for gastric cancer in alcoholic Japanese men. *Journal of Gastroenterology and Hepatology* 2007 Feb ; 22(2) : 210-7.

Asakage T, Yokoyama A, Haneda T, Yamazaki M, Muto M, Yokoyama T, Kato H, Igaki H, Tsujinaka T, Kumagai Y, Yokoyama M, Omori T, Watanabe H. Genetic polymorphisms of alcohol and aldehyde dehydrogenases and drinking, smoking, and diet in Japanese men with oral and pharyngeal squamous cell carcinoma. *Carcinogenesis* 2007 Apr ; 28(4) : 865-74.

Doi Y, Yokoyama T, Sakai M, Nakamura Y. Creutzfeldt-Jakob disease mortality in Japan, 1979-2004 : Analysis of national death certificate data. *J Epidemiol* 2007 Jul ; 17 : 133-9.

Miyake Y, Ohya Y, Tanaka K, Yokoyama T, Sasaki S, Fukushima W, Ohfuji S, Saito K, Kiyohara C, Hirota Y, Osaka Maternal and Child Health Study Group. Home environment and suspected atopic eczema in Japanese infants : The Osaka Maternal and Child Health Study.

Pediatr Allergy Immunol 2007 Aug ; 18 : 425-32.

Ishiwaki A, Yokoyama T, Fujii H, Saito K, Nozue M, Yoshita K, Yoshiike N. A statistical approach for estimating the distribution of usual dietary intake to assess nutritionally at-risk populations based on the Japanese new DRIs. *J Nutr Sci Vitaminol* 2007 Aug ; 53 : 337-44.

Yokoyama A, Tsutsumi E, Imazeki H, Suwa Y, Nakamura C, Yokoyama T. Contribution of the alcohol dehydrogenase-1B genotype and oral microorganisms to high salivary acetaldehyde concentrations in Japanese alcoholic men. *Int J Cancer* 2007 Sep ; 121 : 1047-1054.

Okamoto K, Kihira T, Kondo T, Kobashi G, Washio M, Sasaki S, Yokoyama T, Miyake Y, Sakamoto N, Inaba Y, Nagai M. Nutritional status and risk of amyotrophic lateral sclerosis in Japan. *Amyotroph Lateral Scler* 2007 Oct ; 8(5) : 300-4.

Proceedings with abstracts

Tango T, Doi M, Takahashi K, Nishikawa M. A scan statistic for detecting highly significant signals with an application to the FDA adverse event reporting system. In : 28th annual conference of the international society for clinical biostatistics ; 29 July-2 August 2007 ; Alexandropolis, Greece. Abstracts. p.144.

Uehara H, Takahashi K, Nishikawa M, Tango T. Multinomial-Gamma-Poisson mixture models for randomized controlled trials with count data. In : 28th annual conference of the international society for clinical biostatistics ; 29 July-2 August 2007 ; Alexandropolis, Greece. Abstracts. p.149.

Takahashi K, Tango T. Spatial scan statistics based on \$p\$-values for detecting disease clusters. In : 28th annual conference of the international society for clinical biostatistics ; 29 July-2 August 2007 ; Alexandropolis, Greece. Abstracts. p.214.

Tango T. A spatial scan statistic scanning only the regions with elevated risk. In : 2007. conference of the International Society of Disease Surveillance ; October 11-12 2007. ; Indianapolis, IN, USA. Abstract. *Advances in*

Disease Surveillance 2007 ; 4 : 117.

Takahashi K, Tango T. A scan statistic based on anscombe's variance stabilization transformation, In : 2007. conference of the International Society of Disease Surveillance ; October 11-12 2007. ; Indianapolis, IN, USA. Abstract. Advances in Disease Surveillance 2007 ; 4 : 116.

Tango T. Major activities of biometric society of Japan and Japanese biostatisticians : Past, present and future. In : East Asia Regional Biometric Conference ; 9-11 December 2007 ; Tokyo, Japan. Abstract book. p.19.

Tango T. Tests for spatial randomness : Detection of disease clustering and outbreak threat (Keynote Lecture). In : East Asia Regional Biometric Conference ; 9-11 December 2007 ; Tokyo, Japan. Abstract book. p.14.

Takahashi K, Tango T. Scan statistics for disease clustering. (Invited session) In : East Asia Regional Biometric Conference ; 9-11 December 2007 ; Tokyo, Japan. Abstract book. p.28.

Nishikawa M, Tango T, Ohtaki M. Statistical tests for new composite hypotheses reflecting the relative clinical importance quantitatively in randomized clinical trials. In : 28th annual conference of the international society for clinical biostatistics ; 29 July-2 August 2007 ; Alexandropolis, Greece. Abstracts. p.114.

Nishikawa M, Tango T, Ohtaki M. Simple statistical tests for new composite hypotheses in randomized clinical trial reflecting the relative clinical importance. (Invited session) In : East Asia Regional Biometric Conference ; 9-11 December 2007 ; Tokyo, Japan. Abstract book. p.22.

Yamaoka K. Health and culture in East Asia and the US : a Population-based cross cultural surveys. In : International Meeting of the Psychometric Society ; July 9-13, 2007, Tokyo, Japan. IMPS 2007., Abstract Book.

Yamaoka K, Tango T. Combining multiple endpoints in meta-analysis : Effects of lifestyle modification on metabolic syndrome. In : 28th annual conference of the international society for clinical biostatistics ; 29 July-2 August 2007 ; Alexandropolis, Greece. Abstracts. p.227.

Watanabe M, Yamaoka K, Kachi Y, Yokotsuka M, Tango T. Relationships between dietary intakes and eating behavior in Japanese urban adolescents. In : 10th Asian Congress of Nutrition ; September 9-13 2007 ; Taipei, Taiwan. Abstract Book. p.109.

Yamaoka K, Tango T. Effects of lifestyle modification on metabolic syndrome : Resolution rate and combining multiple endpoints in meta-analysis. East Asia Regional Biometric Conference ; 9-11 December 2007 ; Tokyo, Japan. Abstract Book. p.60.

政策科学部

Department of Policy Sciences

学術雑誌に発表した原著論文

石川雅彦, 遠藤弘良, 林謙治, 篠崎英夫. 臨床研修の到達目標に関する研究—卒前医学教育への前倒し導入に関して—. 医学教育 2007 ; 39(1) : 19-27.

勝村聖子, 佐藤慶太, 玉置洋, 野村義明, 佐藤哲二. 社会歯科学履修法への新しい取り組み—シナリオ作成—. 鶴見歯学 2007 ; 33(2) : 75-86.

学術誌に発表した総説

石川雅彦. 新人ナース覚書 入職前にこれだけは伝えておきたい⑨ —キャリア・アップ 自己の成長のために—. 看護教育 2007 ; 48(1) : 75-77.

石川雅彦. 新人ナース覚書 入職前にこれだけは伝えておきたい⑩ —看護師に対するイメージ 「白衣の天使」から専門職としての看護師へ—. 看護教育 2007 ; 48(2) : 164-166.

石川雅彦. 新人ナース覚書 入職前にこれだけは伝えておきたい⑪ —確かなキャリアを積むために—. 看護教育 2007 ; 48(3) : 242-244.

石川雅彦. 新人ナース覚書 入職前にこれだけは伝えておきたい⑫ —新たなステップに向かって—. 看護教育

2007 ; 48(4) : 341-343.

石川雅彦, 長谷川敏彦, 種田憲一郎, 長谷川友紀, 平尾智広. コンピテンシーに基づいた卒前医療安全教育. 医学教育 2007 ; 38(1) : 47-50.

岡本初美, 石川雅彦, 長谷川敏彦. 医療安全に関する新人看護師のコンピテンシー 自己評価表. 看護展望 2007 ; 32(2) : 160-166.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス①いま医療安全研修に求められているものは何か. 看護管理 2007 ; 17(1) : 64-68.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス②医療安全研修の策定過程における目標の設定と対象の選択. 看護管理 2007 ; 17(2) : 192-196.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス③目標と対象に応じた医療安全研修方法の選択. 看護管理 2007 ; 17(3) : 289-293.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス④ RCA (根本原因分析法) を用いた医療安全研修の実際. 看護管理 2007 ; 17(4) : 362-365.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス⑤これから求められる医療安全研修企画のポイント

(1). 看護管理 2007 ; 17(5) : 464-467.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス⑥これから求められる医療安全研修企画のポイント

(2). 看護管理 2007 ; 17(6) : 546-550.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス⑦資源・人材の調整 (1) 研修に関する資源の課題. 看護管理 2007 ; 17(7) : 616-620.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス⑧資源・人材の調整 (2) 人材の育成と組織の活性化. 看護管理 2007 ; 17(8) : 690-693.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス⑨研修評価・1, 職種・レベル別評価と評価方法. 看護管理 2007 ; 17(9) : 792-796.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス⑩研修評価・1, 研修評価の活用と今後必要となる評価. 看護管理 2007 ; 17(10) : 892-895.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス⑪医療安全研修における今後の課題. 看護管理 2007 ; 17(11) : 994-998.

石川雅彦. 戦略的医療安全研修—計画から評価までのプロセス⑫医療安全研修から医療の質向上へ. 看護管理 2007 ; 17(12) : 1084-1088.

石川雅彦. 安全管理者が身につけるべき知識とスキル—国立保健医療科学院における長期コース「安全管理研究科」の研修から—. 看護管理 2007 ; 17(12) : 1034-1039.

石川雅彦. 医療の質向上を担う安全管理のエキスパート育成のコンテンツ—国立保健医療科学院における上級者を対象とした医療安全管理者研修の概要と実施状況から—. 看護管理 2007 ; 17(12) : 1055-1060.

石川雅彦. 近年の医療事故, ヒヤリ・ハット事例から読み解く“病棟管理者に求められる役割”. ナースマネジャー 2007 ; 9(10) : 6-9.

石川雅彦. 処方間違いを防ぐには. 臨床研修プラクティス 2007 ; 14(7) : 16-22.

岡本初美, 山下和子, 福原洋子, 福田斐子, 石川雅彦. 医療安全に関する, 新人看護師のコンピテンシーディクショナリーの作成. 全国自治体病院協議会雑誌 2007 ; 46(6) : 87-91.

種田憲一郎. RCA (Root Cause Analysis) とは. 医療の質・安全学会誌 2007 ; 2(3) : 9-14.

児玉知子, 林謙治. 思春期の妊娠・分娩 : 外国. 周産期医学 2007 ; 37(8) : 973-978.

児玉知子, 今井博久, 福島富士子, 綿引信義, 橘とも子. 地域保健従事者を対象としたエイズ対策研修. 保健医療科学 2007 ; 56(3) : 197-202.

野村義明, 玉置洋, 花田信弘. 栄養素の違いによる口腔バイオフィルムの生育とカルシウム沈着への影響. 歯科衛生士 2007 ; 31(8) : 91.

野村義明, 玉置洋, 薄井由枝, 花田信弘. レジンとガラスアイオノマーのシーラントのう蝕予防効果の比較. 歯科

衛生士 2007 ; 31(12) : 91.

著書

石川雅彦. RCA- 根本原因分析法 - 実践マニュアル. 東京 : 医学書院 ; 2007.

石川雅彦. 医師の立場から. 古川裕之, 土屋文人, 編. 薬学生のための医薬品安全管理入門. 東京 : 医学書院 ; 2007. p.163-169.

野村義明, 玉置洋, 西川原総生, 柘植紳平, 花田信弘. う蝕のリスクリダクション. 保存・審美修復&カリオロジーと全治療分野編. 現代の治療指針. 東京 : クインテッセンス出版 ; 2007. p.58-59.

抄録のある学会報告

石川雅彦, 種田憲一郎. 上級者向け医療安全管理者研修実施後の評価. 第9回日本医療マネジメント学会 ; 2007.7.14 ; 東京. 医療マネジメント学会雑誌 2007 ; 8(1) : 215.

石川雅彦, 種田憲一郎. 医療安全管理者研修—長期コースの実施と展望. 第9回日本医療マネジメント学会 ; 2007.7.14 ; 東京. 医療マネジメント学会雑誌 2007 ; 8(1) : 220.

伊都香, 石川雅彦, 種田憲一郎. e- ラーニングを活用した医療安全教育の取り組み. 第9回日本医療マネジメント学会 ; 2007.7.14 ; 東京. 医療マネジメント学会雑誌 2007 ; 8(1) : 216.

中根丈晴, 阿久澤政美, 齊藤京子, 高橋陽子, 美原盤, 種田憲一郎, 石川雅彦. Failure Mode Effects Analysis による持参薬安全管理. 第9回日本医療マネジメント学会 ; 2007.7.14 ; 東京. 医療マネジメント学会雑誌 2007 ; 8(1) : 216.

石川雅彦, 遠藤弘良, 林謙治, 篠崎英夫. 臨床研修の到達目標における, 卒前医学教育への前倒し導入の検討. 第39回日本医学教育学会 ; 2007.7.27 ; 盛岡. 医学教育 2007 ; 38(suppl) : 29.

石川雅彦, 曾根智史. 初期臨床研修「地域保健・医療」研修における医療安全研修. 第39回日本医学教育学会 ; 2007.7.27 ; 盛岡. 医学教育 2007 ; 38(suppl) : 30.

石川雅彦. 病院管理者にたいする医療安全リーダーシップ研修. 第46回自治体病院学会 ; 2007.9.27 ; 札幌. 同抄録集 (CD). 2007. 管 -32.

石川雅彦. 看護管理者からみた苦情・クレーム対応の現状と課題. 第46回自治体病院学会 ; 2007.9.28 ; 札幌. 同抄録集 (CD). 2007. 看 -413.

石川雅彦. 病院管理者からみた苦情・クレーム対応の現状と課題. 病院管理学会 ; 2007.10.26 ; 横浜. 病院管理 2007 ; 44(suppl) : 171.

石川雅彦, 平尾智広. 無床診療所等における医療安全管理体制の検討. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10

特別附録) : 347.

石川雅彦. 医療機関の管理者における医療安全管理者への権限委譲. 第2回医療の質・安全学会; 2007.11.23; 東京. 医療の質・安全学会雑誌 (プログラム・抄録集) 2007; 2(第2巻増補号) : 139.

石川雅彦, 遠藤弘良, 林謙治, 篠崎英夫. 医療安全から見た, 卒後臨床研修到達目標の再評価. 第2回医療の質・安全学会; 2007.11.24; 東京. 医療の質・安全学会雑誌 (プログラム・抄録集) 2007; 2(第2巻増補号) : 148.

石川雅彦, 児玉知子. 医療の安全・質におけるメンタルヘルス対策. 第2回医療の質・安全学会; 2007.11.24; 東京. 医療の質・安全学会雑誌 (プログラム・抄録集) 2007; 2(第2巻増補号) : 199.

泉峰子, 星佳芳, 石川雅彦, 大塚賀政昭, 熊川寿郎, 杉山英男, 武村真治, 橘とも子, 筒井孝子, 土井徹, 土井由利子, 中板育美, 西村秋生, 東野定律, 平野かよ子, 藤井仁, 藤原真一郎, 水嶋春朔, 山口一郎, 林謙治. 国立保健医療科学院「ガイド情報ライブラリー」における健康危機管理情報などのインターネット配信について. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録) : 243.

種田健一郎, 相澤裕紀, 児玉知子, 石川雅彦. 安全文化の醸成につなげる安全文化の測定 Survey to facilitate safety culture. 第2回医療の質・安全学会学術集会&国際シンポジウム; 2007.11.23-25; 東京. 医療の質・安全学会雑誌 (プログラム・抄録集) 2007; 2(第2巻増補号) : 144.

種田憲一郎. 多職種による医療安全教育カリキュラム開発 モデル Model for development of interprofessional patient safety education. 第2回医療の質・安全学会学術集会&国際シンポジウム; 2007.11.23-25; 東京. 医療の質・安全学会雑誌 (プログラム・抄録集) 2007; 2(第2巻増補号) : 77. (ワークショップ)

児玉知子, 林謙治. 終末期医療全国調査 倫理委員会運営状況とインフォームドコンセントについて. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録) : 231.

児玉知子, 高塚三生. 若者への HIV 予防教育介入研究について. 第26回日本思春期学会総会; 2007; 東京. p.137.

児玉知子, 浅井篤, 板井孝彦. 医学部における医療倫理教育についての現状教育. 第2回医療の質・安全学会; 2007.11.23; 東京. 医療の質・安全学会雑誌 (プログラム・抄録集) 2007; 2(第2巻増補号) : 162.

児玉知子, 林謙治. 第45回日本病院管理学会学術総会; 2007; 東京. 病院管理学会雑誌 2007; 44(.suppl) : 228.

大澤絵里, 児玉知子. ジンバブエにおける HIV/AIDS 在宅ケアファシリテータのモチベーションの向上. 第22回日本国際保健医療学会全国総会; 2007.10.7-8; 大阪. 2007. p-075.

角田衣理加, 佐野祥平, 湯浅茂平, 牧野智彦, 山本健, 玉置洋, 野村義明, 前田伸子, 中川洋一. 仮性口臭症と口臭恐怖症の診断における問診票の有用性. 第56回日本口腔衛生学会・総会; 2007.10.3-5; 東京. 口腔衛生学会雑誌2007; 57(4) : 487.

海老沢政人, 山田毅, 内藤真理子, 玉置洋, 野村義明, 花田信弘. 砕氷艦「しらせ」行動中における隊員の口腔衛生環境の変化. 第56回日本口腔衛生学会・総会; 2007.10.3-5; 東京. 口腔衛生学会雑誌2007; 57(4) : 511.

その他学術報告書など

石川雅彦. 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術総合評価研究事業「無床診療所等における医療安全管理体制構築に関する研究」(課題番号: H18-医療一般-002). 平成18年度総括・分担研究報告書. 東京: 2007p.1-21,31-34.

石川雅彦. レジデントへの患者安全カリキュラム. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「コア・コンピテンシーに基づいた医療安全教育についての研究」(主任研究者: 長谷川友紀. H16-医療-038) 総合研究報告書. 東京: 2007. p.13-16.

石川雅彦. 財団法人セコム科学技術振興財団研究助成金「CRM (クルー・リソース・マネジメント) による, 高リスク領域における新医療安全システムの開発」(主任研究者: 石川雅彦) 平成18年度報告書. 東京: 2007.

林謙治, 石川雅彦. 臨床研修の到達目標に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術総合研究事業「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」(主任研究者: 篠崎英夫. H17-医療一般-013) 平成18年度報告書. 2007. p.39-53.

石川雅彦. 医師臨床研修制度・研修管理委員会・委員長研修から見た臨床研修の課題. 厚生労働科学研究補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「新医師臨床研修制度における研修医指導に関する研究」(主任研究者: 水嶋春朔) 平成17年-18年度総合研究報告書. 東京: 2007. p.58-69.

種田憲一郎. 医療安全ガイドラインの作成. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「新医師臨床研修制度における研修医指導に関する研究」(主任研究者: 水嶋春朔) 平成17-18年度研究報告書. 2007. p.50-57.

種田憲一郎. 米国における学生のための医療安全教育検討会議—学際的かつ多職種による医療安全教育カリキュラム開発モデル Third Annual Roundtable on: “Designing, Implementing and Assessing a Patient Safety Health Sciences Curriculum”. 医療の質・安全学会雑誌. 2007; 2(3) : 306-310.

児玉知子, 林謙治, 松島英介. 終末期医療の実態調査「インフォームドコンセントとケアについて」. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「終

末期医療の質の向上に関する研究」(主任研究者：林謙治. H18－医療－001) 平成18年度報告書. 東京：2007.

児玉知子, 林謙治. 終末期医療の実態調査「倫理委員会の設置・運営状況 (全国調査より)」。厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「終末期医療の質の向上に関する研究」(主任研究者：林謙治. H18－医療－001) 平成18年度報告書. 東京：2007.

児玉知子, 林謙治. 終末期医療の実態調査「全国調査－アンケート自由記載－」。厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「終末期医療の質の向上に関する研究」(主任研究者：林謙治. H18－医療－001) 平成18年度報告書. 東京：2007.

児玉知子. 英国における終末期医療の法的・倫理的課題への取り組み. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「終末期医療の質の向上に関する研究」(主任研究者：林謙治. H18－医療－001) 平成18年度報告書. 東京：2007.

児玉知子. 諸外国における健康危機体制の評価基準とe-ラーニングプログラムに関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標, 効果の評価および人育成に係るe-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究」(主任研究者：橘とも子. H18－健危－一般－003) 平成18年度報告書. 東京：2007.

児玉知子. 若者を対象としたHIV予防啓発教育について. 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「エイズ対策におけるテラーメイド予防啓発介入の効果の定量的評価」(主任研究者：松田智大. H18－エイズ－若手－004) 平成18年度報告書. 東京：2007.

玉置洋. 唾液検査による定期的な歯周病予防処置の効果に関する研究. 財団法人8020推進財団 公募研究課題 (主任研究者：和久田一成) 平成18年度報告書. 東京：財団法人8020推進財団；2007. p.26-32.

Originals

Kadoma Y, Kojima K, Tamaki Y, Nomura Y. Water Durability of Resin Bond to Pure Gold Treated with Various Adhesion Promoting Thiirane Monomers. Dental Material Journal 2007 ; 26(1) : 29-37.

Katsunura S, Nishikawara F, Tamaki Y, Nakamura Y, Sato K, Nomura Y, Hanada N. A randomized controlled trial by the 3DS for dental caries. Pediatric Dent J 2007 ; 17(1) : 1-7.

Imanaka M, Nomura Y, Tamaki Y, Katsumura S, Kimura Y, Igarashi C, Yuasa M, Wake S, Tanaka R, Shimoda S, Kobayashi K. Effectiveness of a radiology-anatomy instructional module in a clinical course on oral radiology. Oral Radiology 2007 ; 23(2) : 26-33.

Proceedings with abstracts

Ishikawa M, Hirao T. Patient safety in clinic with no beds. In : 19 th Annual National Forum on Quality Improvement in Health Care ; 2007 Dec ; Orland.

Sone T, Kato N, Mizushima S, Ishikawa M, Kodama T, Nishimura A, Hyoi N. Capacity building of professionals at NIPH, Japan – (1) Structure and goal setting of training courses at NIPH. In : The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama.

Kodama T, Ishikawa M, Taneda K, Nishimura A, Hyoi N, Sone T, Kato N, Mizushima S, Hayashi K. Capacity building of professionals at NIPH, Japan – training courses at NIPH : Hospital Management & Patient Safety. In : The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama.

Mizushima S, Ishikawa M, Takemura S, Nishimura A,

Sone T. Capacity building of professionals at NIPH, Japan – (1) Structure and of short term programme. In : The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama.

Taneda K, Sherwood GD, Hagen PC, Mayer D. Demonstrating a model for interdisciplinary health science education. In : ICN (International Council of Nurses) Conference and CNR 2007. (Nurse at the forefront : dealing with the unexpected) ; 2007.5.31-6.1 ; Yokohama.

Uehara N, Koizumi S, Kobayashi M, Taneda K, Takeda H, Hasegawa T, Gutierrez S, Hatlie M, Hibbert P, Loeb J, Sherman H, Schaaf T, Fletcher M, Fritsch K, Larizgoitia I, Lewalle P, Shuey D. In : WHO World Alliance for Patient Safety Meeting with Technical Experts from the South East Asian and Western Pacific Regions of the WHO ; 26 November 2007 ; Tokyo. Chunharas S. edited. Report of the Meeting. 2007.

Nomura Y, Tamaki Y, Sato T, Hanada N, Kamoi K. Screening of the periodontal disease by salivary enzymes. In: 85th General Session & Exhibition of the IADR ; 2007 March 23 ; New Orleans, Louisiana.

Katsumura S, Nomura Y, Tamaki Y, Hanada N. Risk factors for dental caries among school children in Japan. In: IADR 42nd annual meeting of Continental European and Israeli Division ; 2007 September 26-29 ; Thessaloniki, Greece.

Visual Media

Taneda K. Part 09 : A Hospital's immediate response to mass casualties due to a terrorist attack. In : ERIC summer session web courses “Epidemiologic aspects of military post-deployment health conditions, natural disasters and

terrorism.” 2007. <http://www.uwv.org/programs/displayevent.aspx?rID=17553&fID=4274>

Taneda K. Part 10 : Lessons from a hospital's response to mass casualties due to a terrorist attack. In : ERIC summer

session web courses “Epidemiologic aspects of military post-deployment health conditions, natural disasters and terrorism.” 2007. <http://www.uwv.org/programs/displayevent.aspx?rID=17554&fID=4274>

経営科学部

Department of Management Science

原著

菅原琢磨, 中村卓弘. 介護特定施設経営における事業性評価の一考察. 医療と社会 2007 ; 17(2) : 223-242.

総説

熊川寿郎. 戦略マネジメントシステムとしての BSC - PDCA サイクルの可視化. 看護管理 2007 ; 17(5) : 382-386.

奥野喜美子, 馬渡法子, 藤井美代子, 高野優子, 熊川寿郎. BSC で看護部の PDCA サイクルを回すー都立豊島病院看護科の取り組み. 看護管理 2007 ; 17(5) : 387-399.

小池律子, 雨谷容子, 古屋智子, 奥野喜美子, 熊川寿郎. BSC で病棟の PDCA サイクルを回すー都立豊島病院 6B 病棟の取り組み. 看護管理 2007 ; 17(5) : 400-407.

梅本健三, 伊敷弘子, 奥野喜美子, 馬渡法子, 熊川寿郎. BSC で救急外来の PDCA サイクルを回すー都立豊島病院救急外来の取り組み. 看護管理 2007 ; 17(5) : 408-416.

金沢千恵子, 植松由紀子, 馬渡法子, 高野優子, 熊川寿郎. BSC で専任リスクマネジャーの PDCA サイクルを回すー都立豊島病院専任リスクマネジャーの取り組み. 看護管理 2007 ; 17(5) : 417-426.

市川幾恵, 熊川寿郎. BSC で関連病院看護部全体の PDCA サイクルを回すー病院の枠組みを超えた展開. 看護管理 2007 ; 17(5) : 427-432.

熊川寿郎. 21世紀のヘルスケアシステムと BSC - 「学習する組織」を如何に構築するか. 医療バランスト・スコアカード研究 2007.

三浦昌子, 熊川寿郎. 大規模病院の看護部門におけるバランスト・スコアカード導入・活用のポイント最終回 : 名古屋大学医学部附属病院看護部における BSC の導入. 看護部長通信 2007 ; 4(6) : 47-53.

岡本悦司. 医療制度改革とレセプト活用. 公衆衛生 2007 ; 71(6) : 510-516.

岡本悦司. 国保ヘルスアップ事業とレセプト活用. 公衆衛生 2007 ; 71(9) : 778-783.

岡本悦司. 海外のレセプト情報活用の例——韓国. 公衆衛生 2007 ; 71(12) : 1015-1020.

岡本悦司. レセプトオンライン化はいかに決定されたか——官邸主導の政策決定過程の研究. ヘルスサイエンス・ヘルスケア 2007 ; 7(2) : 10-21.

岡本悦司. OECD 医療の質国際指標と医療計画. The

Journal of JAHMC 2007 ; 18(7) : 14-17.

著書

岡本悦司. 保健医療論. 岡本悦司, 小橋元, 坂田清美, 佐藤敏彦, 西浦博, 横山英世, 編. サブノート保健医療論・公衆衛生学第31版. 東京 : メディックメディア社 ; 2007. p.2-137.

菅原琢磨, 小山秀夫, 小山隆一, R. フォルマー, R. キーファー, J. M. ファイダー, 和田勝編著. 介護保険の政策過程. 東京 : 東洋経済新報社 ; 2007.

岡本悦司, 小橋元, 坂田清美, 佐藤敏彦, 横山英世, 著. 保健医療論. サブノート保健医療論・公衆衛生学 30版. 東京 : メディックメディア社 ; 2007. p.2-141.

抄録のある学会報告

熊川寿郎. アウトカム分析 I. 第9回日本医療マネジメント学会学術総会 ; 2007.7.13-4 ; 東京. 日本医療マネジメント学会雑誌 2007 ; 8-1 : 29. (座長)

熊川寿郎. DPC・患者支援. 第9回日本医療マネジメント学会学術総会 ; 2007.7.13-4 ; 東京. 日本医療マネジメント学会雑誌 2007 ; 8-1 : 64. (座長)

熊川寿郎. 医療連携がキーワード ! 第12回板橋区医師会医学会 ; 2007.9.8-9 ; 東京. 板橋区医師会医学会プログラム・演題抄録集. 2007. p.104. (シンポジウム II いざ, 病気になったらー効率的な医療機関へのかかり方ー : シンポジスト)

熊川寿郎. 21世紀のヘルスケアシステムの構築 -Community, Social Responsibility, BSC-. 第5回日本クリニカルガバナンス研究会コンファレンス ; 2007.9.10 ; 東京. 第5回日本クリニカルガバナンス研究会コンファレンスークリニカルガバナンスとコミュニティ医療プログラム資料 3. p.1-21.

泉峰子, 林謙治, 星佳芳, 浅見真理, 石川雅彦, 笥淳夫, 国包章一, 熊川寿郎, 杉山英男, 武村真治, 橘とも子, 筒井孝子, 土井徹, 土井由利子, 中板育美, 西村秋生, 東野定律, 平野かよ子, 藤井仁, 藤原真一郎, 松本勝明, 水嶋春朔, 山口一郎. 国立保健医療科学院「ガイド情報ライブラリー」における健康危機管理情報などのインターネット配信について. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-6 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54 (10 特別附録) : 243.

熊川寿郎, 梶尾裕, 小谷幸, 齋藤安希, 庄司幸江, 和田

努, 尾崎雄, 長岡徹, 藤田敦子, 遠藤永子, 北澤潤. 戦略マネジメントシステムとしてのバランスト・スコアカードを活用したコミュニティヘルスケアシステムの構築. 医療の質・安全学会 第2回学術集会; 2007.11.23-25; 東京. 医療の質・安全学会誌2007; 2 (増補号): 123.

熊川寿郎, 古田愛子, 馬渡法子, 高野優子, 菊池美佐子, 植松由起子, 梅本健三, 金沢千恵子, 井口京子, 藤井美代子, 奥野喜美子. デルファイ法を応用して作成した「リスクの重大さの判定基準」と「リスク認知力判定テスト」による職員のリスク認知力の向上. 医療の質・安全学会 第2回学術集会; 2007.11.23-25; 東京. 医療の質・安全学会誌2007; 2 (増補号): 237.

岡本悦司, 瀬戸口聡子. レセプト情報によるインフルエンザ罹患直後の外傷発生状況——タミフルの安全性評価の試み. 第13回日本薬剤疫学会学術総会; 2007.10.11; 東京. 薬剤疫学 2007; 10 (Supplement): s68-69.

岡本悦司. 国際比較可能な医療の質指標開発に関する日韓共同研究. ファイザーヘルスフォーラム; 2007.11.10; 東京. 抄録集. p.80.

Original

Okamoto E, Hata E, Kobayashi M, Hayashi K. Age-period-cohort analysis of asthma prevalence among school children. *Environmental Health & Preventive Medicine* 2007; 12 (3): 119-128.

Review

Okamoto E. Is health a right or an obligation? *International J of Integrated Care* 2007 February; 7(5) 2007. [<http://www.ijic.org/publish/articles/000272/article.pdf>]

Book

Tatara K, Okamoto E. *Public health of Japan* 2007. Tokyo: Japan Public Health Association; 2007. 92 pages.

Proceedings with abstracts

Kumakawa T. A study on factors contributing to successful operation of healthcare systems tailored to individual districts.

その他報告書

熊川寿郎, 尾崎雄, 和田努, 長岡徹, 梶尾裕, 遠藤永子, 庄司幸江, 藤田敦子, 小谷幸, 斉藤安希, 北澤潤. 地域主導型ヘルスケアシステムの成功要因に関する研究. 第2期 (2005-06年) 東京大学医療政策人材養成講座 報告書 (代表研究者: 熊川寿郎); 2007.

熊川寿郎. 平成18年度厚生労働科学特別研究事業「周産期医療の確保に向けた助産師活用に関する研究」(主任研究者: 古橋美智子) 研究報告書. 2007.

岡本悦司. 甲州市レセプト分析結果. 甲州市平成18年度国保ヘルスアップ事業報告書; 2007: p.16-24.

岡本悦司. 米国の高齢者睡眠薬等の服用実態. 科学研究費補助金 (基盤研究 C) 研究成果報告書「眠剤に関する大規模薬剤疫学研究——外来処方を中心に」(主任研究者: 土井由利子) 2007. p.79-88.

菅原琢磨. 介護事業者における経営品質評価の意義と方向性. 独立行政法人福祉医療機構 長寿社会福祉基金事業「介護サービス事業者における経営品質のあり方に関する調査研究」.(研究委員会委員長: 小山秀夫) 平成18年度研究事業報告書; 2007.p.121-142.

In: The 39th Conference of Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health; 2007 Nov. 22-25; Sakado. 2007. p.102.

Okamoto E. Validation of Proportional Distribution Method (PDM) for estimating disease-specific costs from health insurance claims: An empirical approach. In: The 6th World Congress of the International Health Economics Association; 8th July 2007; Copenhagen. Abstract. 2007. p.61.

Okamoto E. Pay less, stay healthy---Japan's quest for reduction of LTC hospital beds. In: The 135th Annual Meeting of American Public Health Association; 7 November 2007; Washington, DC. Final Program. 2007. p.134.

Okamoto E. Vital statistics of East Asian countries in the pre-war period. The 39th Conference of Asia-Pacific Academic Consortium of Public Health (APACPH); 23 November 2007; Sakado, Saitama. Abstract book. 2007. p.215.

人材育成部

Department of Human Resources Development

原著

橘とも子, 橘秀昭. ケースメソッドを用いた研修プログラムの健康危機管理コンピテンシー獲得効果に関するパイロット研究. 昭和医会誌 2007; 67(5): 422-434.

総説

水嶋春朔: メタボリックシンドロームに重点をおいた健診・保健指導—厚生労働省の生活習慣病対策. *Heart View* 2007; 11(1): 51-55.

大重賢治, 岡本直幸, 水嶋春朔. 米国における保険者のがん検診サービスの枠組みに関する調査. 公衆衛生

2007; 71(2): 103-107.

水嶋春朔. 食事療法の技法. 循環器科 2007; 61(3): 209-216.

水嶋春朔. 医療制度改革にともなう生活習慣病対策—これからの健康診断と保健指導—. 健康管理2007; 638号: 6-31.

水嶋春朔. 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導. 成人病と生活習慣病, 2007; 37(10): 1155-1159.

水嶋春朔. メタボリックシンドロームに重点をおいた特定健診・特定保健指導—厚生労働省の生活習慣病対策—. FOOD Style 21 2007; 11(12): 45-49.

水嶋春朔. 効果的な保健指導のすすめ方. 検査と技術 2007; 35(11): 1310-1320.

橘とも子. 新しいエイズ対策に何を期待するか. 保健医療科学 2007; 56(4): 177.

橘とも子, 西塚至. HIV 感染予防対策とヘルスプロモーション. 保健医療科学2007; 56(4): 210-223.

児玉知子, 今井博久, 福島富士子, 綿引信義, 橘とも子. 地域保健従事者を対象としたエイズ対策研修. 保健医療科学 2007; 56(4): 197-202.

著書

安藤秀子, 出水節子, 伊藤友子, 今枝奈保美, 王前ならみ, 川端陽子, 草間かおる, 熊本貴代, 駒橋玲子, 相良喜代江, 佐々木和美, 七戸登志子, 高松まり子, 富松理恵子, 鳥越純子, 中村広美, 西本香代子, 花田明子, 林静子, 林芙美, 弘津公子, 松本洋子, 宮下修一, 村上喜美子, 矢口希一郎, 安村正隆. 事例編. 石田裕美, 村山伸子, 由田克士, 編著. 特定給食施設における栄養管理の高度化ガイド・事例集. 東京: 第一出版; 2007. p.63-169.

大井田隆, 編. 兼坂佳孝, 横山徹爾, 曾根智史, 山懸然太郎, 水嶋春朔, 尾島俊之, 青山旬, 谷原真一, 中山健夫, 吉池信男, 小橋元, 青木良太, 赤木真寿美, 杉山龍司. 図説 国民衛生の動向2007. 東京: 財団法人厚生統計協会; 2007.

水嶋春朔. 第4章健康状態・疾病の測定と評価 E. 根拠に基づいた保健対策. 田中平三, 辻一郎, 吉池信男, 編. 健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康 改訂第2版. 東京: 南江堂; 2007. p.99-106.

抄録のある学会報告

水嶋春朔. 特定健診の実践. シンポジウム2「メタボリックシンドローム: 医療保険者による健診と保健指導の義務化の課題と概要」. 第55回日本心臓病学会学術集会; 2007.9.10-12; 東京. J Cardiology 2007; 50(suppl 1): 125.

磯野威, 橘とも子, 郡山一明, 山口亮, 星佳芳, 水嶋春朔, 遠藤弘良. 地域健康危機管理 e-Learning プログラムの開発および評価に関する研究. 第66回日本公衆衛生学

会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 256.

藤井仁, 土井徹, 星佳芳, 水嶋春朔. 健康危機対応における個人情報の利用と保護に関する研究. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 335.

武村真治, 曾根智史, 加藤則子, 水嶋春朔. 諸外国の公衆衛生専門医・専門家の養成システムの実態. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 340.

水嶋春朔, 星名美佳, 田中和代, 中村京子, 柳堀朗子, 一戸真人. 千葉県鴨川市基本健診受診者3473人における特定保健指導対象者数の把握. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 409.

水嶋春朔. 国際保健におけるコンピテンシー. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.39.

阿川牧, 草間かおる, 兵井伸行, 水嶋春朔. 日本の教育・研究機関における国際保健人材養成の現状. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.119.

水嶋春朔, 北川由美子, 兵井伸行. 日本人を対象とした国際保健医療協力人材養成研修に関する調査. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.120.

橘とも子, 高橋邦彦, 桜山豊夫, 細川えみ子. 新人看護職員における早期離職原因に関する検討. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 344.

三澤愛子, 橘とも子, 梶原聡子, 阿蘇由比, 成田友代. 福祉施設職員に対する保健所の感染症予防介入効果に関する研究. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 593.

泉峰子, 星佳芳, 石川雅彦, 大野賀政昭, 熊川寿郎, 杉山英男, 武村真治, 橘とも子, 筒井孝子, 土井徹, 土井由利子, 中板育美, 西村秋生, 東野定律, 平野かよ子, 藤井仁, 藤原真一郎, 水嶋春朔, 山口一郎, 林謙治. 国立保健医療科学院「ガイド情報ライブラリー」におけるインターネット情報配信. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 243.

草間かおる, 五十嵐彩子, 小山直行. カンボジア国立小児病院における給食支援事業への協力 - 給食に関する意識調査の結果について -. 第61回日本栄養・食糧学会大会; 2007.5; 京都. 第61回日本栄養・食糧学会大会プログラム. p.225.

吉池信男, 林芙美, 草間かおる, 角倉知子, 瀧本秀美. 妊産婦のための食事バランスガイド」を用いた食事評価の検討」(その1) SV と栄養素量の比較. 第53回日本栄養改善学会学術総会; 2007.10; 長崎. 第53回日本栄養改善学会学術総会講演集. p.141.

草間かおる, 林芙美, 角倉知子, 瀧本秀美, 吉池信男.

妊産婦のための食事バランスガイド」を用いた食事評価の検討」(その2) 各関連指標との比較. 第53回日本栄養改善学会学術総会; 2007.10; 長崎. 第53回日本栄養改善学会学術総会講演集. p.141.

小場美穂, 草間かおる, 笠原賀子. 高知県における食品群・栄養素摂取量について. 第53回日本栄養改善学会学術総会; 2007.10; 長崎. 第53回日本栄養改善学会学術総会講演集. p.149.

笠原賀子, 小場美穂, 草間かおる, 海手, 山手別について食品群・栄養素等摂取量の地域格差について. 第53回日本栄養改善学会学術総会; 2007.10; 長崎. 第53回日本栄養改善学会学術総会講演集. p.150.

荒井裕介, 三好美紀, 草間かおる, 溝口景子, 常賀由子, 清野富久江, 田中弘之, 由田克土, 吉池信男. 管理栄養士養成施設の専門分野別担当教員を対象としたファカルティデベロップメント研修会. 第53回日本栄養改善学会学術総会; 2007.10; 長崎. 第53回日本栄養改善学会学術総会講演集. p.201.

小山直行, 五十嵐彩子, 草間かおる. カンボジアにおける病院給食の現状と展望—国立小児病院での給食支援活動報告—. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.67.

中森正代, Nguyen Xuan Ninh, Nguyen Cong Khan, Cao Thu Huong, Nguyen Anh Tuan, Le Bach Mai, Vu Thi Thu Hien, Bui Thi Nhung, 中野貴史, 吉池信男, 草間かおる, 山本茂. ベトナム山岳地域における完全母乳育児実施状況と乳幼児の成長発達, 感染症の罹患. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.63.

阿川牧, 草間かおる, 兵井伸行, 水嶋春朔. 日本の教育・研究機関における国際保健人材養成の現状. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.119.

草間かおる, 五十嵐彩子, 小山直行. カンボジア国立小児病院における病院給食支援事業への協力. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 664-665.

佐藤准子, 工藤芳子, 兵井伸行. 臨床検査分野における国際保健医療協力に関する研究—日本の臨床検査史の分析を通して—. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.115.

綿引信義, 兵井伸行. コンピテンシーを目指した海外合同臨地訓練の試み. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.58.

中窪優子, 大澤絵里, 樫葉由美子, 綿引信義, 兵井伸行, 他. フィリピン国の第一次保健医療施設における人的資源に関する課題について. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.61.

水嶋春朔, 北川由美子, 兵井伸行. 日本人を対象とした国際保健医療協力人材養成研修に関する調査. 第22回日本国際保健医療学会; 2007.10; 大阪. p.100.

その他学術報告(研究調査報告書含む)

水嶋春朔, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

水嶋春朔. 地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究」(主任研究者: 水嶋春朔) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.1-13.

横山徹爾, 水嶋春朔, 松本秀子. 健康診査の項目による循環器疾患リスク評価方法に関する考察. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究」(主任研究者: 水嶋春朔) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.29-38.

水嶋春朔, 馬場俊明. 生活習慣改善を目的とした介入研究に関するシステムティックレビューの検討. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究」(主任研究者: 水嶋春朔) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.106-122.

水嶋春朔, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「健やか親子21の推進のための乳幼児健診等の機会を活用した家族の望ましい健康生活習慣形式に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

水嶋春朔, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「健やか親子21の推進のための乳幼児健診等の機会を活用した家族の望ましい健康生活習慣形式に関する研究」平成16-18年度総合研究報告書. 2007.

水嶋春朔, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「新医師臨床研修制度における研修医指導に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

水嶋春朔, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「新医師臨床研修制度における研修医指導に関する研究」平成17-18年度総合研究報告書. 2007.

水嶋春朔. 医学教育における臨床研修医を対象とした調査. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」(主任研究者: 篠崎英夫) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.5-11.

水嶋春朔, 橘とも子. 公衆衛生医師等の専門的能力の構造分析. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「公衆衛生医師等の専門的能力の構築とその向上に資する教育研修プログラムの開発に関する研究」(主任研究者: 曾根智史) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

p.5-10.

水嶋春朔, 橘とも子. 研修プログラムに対する質的評価の実践的方法に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標, 効果の評価および人材育成に係る e-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究」(主任研究者: 橘とも子) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.5-10.

吉池信男, 瀧本秀美, 草間かおる, 林芙美, 角倉知子. 「妊産婦のための食事バランスガイド」を用いた食事評価と血清葉酸濃度との関連性について. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「若い女性の食生活はこのままで良いのか? 次世代の健康を考慮に入れた栄養学・予防医学的検討」平成18年度報告書. 2007. p.49-61. 2007.

吉池信男, 瀧本秀美, 草間かおる, 林芙美, 角倉知子. 「妊産婦のための食事バランスガイド」を活用した妊産婦に対する効果的な栄養教育介入方法の検討およびその評価について. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「若い女性の食生活はこのままで良いのか? 次世代の健康を考慮に入れた栄養学・予防医学的検討」平成18年度報告書. 2007. p.62-100.

水嶋春朔, 土井徹, 藤井仁, 星佳芳. マスコミ報道における記事から見た健康危機発生時の個人情報に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機発生から原因特定に至る初動時の個人情報の利用と保護に関する研究」(主任研究者: 土井徹) 平成18年度総括・分担報告書. 2007. p.52-61.

橘とも子, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標, 効果の評価および人材育成に係る e-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

橘とも子, 星佳芳, 泉峰子. 健康危機管理担当者のコンピテンシーに関する調査研究. 「健康危機管理体制の評価指標, 効果の評価および人材育成に係る e-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究」(主任研究者: 橘とも子) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

橘とも子, 星佳芳, 磯野威, 泉峰子, 山口亮. 健康危機管理支援情報システムにおける web 基盤研修の機能的充実に要する諸要件に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業. 「健康危機管理情報の網羅的収集/評価および統合/提供に関する調査研究」(主任研究者: 緒方裕光) 平成18年度研究報告書. 2007. p.51-84.

曾根智史, 野崎慎仁郎, 兵井伸行. ミニレーム開発目標

マトリックスと日本の国際協力の関連性に関する現状分析. 国際保健医療協力研究委託事業「ミニレーム開発目標達成に資するわが国の基本戦略策定に関する研究」(主任研究者: 仲佐保. 課題番号: 16指1); 平成17年度研究報告書. 2007. p.198-199.

兵井伸行. 諸外国の実施システムの把握. 国際保健医療協力研究委託事業「国際保健医療協力の効率的な運営のためのネットワーク構築に関する研究」(主任研究者: 清水利夫. 課題番号: 18指1) 平成17年度研究報告書. 2007. p.87-95.

視聴覚資料やデジタル媒体などによる研究成果 健康教育ツール

水嶋春朔. メタボリックシンドローム—ちょっと気になる内臓脂肪型肥満—(健康メモ): 改訂版. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究」(主任研究者: 水嶋春朔) 平成18年度. 2007.

水嶋春朔. メタボリックシンドローム—身体活動を見直そう—(健康メモ). 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究」(主任研究者: 水嶋春朔) 平成18年度. 2007.

e-Learning 教材

橘とも子, 郡山一明. 原因不明脳症の究明 —感染症集団発生時の疫学調査を学ぼう—. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標, 効果の評価および人材育成に係る e-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究」(主任研究者: 橘とも子) 平成18年度. 2007.

郡山一明, 橘とも子. 地域における健康危機管理シミュレーション —地域の特性をふまえた研修を準備・実施するためのコツを学ぼう—. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標, 効果の評価および人材育成に係る e-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究」(主任研究者: 橘とも子) 平成18年度. 2007.

CD-ROM

Health Systems Management CD-ROM (2007.)

Community Health Education CD-ROM (2007.)

Originals

Matsumura T, Ohshige K, Tsuchida K, Mizushima S, Tochikubo O. The increasing use of pediatric emergency facilities in the evening. *Pediatric Emergency Care* 2007; 23(3): 142-7.

Mito N, Takimoto H, Umegaki K, Ishiwaki A, Kusama K,

Fukuoka H, Ohta S, Abe S, Yamawaki M, Ishida H, Yoshiike N. Folate intakes and folate biomarker profiles of pregnant Japanese women in the first trimester. *Eur J Clin Nutr* 2007; 61(1): 83-90.

Takimoto H, Mito N, Umegaki K, Ishiwaki A, Kusama K, Abe S, Yamawaki M, Fukuoka H, Ohta C, Yoshiike N.

Relationship between dietary folate intakes, maternal plasma total homocysteine and B-vitamins during pregnancy and fetal growth in Japan. *Eur J Nutr* 2007 ; 46 : 300-306.

Reviews

Tachibana T. How should we change our policy on anti-HIV/AIDS in Japan in future? — Practical utilization on information of personal health behaviors for health promoting measures —. *Showa Univ J Med Sci* June 2006 ; 18(2) : 65-74.

Proceedings with abstracts

Kitagawa Y, Hyoui N, Mizushima S, Ogawa S, Boostrom E. Maternal health workforce in Northern Okinawa in the 1960's. In : *Health and Nursing ; 21st Pacific Science Congress* ; 2007 Jun ; Okinawa. p.6-7.

Tachibana T, Izumi M, Isono T, Hoshi K, Mizushima S, Endo H. Evaluation of e-Learning programs : Developing and assessing programs for regional public health emergency management. In : *The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health* ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama. p.219-220.

Sone T, Kato N, Mizushima S, Ishikawa M, Kodama T, Nishimura A, Hyoui N. Capacity building of professionals at NIPH, Japan — (1) Structure and goal setting of training courses at NIPH. In : *The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health* ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama. Abstract book. 2007. p.221.

Kato N, Sone T, Mizushima S, Ishikawa M, Nishimura A, Hyoui N. Capacity building of professionals at NIPH, Japan (2) MPH Course at NIPH. In : *The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health* ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama. Abstract book. 2007. p.221.

Mizushima S, Ishikawa M, Takemura S, Nishimura A, Sone T. Capacity building of professionals in National Institute of Public Health, Japan ; Structure of Short Term Programme. In : *The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health* ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama. Abstract book. 2007. p.221-2.

Kodama T, Ishikawa M, Taneda K, Nishimura A, Hyoui N, Sone T, Kato N, Mizushima S, Hayashi K. Capacity building of professionals at NIPH, Japan — Training courses at

NIPH : Hospital management & patient safety. In : *The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health* ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama. Abstract book. 2007. p.222.

Sato K, Kusama K, Takimoto H, Yokoyama T, Mizushima S. Training course for public health dietitian at the National Institute of Public Health, Japan. In : *The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health* ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama. Abstract book. 2007. p.222-3.

Tachibana T. H-CRISIS and IT competences of Japanese public health center directors. In : *Twenty-Seventh Annual ESRI International User Conference* ; June 18-22 2007 ; San Diego, USA. Agenda. 2007. p.129.

Okamoto E, Tachibana T. Pay less, stay healthy--- Japan's quest for reduction of LTC hospital beds. In : *The 135th Annual Meeting & Exposition of APHA* ; November 3-7 2007 ; Washington, D.C. Final Program. 2007. p.134.

Tachibana T, Takahashi K. Study on the causes of early resignation by new nursing staff members. In : *The 39th Conference of Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health* ; Nov 22-25 2007. ; Sakado, Saitama. Abstract Book. 2007. p.141-142.

Kusama K, Hayashi F, Takimoto H, Yoshiike N. Dietary assessment for pregnant women using the "Japanese Food Guide Spinning Top for Pregnancy and Lactation" . In : *The 135th Annual Meeting & Exposition of APHA* ; November 3-7 2007. ; Washington, D.C. Final Program. 2007. p.176.

Kitagawa Y, Hyoui N, Mizushima S, Ogawa S, Boostrom E. Maternal health workforce in Northern Okinawa in the 1960's. in *Health and Nursing ; 21st Pacific Science Congress* ; 2007 Jun p.6-7 ; Okinawa.

Boateng S, Hyoui N. Factors contributing to the high tuberculosis default rate in New Juaben Municipality in Eastern Region of Ghana. *22th Conference of Japan Association for International Health* ; 2007 Oct ; Osaka. *Journal of International Health* 2007 Oct ; 22 (Supplement) : 94.

Chau P, Hyoui N, Ogata H. Evaluation of disease surveillance system to detect disease outbreak in Cambodia. *22th Conference of Japan Association for International Health* ; 2007 Oct ; Osaka. *Journal of International Health* 2007 Oct ; 22 (Supplement) : 67.

公衆衛生政策部

Department of Public Health Policy and Administration

学術雑誌に発表した原著論文

橋本修二 (藤田保健衛生大学 医学部衛生講座), 逢見憲一, 曾根智史, 遠藤弘良, 浅沼一成, 中嶋潤, 浜田淳, 三

髯文雄, 藤崎清道. 保健医療福祉分野における地方自治体の施策の目標と指標. *厚生指標* 2007 ; 54(5) : 9-15.

福井次矢, 青木誠, 川南勝彦, 高橋理, 野村恭子, 矢野

栄二, 遠藤弘良, 篠崎英夫, 他. 新臨床研修制度の影響
臨床研修の現状 大学病院・研修病院アンケート調査結
果. 日本内科学会雑誌 2007; 96(12): 2681-2694.

大井田隆, 曾根智史, 武村真治, 尾崎米厚, 兼板佳孝,
玉城哲雄, 簗輪真澄, 林謙治. わが国における妊婦の喫煙
状況. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(2): 115-122.

学術誌に発表した総説

笠島茂. 電磁界の疫学: 低周波. 保健医療科学 2007;
56(4): 327-332.

實成文彦, 笠島茂. 公衆衛生現場における行政情報の活
用と個人情報保護. 学術の動向: 日本学術会議 SCJ フォー
ラム 2007; (12): 16-25.

武村真治, 大井田隆, 兼板佳孝, 内山真. 睡眠障害の経
済的評価. 老年医学. 2007; 45(6): 679-685.

抄録のある学会報告

曾根智史, 田口眞, 中野修治, 堀江正治, 廣部一彦. 事
業場における在職者の性別死亡率と性・年齢階級別死因
(サンユー会学術 QQ プロジェクト, 2005年) 第80回日
本産業衛生学会総会; 2007.4; 大阪. 産業衛生学雑誌
2007; 49: 2041.

中野修治, 田口眞, 曾根智史, 堀江正知, 廣部一彦. 事
業場における在職者の死因と健康診断結果との関連 (サン
ユー会学術 QQ プロジェクト, 2005年) 第80回日本産業
衛生学会総会; 2007.4; 大阪. 産業衛生学雑誌 2007;
49: 2042.

曾根智史. 国立保健医療科学院における死体検案研修の
概要と評価. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.
24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10特別附録):
343.

曾根智史. 「21世紀の公衆衛生研究戦略を考える」アス
ベスト問題に対する反省から. 第66回日本公衆衛生学会
総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54
(10特別附録): 104. (フォーラム)

石川雅彦, 曾根智史. 初期臨床研修「地域保健・医療」
研修における医療安全研修. 医学教育総会; 2007.7; 東
京. 医学教育2007. 38(Suppl): 30.

笠島茂. 政府統計資料等の有効活用について. 日本学術
会議健康生活科学委員会 (パブリックヘルス科学分科会)
企画シンポジウム「衛生・公衆衛生学における学術研究と
個人情報保護 ー疫学研究・統計調査の円滑な推進とデー
タの有効活用のためにー」第77回日本衛生学会総会;
2007.3.25-28; 大阪. 日本衛生学雑誌 2007; 62(2): 111.
(シンポジウム)

笠島茂. わが国における政府統計の有効活用について:
国勢調査コホート事業の提言. 日本学術会議シンポジウム
「今後の政府統計のあり方とその有効活用」第66回日本公
衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑
誌 2007; 54(10特別附録): 193-194.

牛山明, 増田宏, 笠島茂, 大久保千代次, 他. 携帯電話
基地局からの電波と健康症状等の関連に関するヒトボラン
ティア研究. 第44回全国衛生化学技術協議会年次総会;
2007.11.14-15; 津. 同要旨集. 2007. p.197-198.

福井次矢, 青木誠, 野村恭子, 川南勝彦, 遠藤弘良, 高
橋理, 徳田安春, 大出幸子, 矢野栄二, 他. 2年次研修医
の臨床能力にもたらした新研修制度の影響. 医学教育総
会; 2007.7; 東京. 医学教育 2007. 38(Suppl): 29.

矢野栄二, 野村恭子, 青木誠, 木村琢磨, 川南勝彦, 遠
藤弘良, 高橋理, 徳田安春, 大出幸子, 福井次矢. 新医師
研修制度下研修医の特性と満足度 大学病院と一般研修病
院との比較. 医学教育総会; 2007.7; 東京. 医学教育
2007. 38(Suppl): 27.

石川雅彦, 遠藤弘良, 曾根智史, 川南勝彦, 青木誠, 矢
野栄二, 福井次矢. 新医師臨床研修制度1期生を対象と
した臨床研修の満足度・目標達成度に関する調査結果. 医
学教育総会; 2007.7; 東京. 医学教育2007. 38(Suppl):
27.

泉峰子, 星佳芳, 石川雅彦, 大冢賀政昭, 熊川寿郎, 杉
山英男, 武村真治, 橘とも子, 筒井孝子, 土井徹, 土井由
利子, 中板育美, 西村秋生, 東野定律, 平野かよ子, 藤井
仁, 藤原真一郎, 水嶋春朔, 山口一郎, 林謙治. 国立保健
医療科学院「ガイド情報ライブラリー」におけるインター
ネット情報配信. 第66回日本公衆衛生学会総会;
2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10特
別附録): 243.

岩室紳也, 福永一郎, 櫃本真聿, 藤内修二, 石川貴美
子, 中瀬克己, 松岡宏明, 国吉秀樹, 松村康弘, 武村真
治, 谷原真一, 中川昭生, 福田展之, 安藤実里, 下田智
久. 「健康日本21」地方計画推進・評価事業 その1 医
療制度改革の時代の健康増進計画. 第66回日本公衆衛生
学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌
2007; 54(10特別附録): 305.

福永一郎, 岩室紳也, 櫃本真聿, 藤内修二, 石川貴美
子, 中瀬克己, 松岡宏明, 国吉秀樹, 松村康弘, 武村真
治, 谷原真一, 中川昭生, 中本稔, 田中久子, 下田智久.
「健康日本21」地方計画推進・評価事業 その2 地方計
画の策定推進に影響する要因. 第66回日本公衆衛生学会
総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54
(10特別附録): 305.

大井田隆, 武村真治, 尾崎米厚, 宮崎美砂子, 福島哲
仁, 櫻井裕. 自然災害発生後の2次的健康被害発生防止
の保健所等行政機関の役割に関する研究. 第66回日本公
衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑
誌 2007; 54(10特別附録): 331-332.

武村真治, 曾根智史, 加藤則子, 水嶋春朔. 諸外国の公
衆衛生専門医・専門家の養成システムの実態. 第66回日
本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛
生雑誌 2007; 54(10特別附録): 340.

野崎直彦, 武村真治, 曾根智史, 大井田隆. 医療保険者

の特定健康診査・特定保健指導への準備状況とその影響要因に関する研究. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10特別附録): 413.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

曾根智史. 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「公衆衛生医師等の専門的能力の構築とその向上に資する教育研修プログラムの開発に関する研究」(H17-健康-一般-011) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

曾根智史. 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「死体検案業務の質の確保・向上に関する研究」(H18-医療-一般-034) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

曾根智史. 米国のトレーニング, フェローシップ・プログラムに関する研究. 厚生労働科学研究費補助金厚生科学特別研究事業「今後の厚生労働科学研究費のあり方に関する研究」(主任研究者: 山田信博. H19-特別-指定-030) 平成19年度総括・分担研究報告書. 2007. p.31-57.

曾根智史. 医学部における学士編入学制度に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術総合評価研究事業「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」(主任研究者: 篠崎英夫. H17-医療-013) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

曾根智史, 都筑千景. 市町村保健事業 (保健師業務) 評価指標の開発に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「市町村合併に伴う地域保健事業および自治体事務の影響評価と今後の効率的推進策に関する研究—市町村保健事業 (保健師業務) 評価指標の開発および同指針の作成—」(主任研究者: 烏帽子田彰. H17-健康-一般-014) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.69-78.

曾根智史, 逢見憲一. 地域保健行政の必要機能の調査研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「地域保健行政の再構築に関する研究」(主任研究者: 谷修一. H16-健康-042) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

曾根智史. ミレニアム開発目標マトリックスと日本の国際協力の関連性に関する現状分析. 平成18年度厚生労働

省国際医療協力研究委託費「ミレニアム開発目標達成に資するわが国の基本戦略策定に関する研究」(主任研究者: 仲佐保. 16指1) 研究報告集. 2007. p.7-8.

笠島茂. 自治体のエイズ施策のモニタリングに関する研究. 厚生労働各研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染の動向と影響及び政策のモニタリングに関する研究」(主任研究者: 木原正博) 平成18年度研究報告書. 京都: 木原正博: 2007. p.188-228.

福井次矢, 矢野栄二, 青木誠, 川南勝彦. 新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」(主任研究者: 福井次矢) 平成18年度総括研究報告書. 2007.

川南勝彦. 死体検案研修に資する臨床指導医に対するコーチング技法, 教育技法等に関する研究. 厚生科学研究費補助金医療技術評価総合研究推進事業「外国への日本人研究者派遣事業」平成18年度研究実績報告集. 2007. p.63-68.

川南勝彦. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」(主任研究者: 福井次矢) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

川南勝彦. 地域保健総合推進事業「新医師臨床研修「地域保健・医療」の実践的な研修方策に関する研究」(主任研究者: 伊藤喜信) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

武村真治. 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業「がん対策の実施基盤及び推進体制に関する国際比較研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

武村真治. 自然災害への対応システムに関する全国調査. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「自然災害発生後の2次的健康被害発生防止及び有事における健康危機管理の保健所等行政機関の役割に関する研究」(主任研究者: 大井田隆) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.21-70.

武村真治. 諸外国の公衆衛生医師等の資質向上方策の実態調査. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「公衆衛生医師等の専門的能力の構築とその向上に資する教育研修プログラムの開発に関する研究」(主任研究者: 曾根智史) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.11-309.

Originals

Kaneita Y, Uchiyama M, Takemura S, Yokoyama E, Miyake T, Harano S, Asai T, Tsutsui T, Kaneko A, Nakamura H, Ohida T. Use of alcohol and hypnotic medication as aids to sleep among the Japanese general population. Sleep Med 2007; 8: 723-732.

Kaneita Y, Sone T, Takemura S, Suzuki K, Yokoyama E, Miyake T, Harano S, Ibuka E, Kaneko A, Tsutsui T, Ohida T. Prevalence of smoking and associated factors among

pregnant women in Japan. Preventive Medicine 2007; 45 (1): 15-20.

Hayashino Y, Yamazaki S, Nakayama T, Sokejima S, Fukuhara S. Relationship between diabetes mellitus and excessive sleepiness during driving. Exp Clin Endocrinol Diabetes 2008; 116(1): 1-5. Epub 2007 Oct 31.

Masuda H, Ushiyama A, Hirota S, Lawlor GF, Ohkubo C. Long-term observation of pial microcirculatory parameters using an implanted cranial window method in the rat. In

Vivo 2007 ; 21 : 471-479.

Fu J, Ushiyama A, Masuda H, Lawlor GF, Ohkubo C. Role of Blood Flow on RF Exposure Induced Skin Temperature Elevations in Rabbit Ear. Bioelectromagnetics 2007 ; 28(3) : 163-172.

Proceedings with abstracts

Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Ugawa Y, Terao Y, Furubayashi T, Mizuno Y, Shirasawa K, Kageyama A, Okano T, Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Effects of electromagnetic field exposure from mobile phone base stations - Subjective perception of the fields and physiological responses during exposure among the people with/without mobile phone related symptoms - In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book, 2007. p.350-352.

Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Terao Y, Furubayashi T, Mizuno Y, Shirasawa K, Kageyama A, Okano T, Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C, Ugawa Y. Effects of electromagnetic field exposure from mobile phone base stations — Mental and psychological responses during exposure in the subject with/without mobile phone related symptoms — In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book, 2007. p.352-353.

Ugawa Y, Terao Y, Furubayashi T, Mizuno Y, Shirasawa K, Kageyama A, Okano T, Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H,

Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Effects of electromagnetic field exposure from mobile phone base stations : Does it differ between subjects with mobile phone related symptom and those without? – A population-based questionnaire survey and provocation study in Japan – In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book, 2007. p.60-62.

Furubayashi T, Terao Y, Mizuno Y, Shirasawa K, Kageyama A, Okano T, Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C, Ugawa Y. Effects of EMF exposure from mobile phone base stations : Differences in reaction times between subjects with mobile phone related symptoms and without them. In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book, 2007. p.347-348.

Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Ugawa Y, Terao Y, Furubayashi T, Mizuno Y, Shirasawa K, Okano T, Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Provocation study on the effects of electromagnetic field exposure from mobile phone base stations in Japan — Subjective perception and physiological responses among the people with/without mobile phone related symptoms — In : South African Mobile Phone Symposium ; 2007 Oct. 7-9, Johannesburg, South Africa. Abstract book, p.36-37.

疫学部

Department of Epidemiology

学術雑誌に発表した原著論文

鈴木健二, 尾崎米厚, 和田清, 松下幸生, 林謙治, 大井田隆, 兼板佳孝, 神田秀幸, 簗輪眞澄, 谷畑健生. 3回の全国調査における中学生・高校生の飲酒の減少傾向. 日本アルコール・薬物医学会雑誌2007 ; 42(3) : 138-151.

学術誌に発表した総説

福田吉治, 今井博久. 日本における「健康格差」研究の現状. 保健医療科学 2007 ; 56(2) : 56-62.

今井博久, 中尾裕之, 福田吉治. 若者の性感染症対策. メビオ 2007 ; 24 : 36-43.

今井博久. 高校生の性感染症. 日本化学療法学会雑誌 2007 ; 55(2) : 135-141.

児玉知子, 今井博久, 福島富士子, 綿引信義, 橘とも子. 地域保健従事者を対象としたエイズ対策研修. 保健医療科学 2007 ; 56(3) : 197-202.

松下幸生, 谷畑健生, 藤田さかえ, 館内由枝, 田所溢丕, 水井忠訓, 尾崎米厚, 樋口進. アルコール依存症治療の現状と将来の展望 断酒継続のための支援と社会復帰施設の利用に関する検討. 精神神経学雑誌 2007 ; 109(6) : 551-554.

福田吉治. 公衆衛生分野における政府統計の利活用と個人情報保護. 学術の動向 2007 ; 12(12) : 30-35.

栗盛須雅子, 福田吉治, 中村桂子, 渡辺雅史, 高野健人. 介護保険統計を用いた都道府県別障害調整健康余命(DALE)と健康指標としてのその意義. 厚生指標

2007; 54(8): 33-39.

今井博久. 高校生の性感染症. 日本化学療法学会雑誌 2007; 55: 135-141.

土井由利子. 日本における睡眠薬の使用状況と諸外国との比較—疫学調査から—; 不眠症— Common disease の病態と心身への影響. Current Therapy カレントセラピー 2007; 25(1): 16-19.

土井由利子. 睡眠障害の疫学; 日常臨床で押さえておきたい睡眠障害の知識. 治療 2007; 89(増刊号): 6-10.

著書

今井博久, 福田吉治, 中尾裕之. 小中学生のための食品衛生教育教材. 和光: 国立保健医療科学院; 2007.

今井博久, 福田吉治, 中尾裕之. 食品をより安全にするための5つの鍵マニュアル. 和光: 国立保健医療科学院; 2007.

土井由利子. 母子保健の現状と動向. 小山洋, 辻一郎, 編. 鈴木庄介, 久道茂, 監修. シンプル衛生公衆衛生学 2007. 東京: 南江堂; 2007. p.209-215.

福田吉治, 山縣然太郎. 保健医療福祉の研究ナビ. 東京: 金原出版; 2007.

八幡裕一郎. 6章献血・予防接種Ⅱ. 予防接種. 河野公一, 川口毅, 松浦尊磨, 編集. 研修医・指導のための地域保健・医療/予防医療. 改訂2版. 京都: 金芳堂; 2007. p.315-319.

佐藤智子, 八幡裕一郎, 高階光栄, 鈴木紀行. 平成17年感染症発生動向調査患者情報について. 秋田県健康環境センター年報 2007; 1: 17-29.

抄録のある学会発表

南島多麻美, 今井博久, 福田吉治, 中尾裕之, 八幡裕一郎, 石谷誓子, 北池正. ベトナム農村地区における愛育班活動の現状. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 663.

栗盛須雅子, 福田吉治. 障害調整県境寿命 (DALE) と加重障害保有割合 (WDP) の健康指標としての意義と DALE の利点. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54 (10 特別附録): 235.

木下ゆり, 久地井寿哉, 福田吉治, 河原和夫, 加藤雅代, 今井博久, 林謙治. フォーカスグループインタビューによる若年者の喫煙意識の質的分析. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 282.

久地井寿哉, 木下ゆり, 福田吉治, 河原和夫, 大井田隆, 玉城哲雄, 今井博久, 林謙治. 喫煙経験を持つ医学生における喫煙経験の cost-benefit 分析. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 281-2.

石谷誓子, 今井博久, 中尾裕之, 八幡裕一郎, 福田吉

治, 南島多麻美. 若年者の性感染症と性意識, 態度, 性活動の活発さについて. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 589.

八幡裕一郎, 佐藤智子, 張勇, 高階光栄, 中尾裕之, 福田吉治, 今井博久. 定期予防接種を3歳半までに接種と関連する要因は? 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 580.

中尾裕之, 福田吉治, 八幡裕一郎, 今井博久. 米国における地域がん対策について. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 420.

福田吉治, 中尾裕之, 八幡裕一郎, 豊福肇, 谷口力夫, 猪井恵理子, 今井博久. WHO Five Keys に基づく食品衛生教育教材の作成. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 626.

今井博久, 中尾裕之, 八幡裕一郎, 福田吉治, 石谷誓子, 南島多麻美, 五十嵐久人. 生活習慣病に対する保健指導の疾病管理プログラム効果および終了後の継続効果. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 432.

今井博久, 中尾裕之, 福田吉治, 八幡裕一郎. 糖尿病疾病管理プログラム終了後の2年経過した時点の持続効果の評価. 第45回日本病院管理学会; 2007.10.25-26; 横浜. 日本病院管理学会誌 2007; 44: 250.

今井博久. わが国における疾病管理の実施と今後について. 第45回日本病院管理学会; 2007.10.25-26; 横浜. 日本病院管理学会誌 2007; 35. (パネルディスカッション)

今井博久, 庭田聖子, 中尾裕之, 福田吉治. わが国の高齢者における薬剤疫学に活用できる薬剤基準の開発. 第77回日本衛生学会総会; 2007.3.25-28; 大阪. 日本衛生学雑誌 2007; 62(2): 525.

佐野希, 小澤礼子, 蝦名玲子, 木下ゆり, 福田吉治, 武見ゆかり. フォーカスグループインタビューによるコープ子育て世代の食育ニーズの検討. 第16回日本健康教育学会; 2007.7.6-7; 大阪. 日本健康教育学会誌 2007; 15 (Suppl): 84-85.

栗盛須雅子, 福田吉治, 星旦二. 都道府県別要介護認定率の較差を規定する要因の共分散構造分析. 第33回日本保健医療社会学会; 2007.5.19-20; 新潟. 日本保健医療社会学論集 2007; 18(特別号): 83.

福田吉治, 栗盛須雅子, 星旦二. 障害調整健康余命 (DALE) と加重障害保有割合 (WDP) の都道府県較差. 2007.5.19-20; 新潟. 日本保健医療社会学論集 2007; 18 (特別号): 82.

福田吉治. 健康日本21の現状と課題: オーバービュー. 日本薬学会フォーラム2007: 衛生薬学・環境トキシコロジー; 2007.11.1-2; 大阪. Journal of Health Science 2007;

53(Supple) : 67. (フォーラム)

福田吉治. 公衆衛生分野における政府統計等の二次利用の有効性と課題. 日本学術会議シンポジウム「今後の政府統計のあり方とその有効活用」. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録) : 176. (フォーラム)

中尾裕之, 藤井良宜, 福田吉治, 今井博久. 欠測値や区間データが存在する PCB 類・ダイオキシン類の曝露影響評価手法. 第77回日本衛生学会総会; 2007.3.25-28; 大阪. 日本衛生学雑誌2007; 62(2) : 449.

張勇, 佐藤智子, 高山裕子, 高階光栄, 八幡裕一郎. 秋田県モデル地区における地域住民による生活習慣病対策について. 第66回日本公衆衛生学会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録) : 372-373.

今井博久, 中尾裕之, 福田吉治. 大規模調査による高校生の無症候性クラミジア感染の感染率と危険因子; 第20回公衆衛生情報研究協議会研究会; 2007.2.15-16; 香川. 抄録集 : 28.

福田吉治, 中尾裕之, 今井博久. 日本人女性におけるがん検診受診と関連する社会経済的要因; 第77回日本衛生学会; 2007.3.26-28; 大阪. 日本衛生学雑誌2007; 62(2) : 551.

福田吉治, 中尾裕之, 今井博久. がんの地域集積性: 市区町村別死亡率による疾病地図とクラスターリング; 第20回公衆衛生情報研究協議会研究会; 2007.2.15-16; 香川. 抄録集 : 21.

中尾裕之, 藤井良宜, 福田吉治, 今井博久. 欠測値や区間データが存在する PCB 類・ダイオキシン類の曝露影響評価手法; 第77回日本衛生学会; 2007.3.26-28; 大阪. 日本衛生学雑誌2007; 62(2) : 442.

中尾裕之, 福田吉治, 今井博久. レジオネラ集団感染事例における症例対照研究; 第20回公衆衛生情報研究協議会研究会; 2007.2.15-16; 香川. 抄録集 : 29.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

今井博久, 福田吉治. 米国における疫学・公衆衛生における研究倫理審査のあり方について. 厚生労働科学研究費

補助金特別研究事業「倫理指針の運用及び遵守状況の調査」(主任研究者: 土井徹) 平成18年度報告書: 2007.

今井博久. 医療提供体制の効率化に関する調査研究 (医療費適正化の観点から). 健康保険組合連合会 (座長: 尾形裕也) 2007年発行.

土井由利子, 主任研究者. 文部科学研究費補助金基盤研究 (C)「眠剤に関する大規模薬剤疫学研究 - 外来処方を中心に」平成18年度研究成果報告書. 2007.

土井由利子, 主任研究者. 文部科学研究費補助金基盤研究 (C)「眠剤に関する大規模薬剤疫学研究 - 外来処方を中心に」平成18年度研究実績報告書. 2007.

土井由利子. 行政資料を用いた難病の頻度調査 - 人口動態統計死亡票を用いた特定疾患による死亡の地域集積性に関する検討 -. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患の疫学に関する研究」(主任研究者: 永井正規). 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

土井由利子. 行政資料を用いた難病の頻度調査 - 人口動態調査死亡票を用いた特定疾患による死亡の頻度調査について -. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患の疫学に関する研究」(主任研究者: 永井正規). 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

土井由利子, 横山徹爾, 編. 難病の死亡統計データブック増補. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患の疫学に関する研究」(主任研究者: 永井正規). 平成18年度分担研究報告書. 2007.

福田吉治. 医学・看護学生の喫煙およびその関連要因に関するフォーカスグループインタビュー調査. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「未成年者の喫煙実態状況に関する調査研究」(主任研究者: 林謙治) 平成18年度研究報告書. 2007.

福田吉治. ソーシャルマーケティングの方法論を用いたプログラムの開発・評価: スーパーマーケットでの取り組みに向けたフォーカスグループインタビュー. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「食事バランスガイドを活用した栄養教育・食環境づくりの手法に関する研究」(主任研究者: 武見ゆかり) 平成18年度研究報告書. 2007.

Originals

Imai H, Kuroi K, Ohsumi S, Ono M, Shimozuma K. Economic evaluation of the prevention and treatment of breast cancer-present status and open issues. Breast Cancer 2007. ; 14(1) : 81-7.

Imai H, Fick D, Waller J, Maclean R. Physician characteristics associated with prescription of inappropriate medications using Beers criteria. Geriatrics and Gerontology International 2007. ; 7(1) : 380-387.

Simozumai K, Imai H, Kuroi K, Ohsumi S, Ono M. Recent topics of health outcomes research in oncology. Breast Cancer. 2007. ; 14(1) : 60-65.

Ohsumi S., Shimozuma K, Kuroi K, Ono M, Imai H. Quality of life of breast cancer patients and types of surgery for breast cancer - current status and unresolved issues-. Breast Cancer 2007. ; 14(1) : 66-73.

Kuroi K, Shimozuma K, Ohsumi S, Imai H, Ono M. Current status of health outcome assessment of medical treatment in breast cancer. Breast Cancer 2007. ; 14(1) : 74-80.

Ono M, Imai H, Kuroi K, Ohsumi S, Shimozuma K. Quality of Japanese health care evaluated as hospital functions. Breast Cancer 2007. ; 14(1) : 88-91.

Fukuda Y, Nakao H, Yahata Y, Imai H. Are health

inequalities increasing? Trends of 1955 to 2000. *BioScience Trends* 2007. ; 1 : 38-42.

Fukuda Y, Nakao H, Imai H. Different income information as an indicator for socioeconomic inequality in health among Japanese adults. *J Epidemiol* 2007. ; 17 : 93-9.

Fukuda Y, Nakamura K, Takano T, Nakao H, Imai H. Socioeconomic status and cancer screening in Japanese men : large inequality in middle-aged and urban residents. *Environmental Health and Preventive Medicine* 2007. ; 11 : 90-6.

Fukuda Y, Nakamura K, Takano T. Higher mortality in areas of lower socioeconomic position measured by a single index of deprivation in Japan. *Public Health* 2007. ; 121 : 163-73.

Hamasuna R, Hoshina S, Imai H, Jensen JS, Osada Y. Usefulness of oral wash specimens for detecting Chlamydia trachomatis from high-risk groups in Japan. *International Journal of Urology* 2007. ; 14 : 473-475.

Yahata Y, Imai H, Fukuda Y, Zhang Y, Satoh T, Nakao H, Moji K, Amano K. BCG immunization age in urban and rural areas of Akita Prefecture, Japan. *Journal of Physiological Anthropology* 2007. ; 26 : 547-51.

Uezono S, Sato Y, Hara S, Hisanaga S, Fukudome K, Fujimoto S, Nakao H, Kitamura K, Kobayashi S, Suzuki K, Hashimoto H, Nunoi H. Outcome of ANCA-associated primary renal vasculitis in Miyazaki prefecture. *Internal Medicine* 2007. ; 46 : 815-22.

Yamada K, Fujimoto S, Nishiura R, Komatsu H, Tatsumoto M, Sato Y, Hara S, Hisanaga S, Ochiai H, Nakao H and Eto T. Risk factors of the progression of abdominal aortic calcification in patients on chronic haemodialysis.

Nephrology, Dialysis, Transplantation 2007. ; 22 : 2032-7.

Kuroda Y, Nakao H, Ikemura K, Katoh T. Association between the TP53 codon72 polymorphism and oral cancer risk and prognosis. *Oral Oncology* 2007. ; 43 : 1043-8.

Kaneita Y, Ohida T, Osaki Y, Tanihata T, Minowa M, Suzuki K, Wada K, Kanda H, Hayashi K. Association between mental health status and sleep status among adolescents in Japan : a nationwide cross-sectional survey. *J Clin Psychiatry* 2007. ; 68(9) : 1426-1435.

Ohida T, Kaneita Y, Osaki Y, Harano S, Tanihata T, Takemura S, Wada K, Kanda H, Hayashi K, Uchiyama M. Is passive smoking associated with sleep disturbance among pregnant women? *Sleep* 2007. ; 30(9) : 1155-1161.

Kaneita Y, Ohida T, Osaki Y, Tanihata T, Minowa M, Suzuki K, Wada K, Kanda H, Hayashi K. Association between mental health status and sleep status among adolescents in Japan : a nationwide cross-sectional survey. *J Clin Psychiatry* 2007. ; 68(9) : 1426-1435.

Proceedings with Abstracts

Fukuda Y, Nakao H, Imai H. Socioeconomic inequalities in cancer screening participation among Japanese men. 19th IUHPE World Conference on Health Promotion & Health Education ; 2007.6.10-15 ; Vancouver. [http : // www.iuhpeconference.org/en/index.htm](http://www.iuhpeconference.org/en/index.htm).

Imai H, Nakao H, Fukuda Y, Yahata Y. Development, Implementation, and Follow-up of a Disease Management Program for Elderly Diabetes Patients in Japan. 9th Annual Disease Management Leadership Forum ; 2007. 9 ; Las Vegas.

公衆衛生看護部

Department of Public Health Nursing

学術誌に発表した原著

中板育美, 但馬直子, 疋田理律子, ほか. 「育児支援家庭訪問事業」による児童虐待の発生予防・進行防止の方向性. *子どもの虐待とネグレクト* 2007 ; 63(10) : 384-393.

奥田博子. 保健師による地震災害における地域保健活動支援の要件に関する研究, 応援・派遣保健師との協働体制を含めた支援のあり方. *国立保健医療科学院研究課程論文*. 2007. p.1-40.

総説

奥田博子, 宮崎美佐子, 井伊久美子. 自然災害発生時における保健師の派遣協力の実態と今後に向けての課題. *保健師ジャーナル* 2007 ; 63(9) : 810-815.

奥田博子, 他. 座談会検証! 新潟県中越沖地震: 災害時

の保健師派遣のあり方を考える. *公衆衛生情報* 2007 ; 37(12) : 6-20.

中板育美. 子どものメンタルヘルスを担う人材を育成するー保健師の育成についてー. *小児保健研究* 2007 ; 66(2) : 186-188.

中板育美. 指導者の戸惑いと後輩に寄せる想いー現場の声にみる現任教育の現状と課題ー保健師ジャーナル 2007 ; 63(10) : 856-861.

中板育美. 母子保健と子ども虐待. *小児科臨床* 2007 ; 60(4) : 805-810.

著書

中板育美. 保健指導技術を高めるための方法 新しい特定健診・特定保健指導の進め方. 金川克子, 編. 東京: 中

央法規；2007. p.91-102.

中板育美，訳．小児医療心理学における疾病と傷害の予防 小児医療心理学．奥山眞紀子，丸光恵監訳．エルゼビア・ジャパン；2007.：75-85.

抄録のある学会報告

福島富士子．産後早期における支援体制のあり方に関する研究．第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山．日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：444.

藤内修二，岩室紳也，福島富士子，他．県型保健所の支援が市町村の「健やか親子21」推進に及ぼす影響．第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山．日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：338.

中板育美，鳩野洋子，奥田博子，米澤洋美，平野かよ子．中堅保健師に期待される能力と新任保健師の指導保健師に求められる能力と組織の課題．第10回日本地域看護学会学術集会；2007.7.28-29；横須賀.

石井元康，佐野信也，中板育美．虐待する母親の精神療法：精神（心理）療法とソーシャル・ワーク．第13回日本子ども虐待防止学会学術集会；2007.12.14-15；津.

佐藤亜津子，中板育美，鴻丸恵美子．妊娠期からの虐待予防活動をめざして一産科医療機関等との連携に関する一考察一．第13回日本子ども虐待防止学会学術集会；2007.12.14-15；津.

佐藤亜津子，山下三代子，百濟さち，中板育美．妊娠期からの虐待予防活動をめざして 産科医療機関等との連携に関する一考察．第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山.

中板育美，但馬直子，疋田理津子，高橋ゆきえ，横森喜久美，瀬戸晶子，渡辺好恵，吉原恭子，佐藤睦子，藤原千秋．育児支援家庭訪問による児童虐待の発生予防・進行防止の可能性 第1報．第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山.

但馬直子，中板育美，藤原千秋，横森喜久美，渡辺好恵，吉原恭子，佐藤睦子．育児支援家庭訪問による児童虐待の発生予防・進行防止の可能性 第2報．第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山.

藤原千秋，中板育美，但馬直子，横森喜久美，瀬戸晶子，渡辺好恵，吉原恭子，佐藤睦子．「育児支援家庭訪問事業」による児童虐待の発生予防・進行防止の可能性 第3報．第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山.

朝倉真由美，瀬田節子，浅井澄代，中板育美．埼玉県における「親支援グループミーティング (PSG)」の取組について．第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山.

宮崎美砂子，奥田博子，牛尾裕子，春山早苗，藤谷明子，本間靖子．被災時に必要な応援・派遣保健師マンパワー策定基準の試案作成 第一報．第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山．日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：334.

その他学術報告（研究調査報告書含む）

福島富士子，主任研究者．産後育児支援体制のあり方に関する研究 平成18年度児童関連サービス調査研究等事業報告書．財団法人こども未来財団．2007.2.

平野かよ子，山田和子，鳩野洋子，福島富士子，奥田博子，中板育美，他．厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「市町村合併に伴う住民参加型の日常生活圏域の設定と保健福祉サービスの提供体制のあり方に関する研究」（主任研究者：平野かよ子）平成18年度総括・分担報告書．2007.

岩室紳也，藤内修二，福島富士子．厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「健やか親子21」推進の効果に関する研究．平成16-18年度総合報告書（主任研究者：山形然太郎）2007.

佐藤拓代，山下洋，福島富士子．妊娠期からの虐待予防に関する研究．厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「児童虐待等の子どもの被害，及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究」（主任研究者：奥山眞紀子）平成18年度研究報告書．2007.

渡辺好恵，中板育美．児童虐待予防における在宅養育支援のあり方に関する研究．厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「児童虐待等の子どもの被害，及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究」（主任研究者：奥山眞紀子）平成18年度研究報告書．2007.

中板育美，他．厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「児童虐待等の子どもの被害，及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究」（主任研究者：奥山眞紀子）平成18年度研究報告書．2007.

平野かよ子，中板育美．保健指導技術の開発と応用一筑後市と岩国市の事例から一．厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「生活習慣病予防における効果的な保健指導技術に関する研究」（主任研究者：金川克子，H17-健康一般-013）平成18年度総括研究報告書．2007.

平野かよ子，鳩野洋子，奥田博子，中板育美，他．都道府県保健師指導者の育成プログラムの開発．厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「保健師指導者の育成プログラムの開発」（主任研究者：佐伯和子）平成17-18年度総括・研究報告書．2007.

佐伯和子，中板育美，指導者育成プログラム作成に関する検討会報告書．平成18年度地域保健総合推進事業．財団法人日本公衆衛生協会．研究報告書．2007.

中板育美，岡村昌幸，佐々木久長．藤里町児童殺害事件における住民の心ケア・支援報告書．秋田県山本地域振興局福祉保健部．2007.

平野かよ子，中板育美，奥田博子．都道府県・保健所における健康づくりー健康日本21計画を基盤とし地域・地域連携推進協議会を活用した生活習慣病予防対策一．2007.

鈴木恵子，青柳玲子，飯田恵久子，齋藤ひろみ，井伊久

美子, 奥田博子, 他. 地域における健康危機管理のあり方—行政組織の中での健康危機管理に保健師の専門性を発揮するために—. 社団法人日本看護協会. 2007.

宮崎美砂子, 奥田博子, 牛尾裕子, 春山早苗, 本間靖子. 危機管理における保健師のキャリアラダーの検討. 厚生労働科学研究費補助金特別事業「保健師指導者の育成プログラムの開発」(主任研究者: 佐伯和子. H17-健康一般-013) 平成18年度統括・分担研究報告書. 2007.

生涯保健部

Department of Health Promotion and Research

学術雑誌に発表した原著論文

諏澤宏恵, 加藤則子, 山田和子. 親の育児感情に影響を及ぼす乳幼児の年齢別要因の検討—PSI 概念モデルをもとにした児の年齢別比較—. 小児保健研究 2007; 66(3): 402-411.

橋本令子, 村田光範, 加藤則子. Excel 関数を用いた小児肥満管理プログラム及び小児期メタボリック症候群診断プログラムと症例報告を中心とした臨床応用について. 小児保健研究 2007; 66(4): 568-575.

久保秀一, 羽田明, 加藤則子, 井上孝夫, 山崎彰美, 林謙治. 理想子ども数0人に関する母子環境の要因の解析—母親にとって理想子ども数0人の意味するもの—. 小児保健研究 2007; 66(6): 832-839.

須藤紀子, 清野富久江, 吉池信男. 自然災害発生後の自治体による栄養・食生活支援. 日本集団災害医学会誌 2007; 12: 169-177.

学術誌に発表した総説

加藤則子. 十代の母親へのサポート. 周産期医学 2007; 37(8): 1031-1034.

加藤則子. 性差と公衆衛生. 公衆衛生 2007; 71(9): 758-761.

加藤則子. アトピー性皮膚炎をめぐる不適切な食物除去とやせ・発育不良について. チャイルドヘルス 2007; 10(12): 865-867.

加藤則子. 平均出生体重減少に関与する社会医学的側面. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2007; 43(4): 857-860.

瀧本秀美, 佐藤(三戸)夏子. 喫煙, 飲酒, 栄養素摂取量が胎児発育に与える影響と妊婦への情報提供. 助産雑誌 2007; 61(10): 852-855.

瀧本秀美. 母乳栄養の考え方と授乳婦への栄養指導. 臨床栄養 2007; 111(1): 29-32.

須藤紀子. 米国ミネソタ州セントポール市の学校給食. 栄養学雑誌 2007; 65: 317-319.

著書

加藤則子. 成長曲線ってこんなに役立つ. 藤枝憲二,

宮崎美砂子, 奥田博子, 牛尾裕子, 春山早苗, 藤谷明子, 本間靖子, 他. 被災時に必要な保健師マンパワー策定基準の試案作成. 厚生労働科学研究費補助金特別事業報告書「自然災害発生後の二次的健康被害発生防止及び有事における健康危機管理の保健所等行政機関の役割に関する研究」(主任研究者: 大井田隆. H17-健康一般-017) 平成18年度統括・分担研究報告書. 2007.

監. 加藤則子, 編. 現場で役立つラクラク成長曲線. 東京: 診断と治療社; 2007. p.1-13.

加藤則子. 成長曲線について(付録1). 藤枝憲二, 監. 加藤則子, 編. 現場で役立つラクラク成長曲線. 東京: 診断と治療社; 2007. p.139-150.

加藤則子. 実際にグラフをつけてみよう(付録2). 藤枝憲二, 監. 加藤則子, 編. 現場で役立つラクラク成長曲線. 東京: 診断と治療社; 2007. p.151-171.

加藤則子. 身体計測. 田中哲郎, 監. 子育て支援における保健相談マニュアル. 東京: 日本小児医事出版社; 2007. p.1-5.

加藤則子. 身体発育. 高野陽, 中原俊隆, 編. 医師, 看護職のための乳幼児保健活動マニュアル. 地域, 保育所, 幼稚園の子ども健康を目指して. 東京: 文光堂; 2007. p.234-247.

瀧本秀美, 饗場直美, 岡純, 奥恒行, 他編. 管理栄養士全科のまとめ. 東京: 南山堂; 2007. p.63, 107, 186.

瀧本秀美, 藤田美明, 池本真二編. ライフステージ栄養学. 東京: 建帛社; 2007. p.108-112.

佐藤加代子. 公衆栄養学の概念. 独立行政法人 国立健康・栄養研究所監修. 管理栄養士全科のまとめ. 東京: 南山堂; 2007. p.300.

佐藤加代子. 公衆栄養活動. 独立行政法人 国立健康・栄養研究所監修. 管理栄養士全科のまとめ. 東京: 南山堂; 2007. p.300-301.

佐藤加代子. 教育機関の立場から保健所・保健センター栄養士・管理栄養士への提言. 藤沢良知, 監修. 栄養士・管理栄養士まるとガイド. 改定5版. 東京: カザン; 2007. p.43-46.

佐藤加代子. 幼児期の食生活. 田中哲郎監修. 子育て支援における保健相談マニュアル. 東京: 日本小児医事出版社; 2007. p.15-18.

佐藤加代子. 学童期・思春期の栄養と食生活. 高野陽, 高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐藤加代子編. 小児栄養: 子どもの栄養と食生活 第4版改訂. 東京: 医歯薬出版; 2007. p.137-159.

佐藤加代子. 障害をもつ小児の食事と食生活. 高野陽, 高橋種昭, 大江秀夫, 染谷理絵, 水野清子, 原田節子, 佐

藤加代子編. 小児栄養：子どもの栄養と食生活 第4版改訂. 東京：医歯薬出版；2007. p.177-197.

須藤紀子. 離乳食. 田中哲郎, 監修. 子育て支援における保健相談マニュアル. 東京：日本小児医事出版社；2007. p.10-14.

須藤紀子. 栄養疫学. 独立行政法人国立健康・栄養研究所監修. 管理栄養士全科のまとめ改訂3版. 東京：南山堂；2007. p.312-314.

須藤紀子. 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題, 及び健康・栄養政策. 独立行政法人国立健康・栄養研究所監修. 管理栄養士全科のまとめ改訂3版. 東京：南山堂；2007. p.326-328.

須藤紀子. 諸外国の栄養状況と施策. 八倉巻和子, 編著. N ブックス改訂公衆栄養学. 東京：建帛社；2007. p.210-219.

須藤紀子. 栄養教育の国際的動向. 岸田典子, 菅淑江, 編著. ウェルネス栄養教育・栄養指導論第4版. 東京：医歯薬出版；2007. p.38-45.

須藤紀子. 先進国における栄養教育. 八倉巻和子, 編著. 改訂栄養教育・栄養指導—実験・実習—. 東京：光生館；2007. p.143-148.

須藤紀子. 開発途上国における栄養教育. 八倉巻和子, 編著. 改訂栄養教育・栄養指導—実験・実習—. 東京：光生館；2007. p.153-156.

抄録のある学会報告

加藤則子. 子育てプログラムを通じてのパートナーシップ. シンポジウム 子どもの育ちを見守り支えるパートナー. 日本小児看護学会第17回学術集会；2007.7.20-21；松本. 日本小児看護学会第17回学術集会講演集. 2007. p.35-36.

加藤則子. 平均出生体重減少に関与する社会医学的側面. シンポジウム2「望ましい胎児発育とは - 平均的出生体重の減少をどのようにとらえるのか -」第43回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会；2007.7.8-10；東京. 日本周産期・新生児医学会雑誌 2007；43(2)：268.

加藤則子, 瀧本秀美, 柳川敏彦. 1歳6ヶ月児健診及び3歳児健診問診票における問題行動設問項目の実態に関する全国調査結果. 第54回日本小児保健学会；2007.9.20-22；群馬. 第54回日本小児保健学会講演集. 2007. p.133.

橋本令子, 村田光範, 加藤則子, 澤村薫. 小児の栄養状態評価を主な目的とした身長・体重発育曲線ソフトの開発. 第54回日本小児保健学会；2007.9.20-22；群馬. 第54回日本小児保健学会講演集. 2007. p.324.

武村真治, 曾根智史, 加藤則子, 水嶋春朔. 諸外国の公衆衛生専門医・専門家の養成システムの実態. 第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山. 日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：340.

加藤則子, 須藤紀子. 1歳6ヶ月児及び3歳児健診問診

票における問題行動設問項目に関する全国調査結果. 第66回日本公衆衛生学会；2007.10.24-26；松山. 日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：446.

瀧本秀美, 福岡秀興, 阿部史朗. 母体血中ホモシステイン値の変化と児体重への影響. 第59回日本産科婦人科学会総会・学術講演会；2007.04.14-17；京都.

吉池信男, 林芙美, 草間かおる, 角倉知子, 瀧本秀美. 「妊産婦のための食事バランスガイド」を用いた食事評価の検討：(その1) S Vと栄養素量の比較 第54回日本栄養改善学会学術総会. 2007.9.19-21, 長崎.

草間かおる, 林芙美, 角倉知子, 瀧本秀美, 吉池信男. 「妊産婦のための食事バランスガイド」を用いた食事評価の検討：(その2) 関連指標との比較第54回日本栄養改善学会学術総会. 2007.9.19-21, 長崎.

瀧本秀美. 妊娠期の低栄養の現状. 第5回「栄養とエイジング」国際会議シンポジウム2007.10.31-11.1, 東京.

その他学術報告(研究調査報告書含む)

佐藤加代子, 中村千里, 鈴木裕子, 他平塚保健福祉事務所地域生活対策推進協議会委員. 飲食店等の健康づくりメニュー提供店ガイドブック. 神奈川県平塚保健事務所・地域食生活対策推進協議会. 2007. p.1-33.

伊藤雅治他. 市町村保健活動の再構築に関する検討会構成員, 曾根智史, 竹村真治, 鳩野洋子, 佐藤加代子他専門技術職員の分散配置における活動体制及び人材育成体制に関する調査ワーキンググループメンバー. 市町村保健活動の再構築に関する検討会報告書. 2007. p.1-192.

佐藤加代子(製作指導), JFPA 食育推進研究会, すすめ! 離乳食 ゴックン期, 日本家族計画協会(株)：東京, 2007. p.1-8.

佐藤加代子(製作指導), JFPA 食育推進研究会, すすめ! 離乳食 モグモグ期, 日本家族計画協会(株)：東京, 2007. p.1-8.

佐藤加代子(製作指導), JFPA 食育推進研究会, すすめ! 離乳食 カミカミ期, 日本家族計画協会(株)：東京, 2007. p.1-8.

佐藤加代子(製作指導), JFPA 食育推進研究会, すすめ! 離乳食 パクパク期, 日本家族計画協会(株)：東京, 2007. p.1-8.

田中哲郎, 主任研究者. 発達障害者の病因論的検証及び疫学調査等に基づく実態把握のための調査研究. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「発達障害者の病因論的検証及び疫学調査等に基づく実態把握のための調査研究」(主任研究者：田中哲郎) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.1-2.

吉池信男, 瀧本秀美, 草間かおる, 林芙美, 角倉知子. 「妊産婦のための食事バランスガイド」を用いた食事評価と血清葉酸濃度との関連性について. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「若い女性の食生活はこのままで良いのか? 次世代の健康を考慮に入れた栄養学・予

防医学的検討」平成18年度報告書. 2007. p.49-61.

吉池信男, 瀧本秀美, 草間かおる, 林芙美, 角倉知子. 「妊産婦のための食事バランスガイド」を活用した妊産婦に対する効果的な栄養教育介入方法の検討およびその評価について. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「若い女性の食生活はこのままで良いのか? 次世代の健康を考慮に入れた栄養学・予防医学的検討」平成18年度報告書. 2007. p.62-100.

佐藤加代子. 企業の研究開発に携わる栄養士の活躍—企業の栄養士に求められるもの—. 栄養日本2007; 50(1): 31.

佐藤加代子, 中村千里, 鈴木裕子, 他平塚保健福祉事務所地域生活対策推進協議会委員. 飲食店等の健康づくりメニュー提供店ガイドブック. 神奈川県平塚保健事務所・地域食生活対策推進協議会. 2007. p.1-33.

伊藤雅治, 他. 市町村保健活動の再構築に関する検討会構成員, 曾根智史, 武村真治, 鳩野洋子, 佐藤加代子, 他専門技術職員の分散配置における活動体制及び人材育成体制に関する調査ワーキンググループメンバー. 市町村保健

活動の再構築に関する検討会報告書. 2007. p.1-192.

須藤紀子, 吉池信男. トランスセオレティカルモデルに基づいた運動指導が運動の実行・習慣維持に及ぼす効果に関するメタ分析. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病予防対策総合研究事業「生活習慣病予防のための効果的な栄養教育手法に関する研究」(主任研究者: 山本茂) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

須藤紀子, 吉池信男. 県型保健所栄養士における災害時の栄養・食生活支援ネットワークの構築に関するニーズと管内市町村における災害に対する準備状況. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「自然災害発生後の2次的健康被害発生防止及び有事における健康危機管理の保健所等行政機関の役割に関する研究」(主任研究者: 大井田隆) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.71-80.

須藤紀子. 新任者の指導者をめぐる現状と課題. 平成18年度地域保健総合推進事業「指導者育成プログラムの作成に関する検討会」報告書. 2007. p.4-6.

Originals

Mito N, Takimoto H, Umegaki K, Ishiwaki A, Kusama K, Fukuoka H, Ohta S, Abe S, Yamawaki M, Ishida H, Yoshiike N. Folate intakes and folate biomarker profiles of pregnant Japanese women in the first trimester. Eur J Clin Nutr 2007; 61(1): 83-90.

Tsukamoto H, Fukuoka H, Koyasu M, Takimoto H. Risk factors for small for gestational age. Pediatrics International 2007; 49(6): 985-990.

Takimoto H, Mito N, Umegaki K, Ishiwaki A, Kusama K, Abe S, et al. Relationship between dietary folate intakes, maternal plasma total homocysteine and B-vitamins during pregnancy and fetal growth in Japan. Eur J Nutr 2007; 46(5): 300-306.

Proceedings with abstracts

Takahashi Y, Yamagata S, Osaki K, Ooki S, Kato N,

Nonaka K, Ando J. Genetic and environmental influences on sleeping behaviors of young children: time to fall asleep and sleeping regularity. In: The 12th International Congress on Twin Studies; 2007; Ghent, Belgium.

Sato K, Kusama K, Takimoto H, Yokoyama T, Mizushima S. Training course for public health dietitian at the National Institute of Public Health, Japan. In: The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health; 2007. Nov; Sakado, Saitama. Abstract book. 2007. p.222-3.

Kato N, Takimoto H, Sato K, Sudo N. B M I for age references for Japanese children based on the 2000 growth survey. In: The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health; 2007. Nov; Sakado, Saitama. Abstract book. 2007. p.167.

福祉サービス部

Department of Health and Social Services

学術雑誌に発表した原著論文

宮野尚哉, 筒井孝子. 集団同期によるデータクラスタリング. 信学技報2007; 148: 31-35.

柳漢守, 桐野匡史, 金貞淑, 尹靖水, 筒井孝子, 中嶋和夫. 韓国都市部における認知症高齢者の主介護者における介護負担感と心理的虐待の関連性. 日本保健科学学会誌 2007; 10(1): 15-22.

筒井孝子. 介護保険制度下の要介護高齢者における認知

症の特徴. 厚生指標 2007; 54(11): 23-30.

東野定律, 大塚賀政昭, 筒井孝子, 桐野匡史, 中嶋和夫, 筒井澄栄, 小山秀夫. 老親扶養義務感と介護継続意思との関係. 介護経営 2007; 2(1): 2-11.

学術誌に発表した総説

筒井孝子. 看護必要度の開発経緯と基本的な考え方. 看護 臨時増刊号2007; 59(4): 12-19.

著書

森川美絵, 「義務としての自立の指導」と「権利としての自立の支援」の狭間で—生活保護におけるストリート官僚の裁量と構造的制約。三井さよ, 鈴木智之, 編。ケアとサポートの社会学。東京: 法政大学出版局; 2007. p.259-294.

嶋森好子, 筒井孝子, 編。マネジメントツールとしての看護必要度—エビデンスに基づく看護配置—。東京: 中山書店; 2007.

筒井孝子, サービスの評価と質の保証。仲村優一, 一番ヶ瀬康子, 右田紀久恵, 監修, 岡本民夫, 田端光美, 浜野一郎, 古川孝順, 宮田和明, 編集。社会福祉エンサイクロペディア。東京: 中央法規出版; 2007: 826-829.

抄録のある学会報告

東野定律, 大野賀政昭, 筒井孝子, 介護負担感を軽減するための福祉用具サービスとその効果に関する研究—認知症高齢者を対象として—。第55回日本社会福祉学会全国大会; 2007.9.22-23; 大阪。同報告要旨集。2007. p.270.

大野賀政昭, 東野定律, 筒井孝子, 在宅要援護高齢者の家族介護者における扶養義務感と介護継続意思に関する研究。第55回日本社会福祉学会全国大会; 2007.9.22-23; 大阪。同報告要旨集。2007. p.270.

筒井孝子, 東野定律, 大野賀政昭, 介護保険制度下の要介護高齢者における認知症の特徴。第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山。日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 499.

東野定律, 筒井孝子, 大野賀政昭, 初回認定において要介護5となった高齢者の経年的変化に関する研究。第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山。日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 498.

筒井孝子, 東野定律, 大野賀政昭, 秋山智弥, 嶋森好子, 急性期入院医療における重症度・看護必要度基準に関する研究—病棟別重症度・看護必要度対象者と人員配置の関係—。第45回日本病院管理学会学術総会; 2007.10.27; 横浜。同演題抄録集。2007. p.170.

筒井孝子, 杉澤秀博, 菊澤佐江子, 沢井勝, 平岡公一, 大島巖, 介護サービスの評価。—評価結果をどう活かすか—。日本評価学会第8回全国大会; 2007.11.11; 名古屋。同発表要旨集録。2007. p.207.

大野賀政昭, 東野定律, 筒井孝子, 介護福祉施設における夜勤介護職員の情報収集, 情報蓄積・伝達量に関する研究。日本介護情報学会第8回研究大会; 2007.12.9; 川崎。同抄録集。2007. p.10-11.

根本久仁子, 森川美絵, 岡部卓, 富江直子, 生活保護における社会福祉実践に対する生活保護担当職員の意識に関する考察。福祉社会学会第5回大会; 2007.6.23-4; 東京。同報告予稿集。2007. p.52-53.

岡部卓, 森川美絵, 根本久仁子, 富江直子, 生活保護受

給過程における利用者の意識。福祉社会学会第5回大会; 2007.6.23-4; 東京。同報告予稿集。2007. p.54-55.

伊藤千春, 小野哲夫, 佐藤亜津子, 清水寛子, 野崎直彦, 三澤愛子, 島崎大, 秋葉道宏, 嶋野洋子, 森川美絵, 医療機関従事者に対する医療廃棄物処理に関するアンケート調査。第18回廃棄物学会研究発表会; 2007.11.19-21; つくば。

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

筒井孝子, 主任研究者, 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「介護サービスと類型化された要介護状態像との相互関連に関する研究」, 平成18年度総括研究報告書。2007.3.

筒井孝子, 主任研究者, 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「介護サービスと類型化された要介護状態像との相互関連に関する研究」, 平成17-18年度総合研究報告書。2007.3.

筒井孝子, 主任研究者, 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「介護サービスと類型化された要介護状態像との相互関連に関する研究」, 厚生労働科学研究長寿科学総合研究成果発表会 (研究者向け) 平成18年度研究報告書。2007.3.

筒井孝子, 主任研究者, 老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業分「新たな高齢者の心身の状態の評価指標の作成および検証に関する調査研究 認定調査の平準化に向けたガイドラインの作成」, 平成18年度研究報告書。2007.3.

森川美絵, 主任研究者, 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「生活保護の相談援助業務に関する評価指標の開発と, 指標の業務支援ツールとしての応用に関する研究」平成18年度研究報告書。2007.3.

森川美絵, ケア供給システムの転換とケアワーク。文部省科学研究費補助金 (基盤研究 B) 「日本型ケア政策の展開とケアリング関係の再編に関するジェンダー・市場分析」 (主任研究者: 笹谷春美) 平成18年度中間報告書。2007.3.

森川美絵, スタッフの役割分担。文部省科学研究費補助金 (基盤研究 C) 「介護保険制度再編にともなうケアリング関係の変容とその対処方法に関する実証的研究」 (主任研究者: 山井理恵) 平成18年度中間報告書。2007.3.

森川美絵, サービスの利用制限。文部省科学研究費補助金 (基盤研究 C) 「『家事』ケアを主軸とする包括的生活支援のための高齢者介護供給システムに関する研究」 (主任研究者: 永田志津子) 平成18年度中間報告書。2007.3.

東野定律, 認定調査項目から見た要介護高齢者の経年的変化の比較。厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「介護サービスと類型化された要介護状態像との相互関連に関する研究」 (主任研究者: 筒井孝子) 平成18年度総括研究報告書。2007.3.

Originals

Miyano T, Tsutsui T. Data synchronization in a network of coupled phase oscillators. *Phys Rev Lett* 2007. ; 98 : 024102.

Yajima Y, Tsutsui T, Nakajima K, Li HY, Takigawa T, Wang DH, Ogino K. The effects of caregiving resources on the incidence of depression over one year family caregivers of cisabled elderly. *Acta Medica Okayama* 2007. ; 61 : 71-80.

Kaneita Y, Sone S, Takemura S, Suzuki K, Yokoyama E, Miyake T, Harano S, Ibuka E, Kaneko A, Tsutsui T, Ohida T. Prevalence of smoking and associated factors among pregnant women in Japan. *Preventive Medicine* 2007. ; 45 : 15-20.

Tsutsui T, Muramatsu N. Japan's universal long term care system reform of 2005 : Containing costs and realizing a long-term vision. *Journal of American Geriatrics Society* 2007. ; 55 (9) : 1458-1463.

Kaneita Y, Uchiyama M, Takemura S, Yokoyama E, Miyake T, Harano S, Asai T, Tsutsui T, Kaneko A, Nakamura H, Ohida T. Use of alcohol and hypnotic medication as aids to sleep among the Japanese general population. *Sleep Med* 2007. ; 8 : 723-732.

Proceedings with abstracts

Tsutsui T. International Association of Homes and Services for the Ageing. In : 7th International Conference of Quality Transcends Borders : Innovations in Leadership, Technology and Design ; 2007. June18-20 ; Malta.

Miyano T, Tsutsui T. Data synchronization as a method of data mining. In : Proceedings of 2007. International Symposium on Nonlinear Theory and its Applications (NOLTA2007.) ; 2007. September 16-19 ; Vancouver, Canada. p.224-227.

Miyano T, Tsutsui T. Extracting feature patterns in the health status of elderly people needing nursing care by data synchronization. In : The Technical Program Committee for The International Special Topic Conference on Information Technology Applications in Biomedicine 2007. ; 2007. November 8-11 ; Tokyo. p.153-156.

Yamaguchi M, Sasatani H, Nagata S, Yamanoi R, Morikawa M, Saito A. Care mix for the elderly in Japan : Too much expectation of the voluntary sector? In : The 4th Annual East Asian Social Policy research network (EASP) International Conference ; 2007. Oct 21-22 ; Tokyo. Book of Abstracts. 2007. p.39.

Morikawa M, Sasatani H, Nagata S, Yamanoi R, Yamaguchi M, Saito A. Preventive care or preventing needs? : Re-balancing long-term care between the government and service users in Japan. In : The 4th Annual East Asian Social Policy research network (EASP) International Conference ; 2007. Oct 21-22 ; Tokyo, Japan. Book of Abstracts. 2007. p.21.

Reports

Morikawa M, Sasatani H, Nagata S, Yamanoi R, Yamaguchi M, Saito A. Preventive care or preventing needs? : Re-balancing long-term Care between the Government and Service Users in Japan. Paper presented at the 4th Annual East Asian Social Policy research network (EASP) International Conference ; 2007. Oct 21-22 ; Tokyo, Japan. [http : //www.welfareasia.org/](http://www.welfareasia.org/)

Yamaguchi M, Sasatani H, Nagata S, Yamanoi R, Morikawa M, Saito A. Care mix for the elderly in Japan : Too much expectation of the voluntary sector? In : The 4th Annual East Asian Social Policy research network (EASP) International Conference ; 2007. Oct 21-22 ; Tokyo. [http : //www.welfareasia.org/](http://www.welfareasia.org/)

口腔保健部

Department of Oral Health

学術雑誌に発表した原著論文

武内博朗, 花田信弘. シンポジウム・Dental Drug Delivery System (3DS) による病原口腔細菌の制御—う蝕と歯周病の微生物学的リスク低減治療. *歯科審美* 2007. ; 18 (1) : 54-65.

富永一道, 安藤雄一. 咀嚼能力の評価における主観的評価と客観的評価の関係. *口腔衛生学会雑誌* 2007 ; 57 : 166-175.

石幡伸雄, 野村義明, 水谷紘. かみ癖の視点からの顎関節症の捉え方 クリックに対する効果. *日本顎咬合学会誌 : 咬み合わせの科学* 2007 ; 27 : 254-261.

井田博久, 霜島正浩, 佐藤勉, 河内太吉, 花田信弘. 歯科ユニット給水系の細菌数測定方法の検討. *日本口腔機能水学会誌* 2007 ; 8 : 32-33.

学術誌に発表した総説

安藤雄一. 8020・実現への展望 —「8020達成者」初の2割達成を見据えて—. 8020 (はち・まる・にい・まる) 2007 ; 6 : 56-59.

安藤雄一. 全国成人歯科保健調査の概要 —乳幼児歯科健診受診児の母親を対象とした調査—. 8020 (はち・まる・にい・まる) 2007 ; 6 : 68-71.

安藤雄一. FOCUS National Survey 歯科疾患実態調査が物語る日本の歯科疾患・歯科保健の半世紀 平成17年歯科疾患実態調査結果から. The Quintessence 2007; 26: 176-183.

花田信弘. 健康日本21における「歯の健康」のための取り組み. 総合臨床 2007; 56: 2808-2815.

著書

花田信弘, 井田亮, 野呂浩美. むし歯・歯周病 (ホーム・メディカ・ビジュアルブック) もう歯で悩まない. 東京: 小学館; 2007.

鴨井久一, 花田信弘, 佐藤勉, 野村義明, 編. Preventive Periodontology 臨床を支えるサイエンスを知る, 唾液検査を活用する, 生活習慣病を予防する. 東京: 医歯薬出版; 2007.

歯科疾患実態調査報告解析検討委員会 (安藤雄一, 南郷里奈, 柳澤智仁, 植野正之) 編. 解説 平成17年歯科疾患実態調査. 東京: 口腔保健協会; 2007.

武内博朗, 戸田すま子, 早川浩生, 花田信弘. 歯科臨床で汎用する薬剤 3DS ドラッグ・リテーナーの正しい作製法と具備すべき条件を教えてください. 歯界展望別冊 Q&A 歯科のくすりがわかる本 2008. 東京: 歯界展望; 2007. p.161-162.

武内博朗, 戸田すま子, 早川浩生, 花田信弘. 歯科臨床で汎用する薬剤 3DS 3DS のための細菌検査に関する注意事項と, 除菌を行う基準値と除菌終了の判定基準を教えてください. 歯界展望別冊 Q&A 歯科のくすりがわかる本 2008. 東京: 歯界展望; 2007. p.158-160.

武内博朗, 戸田すま子, 早川浩生, 花田信弘. 歯科臨床で汎用する薬剤 3DS 3DS の物理的バイオフィルム除去, 減量の方法と化学療法への移行時期を判定する要素を教えてください. 歯界展望別冊 Q&A 歯科のくすりがわかる本 2008. 東京: 歯界展望; 2007. p.155-157.

武内博朗, 戸田すま子, 早川浩生, 花田信弘. 歯科臨床で汎用する薬剤 3DS 除菌に用いる薬剤にはどのようなものがありますか? また殺菌消毒薬を生体に用いるうえでの注意を教えてください. 歯界展望別冊 Q&A 歯科のくすりがわかる本 2008. 東京: 歯界展望; 2007. p.153-154.

抄録のある学会発表

安藤雄一, 深井穂博. 20 ~ 50歳代成人における咀嚼の自己評価と社会経済要因ネットリサーチによる全国調査. 第18回日本咀嚼学会学術大会; 2007.8.25-26; 大阪. 日本咀嚼学会雑誌 2007; 17: 117-118.

安藤雄一, 深井穂博, 星佳芳, 花田信弘. 歯科保健行動と社会経済要因の関連 ネットリサーチを用いた全国調査. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54 (10 特別附録): 568-569.

星佳芳, 山口一郎, 安藤雄一, 野村義明, 磯野威, 泉峰子, 他. 厚生労働科学研究における保健医療福祉ガイドラ

イン等の作成状況と情報公開手法. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54 (10 特別附録): 243.

安藤雄一, 相田潤, 深井穂博, 星佳芳, 花田信弘. ネットリサーチを用いたフッ化物利用に関する全国意識調査. 第56回日本口腔衛生学会総会; 2007.10.24-26; 東京. 口腔衛生学会雑誌 2007; 57: 478.

高澤みどり, 藤田美由紀, 金子直美, 長野高志, 安藤雄一, 深井穂博. 一地域の歯科医師を対象としたフッ化物応用の実態と望ましい応用形態等に関する調査 (第2報) 3年間の変化. 第56回日本口腔衛生学会総会; 2007.10.24-26; 東京. 口腔衛生学会雑誌 2007; 57: 479.

相田潤, 森田学, 安藤雄一, アクター・ラヘナ, 小坂健. 3歳児う蝕有病者率の社会経済的狀態に関連する地域格差は拡大傾向にある. 第56回日本口腔衛生学会総会; 2007.10.24-26; 東京. 口腔衛生学会雑誌 2007; 57: 361.

片桐さやか, 新田浩, 長澤敏行, 安藤雄一, 花田信弘, 金澤真雄, 他. 肥満と口腔状態との関わり. 第28回日本肥満学会; 2007.10.19-20; 東京. 肥満研究 2007; 13: 274.

相田潤, 森田学, 安藤雄一. 地域社会が3歳児う蝕経験に及ぼす影響の検討 —マルチレベルモデルを用いた分析—. 第17回日本疫学会総会; 2007年1月; 広島. 第17回日本疫学会総会講演集 (Supplement to Journal of Epidemiology). 2007. p.102.

野村義明, 高橋直樹, 日野文彦, 是沢恵三, 清水恵太. 愛媛県における唾液による歯周病のスクリーニング. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54 (10 特別附録): 565.

松田悦子, 星彩子, 遊佐典子, 有馬嗣雄, 野村義明. 要介護高齢者における口腔関連 QOL の評価. 第18回日本老年歯科医学大会; 2007.6.20-22; 札幌. 老年歯科医学 2007; 22 (2): 148-149.

花田信弘. 口腔ケアにおける共生細菌の知識. 第16回日本口腔感染症学会総会; 2007.11.10; 横浜 (ICD 講習会). 日本口腔感染症学会雑誌 2007; 14: 31-32.

高野尚子, 葭原明弘, 花田信弘, 宮崎秀夫. 高齢者の口腔健康と精神健康との関連; 第56回日本口腔衛生学会総会; 2007.10.24-26; 東京. 口腔衛生学会雑誌 2007; 57: 551.

海老沢政人, 山田毅, 内藤真理子, 玉置洋, 野村義明, 花田信弘. 砕氷艦「しらせ」行動中における隊員の口腔衛生環境の変化; 第56回日本口腔衛生学会総会; 2007.10.24-26; 東京. 口腔衛生学会雑誌 2007; 57: 511.

金子昇, 葭原明弘, 泉福英信, 花田信弘, 宮崎秀夫. 高齢者における唾液中抗 PAc (361-386) IgA 抗体と根面齲蝕との関連; 第56回日本口腔衛生学会総会; 2007.10.24-26; 東京. 口腔衛生学会雑誌 2007; 57: 422.

福島和雄, 野村義明, 今井奨, 西山佳秀, 花田信弘. ミュータンスレンサ球菌の存在比 (MS 比) と S.sobrinus

の存否に立脚したう蝕ハイリスク者選別システム；第56回日本口腔衛生学会総会；2007.10.24-26；東京，口腔衛生学会雑誌 2007；57：417.

星佳芳，山口一郎，安藤雄一，野村義明，磯野威，泉峰子，藤井仁，内藤徹，内藤真理子，細井香，和田耕治，佐藤敏彦．厚生労働科学研究における保健医療福祉ガイドライン等の作成状況と情報公開手法．第66回日本公衆衛生学会総会；2007.10.24-26；松山．日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：243.

その他学術報告書

安藤雄一，中垣晴男，宮崎秀夫，葭原明弘，荒川浩久，飯島洋一，川崎浩二，井後純子，杉本智子，渡辺晃子，重政昭彦，鳥山佳則，田口円裕．全国成人歯科保健調査報告書．財団法人8020推進財団．2007.

飯嶋理，田村俊彦，中村宗達，安藤雄一．市町村レベル

で取組む歯周病対策事業の成果に関する調査研究(1) - 地域歯科診断（住民アンケート調査）と事業企画 - ．平成18年度8020公募研究報告書 東京：8020推進財団；2007. p.13-24.

若井健志，花田信弘，安藤雄一，川村孝，梅村長生，小島正彰，内藤真理子，内藤徹．歯科医師における歯と全身の健康，栄養との関連に関する縦断研究．厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「地域住民の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究」（主任研究者：小林修平，H16－医療－020）平成18年度総括研究報告書．2007. p.189-192.

安藤雄一，星佳芳．臨床研修指導カリキュラムに関する研究．厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「新歯科医師臨床研修制度における研修歯科医師指導に関する研究」（主任研究者：花田信弘，H18－医療－一般－048）平成18年度総括研究報告書．2007. p.3-6.

Originals

Fukai K, Takiguchi T, Ando Y, Aoyama H, Miyakawa Y, Ito G, Inoue M, Sasaki H. Dental health and 15-year mortality in a cohort of community-residing older people, *Geriatr Gerontol Int* 2007；7：341-7.

Aida J, Ando Y, Oosaka M, Niimi K, Morita M. Contributions of social context to inequality in dental caries : a multilevel analysis of Japanese 3-year-old children. *Community Dent Oral Epidemiol* Published article online : 20-Jul-2007.

Imanaka M, Nomura Y, Tamaki Y, Katsumura S, Kimura Y, Igarashi C, Yuasa M, Wakae S, Tanaka R, Shimoda S, Kobayashi K. Effectiveness of a radiology-anatomy instructional module in a clinical course on oral radiology. *Oral Radiology* 2007；23(2)：26-33.

Nakamura Y, Nomura Y, Arai C, Noda K, Oikawa T, Kogure K, Kawamoto T, Hanada N. Laser capture microdissection of rat periodontal ligament for gene analysis. *Biotechnic and Histochemistry* 2007 82：295-300.

Ono M, Nikaido T, Ikeda M, Imai S, Hanada N, Tagami J, Matin K. Surface properties of resin composite materials relative to biofilm formation. *Dent Mater J* 2007；26：613-622.

Yoshihara A, Takano N, Hirotohi T, Ogawa H, Hanada N, Miyazaki H. Longitudinal relationship between root caries and serum albumin. *J Dent Res* 2007；86：1115-1119.

Yoshihara A, Hirotohi T, Takano N, Kondo T, Hanada N, Miyazaki H. Serum markers of chronic dehydration are associated with saliva spinability. *J Oral Rehabil* 2007；34：733-738.

Yoshihara A, Deguchi T, Hanada N, Miyazaki H. Renal

function and periodontal disease in elderly Japanese. *J Periodontol* 2007；78：1241-1248.

Yoneda S, Imai S, Hanada N, Yamazaki T, Senpuku H, Ota Y, Uematsu H. Effects of oral care on development of oral mucositis and microorganisms in patients with esophageal cancer. *Jpn J Infect Dis* 2007；60：23-28.

Deguchi T, Yoshihara A, Hanada N, Miyazaki H. Relationship between mandibular inferior cortex and general bone metabolism in older adults. *Osteoporos Int* 2007；Epub ahead of print / Dec 15.

Reviews

Ando Y. Half century-trends in caries prevalence and tooth retention in Japan at a glance. *Health Science and Health Care* 2007；6：23-26.

Proceedings with abstracts

Arai C, Nakamura Y, Oikawa T, Noda T, Kogure K, Shimoda S, Kawasaki K, Nomura Y, Hanada N et al. Microarray analysis of the PDL during tooth movement in rat. In : The 55th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research；2007；Yokohama.

Yoshihara A, Deguchi T, Hanada N, Miyazaki H. Renal function and periodontal disease in elderly Japanese. In : The IADR/AADR/CADR 85th General Session；March, 2007；New Orleans, USA.

Nomura Y, Tamaki Y, Sato T, Hanada N, Kamoi K. Screening of the periodontal disease by salivary enzymes. In : The IADR/AADR/CADR 85th General Session；March, 2007；New Orleans, USA.

Mizuno K, Ikemi T, Monzawa K., Gotouda H., Kobayashi S, Nishiyama Y, Kantake I, Hanada N, Fukushima K. Convenient culture kit to estimate individual

S.mutans and S.sobrinus levels. In : The IADR/AADR/CADR 85th General Session ; March, 2007 ; New Orleans, USA.

Naito H, Masuda H, Tachino A, Takagi K., Matsumoto Y, Ishihara Y, Kageyama K., Sasaki T, Sasaki M, Tsuge S, Okayama H, Nomura Y, Hanada N, Senpuku H. A simple and quick detection system for PAc-specific salivary IgA. In : The IADR/AADR/CADR 85th General Session ;

March, 2007 ; New Orleans, USA.

Tachino A, Takagi K, Matsumoto Y, Naito H, Masuda H, Ishihara H, Kageyama K, Sasaki K, Sasaki M, Tsuge S, Nomura Y, Hanada N. Evaluation of salivary streptococcus mutans test with primary school children. In : The IADR/AADR/CADR 85th General Session ; March, 2007 ; New Orleans, USA.

生活環境部

Department of Environmental Health

学術雑誌に発表した原著論文

藤田博子, 池田浩丈, 米倉明, 遠藤治, 鈴木元. 陸上自衛隊における分煙効果に関する研究－自衛隊関連施設でのニコチンおよび多環芳香族炭化水素の測定. 防衛衛生 2007 ; 54 : 123-132.

澤田聡, 永谷信枝, 赤津光広, 多田博康, 吉田秀樹, 小高喜久雄, 山口一郎. 移動型エックス線撮影装置の遠隔操作に関する必要性の検討. INNERVISION 2007 ; 22 : 108-113.

学術誌に発表した総説

鈴木元. IAEA および NCRP 文書にみる放射線テロにおける第一対応者のためのガイドライン. JAMMRA (放射線事故医療研究会会報) 2007 ; 16 : 4-7.

遠藤治, 鈴木元, 緒方裕光, 後藤純雄. たばこ煙の有害性と諸外国の動向. 日本禁煙医師連盟通信 2007 ; 16 : 1-4.

永井良三, 栗井一夫, 家坂義人, 石綿清雄, 菊池透, 櫻田春水, 庄田守男, 宋寅傑, 谷樹昌, 西谷弘, 平田恭信, 水谷宏, 山口一郎, 山下尋史, 和泉徹, 大江透, 上松瀬勝男, 山口徹. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2004-2005年度合同研究班報告) ダイジェスト版 循環器診療における放射線被ばくに関するガイドライン. Journal of Cardiology 2007 ; 50 : 477-503.

牛山明. 低周波電磁界と健康－生物学的研究から－. 保健医療科学 2007 ; 56(4) : 351-356.

著書

杉山英男. 放射性汚染物. 一色賢司, 熊谷進, 藤井建夫, 米谷民雄, 編. 改訂 食中毒予防必携. 東京 : 社団法人日本食品衛生協会 ; 2007.

牛山明. 睡眠. 渡邊昌, 和田攻, 監修. 「病氣予防」百科. 東京 : 日本医療企画 ; 2007. p.1052-1053.

抄録のある学会報告

鈴木元. 屋内ラドンの肺癌リスク. 第20回公衆衛生情報協議会 ; 2007.2 ; 高松.

山口一郎, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男, 三宅定明. 環

境中で検出される放射性医薬品の患者投与後からの経過時間. 日本保健物理学会第41回研究発表会 ; 2007.6.14-15 ; 東京. 同要旨集. p.100.

杉山英男, 寺田宙, 高橋光子, 飯島育代, 磯村公郎. トータルダイエットスタディによる放射性核種摂取量評価. 第44回アイソトープ・放射線研究発表会 ; 2007.7.4-6 ; 東京. 同要旨集. p.144.

山口一郎, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男, 三宅定明. 都市環境 (清掃工場, 下水処理場) 中の放射能. 第44回アイソトープ・放射線研究発表会 ; 2007.7.4-6 ; 東京. 同要旨集. p.157.

泉峰子, 星佳芳, 石川雅彦, 大多賀政昭, 熊川寿郎, 杉山英男, 他. 国立保健医療科学院「ガイド情報ライブラリー」におけるインターネット情報配信. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10 特別附録) : 243.

杉山英男, 高橋光子, 寺田宙, 前田千佳, 加藤文男. 食用キノコにおけるセシウムの高濃縮性と局在性. 第44回全国衛生化学技術協議会年会 ; 2007.11.15-16 ; 三重. 同講演集. p.37-8.

杉山英男, 高橋光子, 寺田宙, 前田千佳, 加藤文男. キノコ (Pleurotus ostreatus) による Cs の高濃縮性と局在性に関する検討. 日本薬学会第127年会 ; 2007.3.28-30 ; 富山. 同要旨集 2. 2007. p.178.

桑原千雅子, 前田千佳, 箱崎麻美, 山崎翠, 杉山英男, 加藤文男. *Streptomyces lividans* TK24 の K⁺ 輸送に関わる kcsA 破壊株の性状. 日本薬学会第127年会 ; 2007.3.28-30 ; 富山. 同要旨集 2. 2007. p.199.

前田千佳, 田中美智子, 安田純, 桑原千雅子, 杉山英男, 加藤文男. *Streptomyces lividans* TK24 の K⁺ 輸送に関わると推定される trkA の Cs 取込への関与. 日本薬学会第127年会 ; 2007.3.28-30 ; 富山. 同要旨集 2. 2007. p.199.

山口一郎, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男, 三宅定明. 都市環境に排出される放射性医薬品のモニタリング. 第44回全国衛生化学技術協議会年会 ; 2007.11.15-16 ; 三重. 同講演集. p.199-200.

磯村公郎, 飯島育代, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男.

トータルダイエツトスタディによる放射性核種の摂取量調査・評価. 第44回全国衛生化学技術協議会年会; 2007.11.15-16; 三重. 同講演集. p.35-6.

桑原千雅子, 長谷川一夫, 渡辺貞夫, 飯島育代, 杉山英男, 加藤文男. ICP-MS 等による金属元素分析時における技術的課題. 第44回全国衛生化学技術協議会年会; 2007.11.15-16; 三重. 同講演集. p.161-2.

松本真理子, 杉田和俊, 中島大介, 後藤純雄, 小谷野道子, 遠藤治, 鈴木元. 喫煙装置を用いて捕集されたたばこ煙中の水分分析. 平成19年度室内環境学会総会・研究発表会; 2007; 仙台. (室内環境学会誌) p.74-75.

杉田和俊, 小谷野道子, 松本真理子, 中島大介, 後藤純雄, 緒方裕光, 遠藤治, 鈴木元. 喫煙装置を用いて捕集されたたばこ煙中多環芳香族炭化水素の分析. 平成19年度室内環境学会総会・研究発表会; 2007; 仙台. (室内環境学会誌) p.86-87.

坂下恵治, 松岡哲也, 山口一郎, 諸澄邦彦, 長谷川隆幸, 横田順一郎. 救急処置室における X 線設備に関する検討. 第10回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 2007.5.17-18; 兵庫. 日本臨床救急医学会雑誌 2007; 10; p.278.

山口一郎, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男. 環境中で検出される放射性医薬品の患者投与後からの経過時間. 日本保健物理学会第41回研究発表会; 2007.6.14-5; 東京. 同要旨集. p.100.

山口一郎, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男, 三宅定明. 都市環境(清掃工場, 下水処理場)中の放射能. 第44回アイソトープ・放射線研究発表会; 2007.7.4-6; 東京. 同要旨集. p.157.

泉峰子, 星佳芳, 石川雅彦, 大夢賀政昭, 熊川寿郎, 杉山英男, 武村真治, 橘とも子, 筒井孝子, 土井徹, 土井由利子, 中板育美, 西村秋生, 東野定律, 平野かよ子, 藤井仁, 藤原真一郎, 水嶋春朔, 山口一郎, 林謙治. 国立保健医療科学院「ガイド情報ライブラリー」におけるインターネット情報配信. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 243.

星佳芳, 山口一郎, 安藤雄一, 野村義明, 磯野威, 泉峰子, 藤井仁, 内藤徹, 内藤真理子, 細井香, 和田耕治, 佐藤敏彦. 厚生労働科学研究における保健医療福祉ガイドライン等の作成状況と情報公開手法. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 243.

山口一郎. コーンビーム X 線 CT 検査における患者の線量推計. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 650.

山口一郎, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男, 三宅定明. 都市環境に放出される放射性医薬品のモニタリング. 第44回全国衛生化学技術協議会年会; 2007.11.15-16; 三重.

同講演集. 2007; 199.

山口一郎, 藤淵俊王, 田中真司, 渡辺浩, 池田昌隆. 医療用電子線形加速器の運転に伴う放射化物生成. 日本放射線安全管理学会第6回学術大会; 2007.12.5-7; 仙台. 同講演要旨集. 2007; 72.

山口一郎. ヒトに放射性標識化合物を投与する試験での放射線防護に関する規制整備の現状と課題. APDD (医薬品開発支援機構) キックオフシンポジウム「マイクロドーズ (MD) 試験, 探索的臨床試験による医薬品開発の促進をめざして」; 2007.2.15-16; 東京. 同シンポジウム抄録集. p.80.

藤淵俊王, 加藤英幸, 山口一郎, 田中真司, 渡辺浩. 医用小型サイクロトロン運転に伴う放射化物生成. 日本放射線安全管理学会第6回学術大会; 2007.12.5-7; 仙台. 同講演要旨集. 2007; 75.

澤田英希, 藤井伸哉, 牛山明, 安村和彦, 谷下一夫. 血管新生に伴う腫瘍成長の時空間的評価. 日本バイオレオロジー学会, 2007.6.14-15, 札幌. 同要旨集. p.38.

牛山明, 増田宏, 笠島茂, 大久保千代次, 他. 携帯電話基地局からの電波と健康症状等の関連に関するヒトボランティア研究. 第44回全国衛生化学技術協議会年次総会. 2007.11.14-15, 津. 同要旨集. p.197-198.

山口一郎. ヒトに放射性標識化合物を投与する試験での放射線防護に関する規制整備の現状と課題. APDD (医薬品開発支援機構) キックオフシンポジウム「マイクロドーズ (MD) 試験, 探索的臨床試験による医薬品開発の促進をめざして」; 2007.2.15-16; 東京. 同シンポジウム抄録集. p.80.

学術報告(研究調査報告書含む)

鈴木元, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金 平成18年度厚生労働科学特別研究事業「屋内ラドンの肺癌リスク研究の現状評価と課題」に関する研究 (H18-特別一指定-044) 研究報告書. 2007.

鈴木元, 主任研究者. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C)「凍結血清, ゲノム遺伝子を用いた萎縮性胃炎および胃癌に関する症例対象研究」(課題番号 17590695) 平成17年度～平成18年度研究成果報告書. 2007.

鈴木元. 諸外国の被験者保護に係わる法状況: ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 平成18年度厚生労働科学特別研究事業「倫理指針の運用及び遵守状況の調査 (主任研究者: 土井徹. 課題番号: H18-特別一指定-002) 平成18年度 総括・分担研究報告書. 2007.

鈴木元, 緒方裕光. TobLabNet ラウンドロビン研究一タール, ニコチン, 一酸化炭素測定結果. 厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業「タバコ規制枠組み条約に基づく有害化学物質等の新しい国際標準化試験法に関する研究」(主任研究者: 遠藤治. 課題番

号：H18-3 次がん一般-002) 平成18年度総括・分担研究報告書。2007。

杉山英男, 寺田宙. 食品中の放射性核種の摂取量調査・評価研究. 厚生労働省科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中の有害物質等の摂取量の調査及び評価に関する研究」(主任研究者: 松田りえ子. 課題番号: H16-食品-015) 平成18年度総括・分担研究報告書. 東京: 松田りえ子; 2007. p.55-81.

杉山英男, 寺田宙. 食品中の放射性核種の摂取量調査・評価研究. 食品中の放射性核種の摂取量調査・評価研究. 厚生労働省科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中の有害物質等の摂取量の調査及び評価に関する研究」(主任研究者: 松田りえ子. 課題番号: H16-食品-015) 平成16～18年度総合研究報告書. 東京: 松田りえ子; 2007. p.17-25.

杉山英男, 寺田宙. 輸入食品中の放射性核種に関する調査研究 (平成18年度). 第49回環境放射能調査研究成果論文抄録集 (平成18年度). 第48回環境放射能調査研究成果論文抄録集. 東京: 文部科学省; 2007. p.83-4.

山口一郎, 寺田宙, 杉山英男. 都市環境中における放射能モニタリングに関する調査研究. 第49回環境放射能調査研究成果論文抄録集 (平成18年度). 東京: 文部科学省; 2007. p.7-8.

遠藤治, 麻野間正晴, 大江武, 渡辺徹志. 環境試料の変異原性の測定及びその評価に関する研究. 平成18年度環境省委託業務結果報告書 環境中の変異原性物質に関する調査研究. 財団法人日本公衆衛生協会 2007; 1-25.

遠藤治 (主任研究者), 鈴木元, 緒方裕光, 後藤純雄. 厚生労働科学研究補助金第3次対がん総合戦略研究事業「たばこ規制枠組条約に基づく有害化学物質等の新しい国際標準化試験法に関する研究」(課題番号 H18-3 次がん一般-002) 平成18年度研究報告書; 2007.

日本核医学会, 日本医学放射線学会, 日本放射線腫瘍学会. 有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム-89治療の適正使用マニュアル. 2007.

山口一郎. 医療機関における適切な放射線防護および関係する制度についての研究. 厚生労働省科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「医療放射線分野における法令整備等を含めた管理体制に関する研究」(主任研究者: 油野民雄. 課題番号: H16-医療-008) 平成18年度研究報告書. 2007.

山口一郎, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男, 三宅定明. 都市環境における放射能モニタリングに関する調査研究. 第49回環境放射能調査研究成果論文抄録集 2007; 7-8.

山口一郎. 放射線医療技術の進展と放射線安全規制の対応. 医療放射線防護 2007; 50: 30-36.

山口一郎. 放射線診療の発展に応じた規制整備と放射線安全 エックス線同時照射の必要性和その安全確保. 医療放射線防護 2007; 49: 43-52.

吉村仁, 大場久照, 山口一郎, 加藤英幸, 田中真司, 星

野豊, 渡辺浩, 野口雄司, 細羽実. 公的文書の電子保存および電子署名に関する現状と課題 照射録の電子保存は可能になったのか. 日本放射線技術学会雑誌 2007; 63: 69-72.

山口一郎, 大場久照, 加藤英幸, 田中真司, 星野豊, 渡辺浩. 医療放射線源のセキュリティ確保に向けた規制整備の課題と現状. 日本放射線技術学会雑誌 2007; 63: 232-6.

野口雄司, 吉村仁, 大場久照, 山口一郎, 加藤英幸, 田中真司, 星野豊, 渡辺浩, 細羽実. 個人情報保護法からみた医療情報の安全管理措置について. 日本放射線技術学会雑誌 2007; 63: 299-302.

山口一郎, 大場久照, 加藤英幸, 田中真司, 星野豊, 渡辺浩. 獣医療での放射性医薬品の利用に向けた取り組み. 日本放射線技術学会雑誌 2007; 63: 394-6.

早川登志雄, 大場久照, 加藤英幸, 田中真司, 星野豊, 山口一郎, 渡辺浩. 医療の安全確保に向けた法改正について. 日本放射線技術学会雑誌 2007; 63: 924-9.

富樫厚彦, 山口一郎, 山口和也, 大場久照, 加藤英幸, 田中真司, 早川登志雄, 星野豊, 渡辺浩. 日常診療に役立てるための ICRP2007年新勧告の活用法 II" 医療での放射線リスクを中心にして. 日本放射線技術学会雑誌 2007; 63: 1320-2.

山口和也, 山口一郎, 富樫厚彦, 大場久照, 加藤英幸, 田中真司, 早川登志雄, 星野豊, 渡辺浩. 日常診療に役立てるための ICRP2007年新勧告の活用法 放射線防護の新しい考え方. 日本放射線技術学会雑誌 2007; 63: 1474-9.

松尾浩一, 岡山眞弓, 山口一郎. 医療放射線管理についての Q&A MRI 装置の法令手続きと施設基準 (Q&A) 日本放射線技師会雑誌 2007; 54: 94-8.

高橋康幸, 清堂峰明, 山口一郎. 医療放射線管理についての Q&A RI 検査の廃棄物処理 (Q&A). 日本放射線技師会雑誌 2007; 54: 203-8.

鈴木元 (主任研究者), 杉山英男, 山口一郎, 緒方裕光, 他4名. 屋内ラドンの肺癌リスク研究の現状評価と課題に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金. 平成18年度厚生労働科学特別研究事業. 研究報告書.

遠藤治 (主任研究者), 鈴木元, 緒方裕光, 後藤純雄. たばこ規制枠組条約に基づく有害化学物質等の新しい国際標準化試験法に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金第3次対がん総合戦略研究事業. 平成18年度総括・分担研究報告書.

土井徹 (主任研究者), 鈴木元, 他. 倫理指針の運用及び遵守状況の調査. 厚生労働科学研究費補助金. 平成18年度厚生労働科学特別研究事業. 総括・分担研究報告書.

杉山英男, 寺田宙, 高橋光子, 磯村公郎, 飯島育代. 食品中の放射性核種の摂取量調査・評価研究. 厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中の有害物質等の摂取量の調査及び評価に関する研究」(主任研究者: 松田りえ子. 分担研究者: 杉山英男. 課題番

号：H16-食品-015) 平成18年度研究報告書. 東京：松田りえ子；2007. p.55-81.

遠藤治. 高残留性人工フッ素化合物の環境動態メカニズムの解明と安全性評価に関する研究（主任研究者：山下信義）. 平成18年度環境保全成果集（CD-ROM）. 東京：環境省；2007.

遠藤治. 環境中の変異原性物質に関する調査研究（班長：渡辺徹志）. 平成18年度環境省委託業務結果報告書. 東京：財団法人日本公衆衛生協会；2007.

吉村仁, 大場久照, 山口一郎, 加藤英幸, 田中真司, 星野豊, 渡辺浩, 野口雄司, 細羽実. 公的文書の電子保存お

よび電子署名に関する現状と課題 照射録の電子保存は可能になったのか. 日本放射線技術学会雑誌 2007；63：69-72.

山口一郎, 大場久照, 加藤英幸, 田中真司, 星野豊, 渡辺浩. 医療放射線源のセキュリティ確保に向けた規制整備の課題と現状. 日本放射線技術学会雑誌 2007；63：232-6.

澤田聡, 永谷信枝, 赤津光広, 多田博康, 吉田秀樹, 小高喜久雄, 山口一郎. 移動型エックス線撮影装置の遠隔操作に関する必要性の検討. Innervision 2007；22(2)：108-113.

Originals

Suzuki G, Cullings H, Fujiwara S, Hattori N, Matsuura S, Hakoda M, Akahoshi M, Kodama K, Tahara E. Low-positive antibody titer against *Helicobacter pylori* cytotoxin-associated gene A (CagA) may predict future gastric cancer better than simple seropositivity against *Helicobacter pylori* CagA or against *Helicobacter pylori*. *Cancer Epidemiology Biomarkers & Prevention* 2007；16(6)：1224-8.

Sugiyama H, Terada H, Takahashi M, Iijima I, Isomura K. Contents and daily intakes of gamma-ray emitting nuclides, ^{90}Sr , and ^{238}U using market-basket studies in Japan. *J. Health Sci* 2007；53：107-118.

Yamamoto N, Muramoto A, Yoshinaga J, Shibata K, Endo M, Endo O, Hirabayashi M, Tanabe K, Goto S, Yoneda M, Shibata Y. Comparison of carbonaceous aerosols in Tokyo before and after implementation of diesel exhaust restriction. *Environ. Sci. & Technol* 2007；41：6357-6362.

Jia F, Ushiyama A, Masuda H, Lawlor GF, Ohkubo C. Role of blood flow on RF exposure induced skin temperature elevations in rabbit ears. *Bioelectromagnetics* 2007；28(3)：163-172.

Ohkubo C, Okano H, Ushiyama A, Masuda H. EMF effects on microcirculatory system. *The Environmentalist* 2007；27(4)：395-402.

Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Wake K, Kawai H, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Biological Effect on blood cerebrospinal fluid barrier due to radio frequency electromagnetic fields exposure of the rat brain in vivo. *Environmentalist* 2007；27(4)：489-492.

Masuda H, Ushiyama A, Hirota S, Lawlor GF, Ohkubo C. Long-term observation of pial microcirculatory parameters using an implanted cranial window method in the rat. *In Vivo* 2007；21：471-480.

Masuda H, Ushiyama A, Hirota S, Wake K, Watanabe S, Yamanaka Y, Taki M, Ohkubo C. Effects of acute exposure to 1439 MHz electromagnetic field on the microcirculatory

parameters in rat brain. *In Vivo* 2007；21：555-562.

Masuda H, Ushiyama A, Hirota S, Wake K, Watanabe S, Yamanaka Y, Taki M, Ohkubo C. Effects of subchronic exposure to 1439 MHz electromagnetic field on the microcirculatory parameters in rat brain. *In Vivo* 2007；21：563-570.

Sugiyama H, Terada H, Takahashi M, Iijima I, Isomura K. Contents and daily intakes of gamma-ray emitting nuclides, ^{90}Sr , and ^{238}U using market-basket studies in Japan. *J Health Sci* 2007；53：107-118.

Jia F, Ushiyama A, Masuda H, Lawlor GF, Ohkubo C. Role of blood flow on RF exposure induced skin temperature elevations in rabbit ears. *Bioelectromagnetics* 2007；28(3)：163-172.

Books

Ohishi W, Fujiwara S, Suzuki G, Chayama K. Validation of the use of freeze-dried sera for the diagnosis of hepatitis B and C virus infections in a longitudinal study cohort. In：edited by Mohan RM. *Research Advances in Microbiology*. vol. 7. Keraka, India：Global Research Network；2007. pp.1-9.

Proceedings with abstracts

Suzuki G. Some comments on treatment strategies for ARS patients with multiple organ involvement. In：The 4th International Symposium on Genome Damage and Regenerative Medicine, Hiroshima University 21st Century COE Program；February 2007；Hiroshima. Abstract. 2007. p.4-6.

Fujiwara S, Suzuki G, Cullings HM, Nishi N, Soda M, Tahara E. Gastric cancer risk in relation to A-bomb radiation and the other risk factors--A nested case-control study. In：13th International Congress of Radiation Research；8-12 Jul 2007；San Francisco, California, USA.

Sugiyama H, Terada H, Takahashi MN, Iijima I, Isomura K, Hirata A. et al. Concentrations of Cs-137 in imported foodstuffs and daily intakes of radionuclides for people, in

Japan. In : 52nd Annual Meeting of the Health Physics Society ; 2007 Jul 8-12 ; Portland. Abstracts. 2007. p.15.

Takahashi MN, Kato F, Maeda C, Sugiyama H. Characteristics of localization of Cs in edible mushroom (*Pleurotus ostreatus*). In : 52nd Annual Meeting of the Health Physics Society ; 2007 Jul 8-12 ; Portland. Abstracts. 2007. p.16.

Yamaguchi I, Terada H, Takahashi MN, Sugiyama H. Qualitative activation analysis on target assembly of medical accelerators. MTAA12 ; 2007 Sep 16-21 ; Hachioji. 2007. p.109.

Sugiyama H, Takahashi MN, Terada H, Maeda C, Kato F. Substrate-to-mushroom transfer of ^{137}Cs and K in some forests in Japan and accumulation of Cs in mycelia of an edible mushroom. In : International Symposium on Metallomics 2007 ; 2007 Nov 28-Dec 1 ; Nagoya. Abstracts. 2007. p.171.

Kobayashi J, Terada H, Sugiyama H, Matsukawa T, Shinohara A, Chiba M, Inaba Y. Detection of trace bismuth in environmental water samples by ICP-MS. In : International Symposium on Metallomics 2007 ; 2007 Nov 28-Dec 1 ; Nagoya. Abstracts. p.84.

Yamaguchi I, Terada H, Takahashi MN, Sugiyama H. Qualitative activation analysis on target assembly of medical accelerators. In : 12th International Conference on Modern Trends in Activation Analysis ; 2007 Sep 16-21 ; Hachioji, Japan. Program and abstracts. 2007. p.109.

Masuda H, Ushiyama A, Takahashi M, Hirota S, Tanaka S, Kawai H, et al. Transient effects of RF-EMF exposure on the brain microcirculation in either juvenile or adult rats., In : 8th International Congress of the European Bioelectromagnetics Association (EBCA) ; 2007 Apr. 10-13 ; Bordeaux, France. Abstract book. 2007. p.64 in CD-ROM.

Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Ugawa Y, Terao Y, Furubayashi T, Mizuno Y, Shirasawa K, Kageyama A, Okano T, Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Effects of electromagnetic field exposure from mobile phone base stations • jective perception of the fields and physiological responses during exposure among the people with/without mobile phone related symptoms - In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book. 2007. p.350-352.

Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Terao Y, Furubayashi T, Mizuno Y, Shirasawa K, Kageyama A, Okano T, Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama

E, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C, Ugawa Y. Effects of electromagnetic field exposure from mobile phone base stations – Mental and psychological responses during exposure in the subject with/without mobile phone related symptoms - In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book. 2007. p.352-353.

Ugawa Y, Terao Y, Furubayashi T, Mizuno Y, Shirasawa K, Kageyama A, Okano T, Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Effects of electromagnetic field exposure from mobile phone base stations : Does it differ between subjects with mobile phone related symptom and those without? – A population-based questionnaire survey and provocation study in Japan- In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book. 2007. p.60-62.

Furubayashi T, Terao Y, Mizuno Y, Shirasawa K, Kageyama A, Okano T, Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C, Ugawa Y. Effects of EMF exposure from mobile phone base stations : Differences in reaction times between subjects with mobile phone related symptoms and without them. In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book. 2007. p.347-348.

Masuda H, Ushiyama A, Takahashi M, Hirota S, Tanaka S, Kawai H, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Effects of local exposure to 1457 MHz electromagnetic field under high intensity conditions on cerebral blood flow in the rat brain. In : The 29th Annual meeting of Bioelectromagnetic Society ; 2007 Jun. 10-15 ; Kanazawa, Japan. Abstract book. 2007. p.439-440.

Ushiyama A, Masuda H, Hirota S, Takahashi M, Sokejima S, Maruyama E, Ugawa Y, Terao Y, Furubayashi T, Mizuno Y, Shirasawa K, Okano T, Nishikawa M, Miyawaki K, Yasuda A, Uchiyama M, Kobayashi-Yamashita H, Pongpaibool P, Wake K, Watanabe S, Taki M, Ohkubo C. Provocation study on the effects of electromagnetic field exposure from mobile phone base stations in Japan -Subjective perception and physiological responses among the people with/without mobile phone related symptoms-. In : South African Mobile Phone Symposium ; 2007 Oct. 7-9, Johannesburg, South Africa. Abstract book. p.36-37.

Sawada H, Fujii S, Ushiyama A, Yasumura K, Tanishita

K. A temporal-spatial analysis of tumor growth and angiogenesis. In : 3rd Asian Pacific Conference on

Biomechanics ; Nov 5-8 2007 ; Tokyo, Japan. Abstract book. p.S231.

建築衛生部

Department of Architectural Hygiene and Housing

学術雑誌に発表した原著論文

柳宇, 池田耕一. 空調システムにおける微生物汚染の実態と対策に関する研究, 第2報-エアフィルタによる浮遊微生物粒子の捕集率とその評価. 日本建築学会環境系論文集 2007 ; 617 : 53-56.

鈴木亘, 阪東美智子. ホームレスの側からみた自立支援事業の課題. 季刊・住宅土地経済 2007 ; 63 : 15-23.

阪東美智子. ホームレスの人々に対する居住支援の現況と課題. 日本建築学会住宅系研究報告会論文集 2 2007 ; 81-90.

学術誌に発表した総説

鈴木晃. 高齢者の「入浴中の急死」に関する地方性-日本固有の住文化の問題に加えて, 長寿社会グローバル・インフォメーション・ジャーナル 2007 ; 6 : 20-21.

柳宇. 事務所ビルにおけるバイオエアロゾルの挙動とその制御方法. クリーンテクノロジー 2007 ; 17(5) : 44-47.

柳宇. バイオクリーンルームにおける微生物汚染防止対策. ファームステージ 2007 ; 7(2) : 31-34.

柳宇. エアフィルタによる浮遊微生物粒子の捕集性能の評価について. 室内環境 2007 ; 10(1) : 23-32.

柳宇. カビの測定における PDA・DG18・M40Y 培地の比較. クリーンテクノロジー 2007 ; 17(11) : 31-33.

柳宇. 病院環境における微生物汚染の対策. 空気清浄 2007 ; 45(4) : 32-39.

柳宇. 建築環境とカビ発生. ビルと環境 2007 ; 119 : 22-25.

阪東美智子. ホームレス等住宅困窮者に対する住宅問題と住宅扶助のあり方. 季刊 Shelter-less 2007 ; 32 (Summer) : 183-194.

著書

柳宇. 室内微生物汚染-ダニ・カビ完全対策. 井上書院 ; 2007. p.14-23,119-125.

柳宇. ICUS REPORT 2006-08, 第11回 ICUS オープンレクチャー「建築物衛生の危機管理のあり方」, 65-101, 東京 : 大学生産技術研究所 ; 2007.

駒井洋監修・田巻松雄, 青木秀男, 岡本祥浩, 黒川渡, 佐々木一隆, 阪東美智子, 廣重準四郎, 穂坂光彦, マシュー・マール監訳, 世界ホームレス百科事典. 東京 : 明石書店 ; 2007.

阪東美智子. ホームレスの人々に対する居住支援・住居保障. 福原宏幸編著. シリーズ・新しい社会政策の課題と

挑戦 第1巻 社会的排除／包摂と社会政策. 京都 : 法律文化社 ; 2007. p.177-199.

抄録のある学会発表

入江建久, 鈴木晃, 飯野由香利. 「越冬入院」の居住環境の解明と対策に関する研究. 2007年度日本建築学会大会 ; 2007.8.29-31 ; 福岡. 日本建築学会学術講演梗概集 (建築経済・住宅問題). 2007. p.1387-1388.

入江建久, 鈴木晃, 飯野由香利, 工藤恵子. 「越冬入院」の実態とその背景. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10 特別附録) : 484.

鈴木晃, 阪東美智子. 住宅改修によって改善しようとする生活動作-「理由書」標準様式による記載事例の分析. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10 特別附録) : 532.

柳宇. 今後の建築物の維持管理のあり方に関する課題等に関する研究報告. 第34回建築物環境衛生管理全国大会 ; 2007. 同抄録集. 2007. p.100-103.

清水晋, 山崎省二, 狩野文雄, 柳宇, 高鳥浩介, 一条和夫, 加藤卓, 金子洋一, 佐藤博, 岡本正広, 大野幸夫, 横山咲子, 吉田正広, 大廻和彦. 微生物を中心とした空調システム汚染の実態調査. 第34回建築物環境衛生管理全国大会 ; 2007. 同抄録集. 2007. p.30-31.

柳宇, 池田耕一, 鍵直樹, 山田花菜. 空中浮遊微生物粒子の測定における瞬間微生物検知器の適用に関する研究 (その2) 病院環境でのリアルタイム測定. 第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会 ; 2007.04. 同予稿集. p.65-67.

清水晋, 山崎省二, 狩野文雄, 柳宇, 高鳥浩介, 一条和夫, 加藤卓, 金子洋一, 佐藤博, 岡本正広, 大野幸夫, 横山咲子, 吉田正広, 大廻和彦. 微生物を中心とした空調システム汚染の実態調査. 第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会 ; 2007.04. 同予稿集. p.68-70.

山崎省二, 柳宇, 高鳥浩介, 狩野文雄, 横地明, 篠原克明, 青山敏信, 池田耕一, 木ノ本雅通, 三上荘介. クリーンルームの微生物汚染評価. 第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会 ; 2007.04. 同予稿集. p.75-78.

根本智之, 鍵直樹, 柳宇, 西村直也, 小山博己, 横山辰巳, 斉藤敬子, 鎌倉良太 : 粉じん計による室内浮遊粉じんの実態調査. 第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会 ; 2007.04. 同予稿集. p.119-121.

根本摩耶, 西村直也, 根本智之, 永吉敬行, 池田耕一, 柳宇, 鍵直樹, 山田花菜, 齊藤敬子, 鎌倉良太. 病院における空気環境調査 (1) 浮遊粒子状物質の実態調査. 第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会; 2007.04. 同予稿集. p.190-192.

永吉敬行, 西村直也, 根本智之, 根本摩耶, 池田耕一, 柳宇, 鍵直樹, 山田花菜, 齊藤敬子, 鎌倉良太. 病院における空気環境調査 (2) ガス状物質の実態調査. 第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会; 2007.04. 同予稿集. p.193-195.

鍵直樹, 池田耕一, 柳宇. 実建物の空調機エアフィルタからの VOC 発生調査. 第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会; 2007.04. 同予稿集. p.253-255.

柳宇, 池田耕一, 鍵直樹, 西村直也, 小畑美知夫, 齊藤敬子, 鎌倉良太, 吉野博, 相澤好治. 病院待合室における浮遊微生物汚染の実態調査. 第16回日本臨床環境医学会総会; 2007.07. 同抄録集. p.41.

池田耕一, 柳宇, 鍵直樹, 西村直也, 小畑美知夫, 齊藤敬子, 鎌倉良太, 吉野博, 相澤好治. 建築物衛生法に基づく夏期病院の室内環境の実態調査. 第16回日本臨床環境医学会総会; 2007.07. 同抄録集. p.39.

池田耕一, 柳宇. 建築物衛生における健康危機管理のあり方に関する研究. 日本学術会議安全工学シンポジウム 2007; 2007.07. 同講演予稿集. p.61-64.

柳宇, 鍵直樹, 堀越玲子, 池田耕一. 空中浮遊微生物粒子の測定における瞬間微生物検知器の適用に関する研究—居住環境でのリアルタイム測定. 第24回エアロゾル科学・技術研究討論会; 2007.08. 同講演論文集. p.3-4.

吉澤晋, 菅原文子, 柳宇, 池田耕一. 浮遊菌サンプラーによる測定値の変動の原因について. 第24回エアロゾル科学・技術研究討論会; 2007.08. 同講演論文集. p.9-10.

阿部恵子, 奥田舜治, 川上裕司, 須山祐之, 柳宇. 空気清浄機による空中微生物汚染対策効果の評価法とその結果. 第24回エアロゾル科学・技術研究討論会; 2007.08. 同講演論文集. p.11-12.

根本智之, 鍵直樹, 柳宇, 西村直也, 鎌倉良太, 上野裕司, 齋藤敬子, 齊藤秀樹, 小山博巳, 住田文雄. 事務所ビル内における超微粒子分布の調査. 第24回エアロゾル科学・技術研究討論会; 2007.08. 同講演論文集. p.13-14.

鎌倉良太, 上野裕司, 齋藤敬子, 齊藤秀樹, 鍵直樹, 柳宇, 西村直也, 根本智之, 小山博巳, 住田文雄. 建築物内における浮遊粉じん量測定器の特性について. 第24回エアロゾル科学・技術研究討論会; 2007.08. 同講演論文集. p.27-28.

永吉敬行, 根本智之, 根本摩耶, 西村直也, 池田耕一, 柳宇, 鍵直樹. 医療施設における室内空気環境調査. 第24回エアロゾル科学・技術研究討論会; 2007.08. 同講演論文集. p.159-160.

池田耕一, 鍵直樹, 柳宇, 長谷川あゆみ, 竹田菊男. 室

内空気の DNPH カートリッジ毎による測定精度比較. 日本建築学会大会学術講演会; 2007.8.29-31; 福岡. 同梗概集. 2007. p.869-870.

西村直也, 永吉敬行, 根本智之, 西村直也, 池田耕一, 柳宇, 鍵直樹. 病院における室内空気質の調査, その1 調査概要と粒子状汚染物質. 日本建築学会大会学術講演会; 2007.8.29-31; 福岡. 同梗概集; 2007. p.879-880.

永吉敬行, 根本智之, 池田耕一, 柳宇, 鍵直樹. 病院における室内空気質の調査, その2 アンケート結果とガス状物質の調査. 日本建築学会大会学術講演会; 2007.8.29-31; 福岡. 同梗概集; 2007. p.879-880.

柳宇, 池田耕一, 阿部恵子. 空中浮遊微生物粒子の測定における瞬間微生物検知器の適用に関する研究, 第3報 生物粒子と非生物粒子に対する応答特性. 日本建築学会大会学術講演会; 2007.8.29-31; 福岡. 同梗概集; 2007. p.905-906.

根本智之, 鍵直樹, 柳宇, 西村直也. 事務所室内における浮遊微粒子濃度の調査, その1 質量濃度と個数濃度の関係性の検証. 日本建築学会大会学術講演会; 2007.8.29-31; 福岡. 同梗概集; 2007. p.915-916.

鍵直樹, 柳宇, 西村直也, 根本智之. 事務所室内における浮遊微粒子濃度の調査, その2 粒径分布とPM2.5濃度の特性. 日本建築学会大会学術講演会; 2007.8.29-31; 福岡. 同梗概集; 2007. p.917-918.

成旻起, 加藤信介, 阿久津太一, 井田寛, 浅井万里成, 柳宇. 室内気流特性に基づいた室内上部 UVGI の殺菌効果に関する考察. 日本建築学会大会学術講演会; 2007.8.29-31; 福岡. 同梗概集; 2007. p.993-994.

池田耕一, 柳宇, 鍵直樹, 西村直也, 吉野博, 小畑美知夫, 齋藤秀樹, 齋藤敬子, 鎌倉良太. 夏期病院施設における建築物衛生法による空気環境法定測定. 平成19年度空気調和・衛生工学会大会; 2007.9.12-14; 仙台. 同講演論文集. p.1323-1326.

鍵直樹, 柳宇, 池田耕一, 西村直也, 齋藤秀樹, 齋藤敬子, 鎌倉良太. 事務所ビルにおける浮遊粒子状物質の粒径分布とエアフィルタによる除去効果. 平成19年度空気調和・衛生工学会大会; 2007.9.12-14; 仙台. 同講演論文集. p.1327-1330.

古橋拓也, 柳宇, 竹内史朗, 鍵直樹, 打田昌樹. ハンドドライヤー使用時における飛散菌とエアロゾルの挙動. 平成19年度空気調和・衛生工学会大会; 2007.9.12-14; 仙台. 同講演論文集. p.1335-1338.

柳宇, 池田耕一, 鍵直樹, 西村直也, 吉野博, 小畑美知夫, 齋藤秀樹, 齋藤敬子, 鎌倉良太. 9 病院の待合室における微生物汚染の実態調査. 平成19年度空気調和・衛生工学会大会; 2007.9.12-14; 仙台. 同講演論文集. p.1371-1374.

鍵直樹, 柳宇, 西村直也, 齋藤秀樹, 齋藤敬子, 鎌倉良太. 事務所ビルにおける化学物質の実態調査及びその特徴. 平成19年度室内環境学会総会; 2007.12.1-2; 仙台.

同講演要旨集, p.158-159.

柳宇, 鍵直樹, 堀越玲子, 池田耕一. 居住環境における空中浮遊微生物粒子の対策に関する研究. 平成19年度室内環境学会総会; 2007.12.1-2; 仙台. 同講演要旨集, p.192-193.

柳宇. 病院施設と微生物. 平成19年度室内環境学会総会自由集会; 2007.12.1-2; 仙台. 同講演要旨集, p.9-12.

鈴木晃, 児玉善郎, 上村智子, 糟谷佐紀, 蓑輪裕子, 阪東美智子, 室崎千重, 神吉優美, 岡部真智子, 野口祐子, 橋本彼路子. 「理由書」標準様式を活用した住宅改修評価システム—保険者による事前申請時の評価を中心に. 平成18年度日本建築学会建築計画委員会在宅ケア環境小委員会研究会「住宅改修の評価システムのあり方」; 2007.2.23; 東京. 同資料集; 2007. p.1-8.

阪東美智子, 鈴木晃. 地域包括支援センターにおける住宅改修の取組み状況とセンターの機能・役割. 日本福祉のまちづくり学会 第10回全国大会; 2007.8.21-22; 朝霞. 同梗概集, p.31-34.

阪東美智子, 鈴木晃. ケアマネジャーに対する住宅改修プランニングの支援のあり方—北海道市町村における住宅改修支援の状況ならびに住宅改善支援チームの活動内容—. 第22回ハ工学カンファレンス; 2007.8.23-25; 名古屋. 同講演論文集, p.237-238.

阪東美智子, 鈴木晃. 「理由書」標準様式の普及活用の動向と住宅改修評価への活用の可能性の検討. 第66回日本公衆衛生学会総会; 2007.10.24-26; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007; 54(10 特別附録): 533.

阪東美智子. 日本におけるホームレスと(低所得者)住宅政策. 社会政策学会2007年度第115回大会; 2007.10.13-14; 京都. (テーマ別分科会第3: 社会的困難を抱える人々と社会政策—日本における社会的包摂の可能性—)

阪東美智子. 住宅と福祉の連携を考える. 都市住宅学会大会(関東)第15回学術講演会; 2007.12.2; 東京. (ワークショップ「住宅と福祉の連携を考える」)

諏訪好英, 田村一, 平敏和, 鍵直樹, 藤井修二. 帯電プレート表面への凝縮性有機物質イオン吸着現象のモデル化(第二報). 第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会; 2007.4; 東京. 同予稿集, p.7-9.

その他学術報告(研究調査報告書含む)

柳宇. 建築物内における生物化学物テロの対策に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「建築物衛生における健康危機管理のあり方に関する研究」(H17-健康-019) 平成18年度報告書. 2007.03. p.13-23.

柳宇. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「建築物の衛生的環境の維持管理に関する研究」. 平成18年度報告書. 2007.03. p.35-57.

池田耕一, 鍵直樹, 柳宇. 厚生労働科学研究費補助金地

域健康危機管理研究事業「シックハウス症候群の診断・治療法及び具体的対応方策に関する研究」. 平成18年度報告書. 2007.03. p.39-46.

阿部恵子, 須山祐之, 川上裕司, 柳宇, 奥田舜二, 大塚哲郎. 微生物ワーキンググループ活動速報—微生物散布と空気清浄機除菌性能評価の予備試験. 室内環境2007; 10(1): 69-73.

阿部恵子, 須山祐之, 川上裕司, 柳宇, 奥田舜二, 大塚哲郎. 微生物ワーキンググループ活動速報(2)—空気清浄機による空中浮遊カビ胞子(生菌)の除去性能の評価例. 室内環境 2007.12; 10(2): 163-166.

阪東美智子, 主任研究者. 科学研究費補助金「生活保護被保護世帯・低所得世帯の住宅状況と居住水準に関する研究」(課題番号17500528) 平成17～平成18年度報告書. 2007.3.

鈴木晃, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「『理由書』標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究」(H18-長寿-一般-010) 平成18年度総括研究報告書. 2007.

鈴木晃, 阪東美智子. 住宅改修評価システム構築の方法としての「理由書」標準様式の活用試験. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「『理由書』標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究」(主任研究者: 鈴木晃. H18-長寿-一般-010) 平成18年度研究報告書. 2007. p.13-26.

鈴木晃. 佐倉市における「理由書」標準様式を活用した保険者による事前評価例の検討. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「『理由書』標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究」(主任研究者: 鈴木晃. H18-長寿-一般-010) 平成18年度研究報告書. 2007. p.37-44.

阪東美智子. 住宅改修アドバイザー制度の動向と「評価」による支援の可能性. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「『理由書』標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究」(主任研究者: 鈴木晃. H18-長寿-一般-010) 平成18年度研究報告書. 2007. p.53-65.

阪東美智子, 鈴木晃. 地域包括支援センターにおける住宅改修評価の可能性の検討. 厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合研究事業「『理由書』標準様式を活用した住宅改修評価システムの構築に関する研究」(主任研究者: 鈴木晃. H18-長寿-一般-010) 平成18年度研究報告書. 2007. p.77-88.

阪東美智子. 中間施設の実態と評価. 虹の連合, 大阪就労福祉居住問題調査研究会編. 2006-2007 もう一つの全国ホームレス調査 ホームレス「自立支援法」中間年見直しをきっかけに. 2007. p.13-16.

阪東美智子. 地域生活を支える住宅および居住の現状. 虹の連合, 大阪就労福祉居住問題調査研究会編. 2006-2007 もう一つの全国ホームレス調査 ホームレス

「自立支援法」中間年見直しをきっかけに. 2007. p.23-24.

Originals

Kagi N, Fujii S, Horiba Y, Namiki N, Ohtani Y, Emi H, Tamura H, Kim YS. Indoor air quality for chemical and ultrafine particle contaminants from printers. Building and Environment 2007 ; 42 (5) : 1949-54.

Namiki N, Komatsu A, Watanabe K, Kagi N. Surface Corrosion of HDD media and subsidiary particle formation due to SO₂ gas adsorption. Journal of the Institute of Environmental Sciences and Technology 2007 ; 2 : 38-51.

Proceedings with abstracts

Yanagi U, Ikeda K, Kagi N. Application of the IMD in measurement of airborne microbial particles. In : The 6th International Conference on Indoor Air Quality, Ventilation & Energy Conservation in Buildings ; 2007 ; Sendai. Proceeding of IAQVEC. 2007. I-515-8.

Kagi N, Ikeda K, Yanagi U. Emission of volatile organic compounds from air filter. In : The 6th International Conference on Indoor Air Quality, Ventilation & Energy Conservation in Buildings ; 2007 ; Sendai. Proceeding of

IAQVEC. 2007. II-157-60.

Hasegawa A, Fujii T, Takeda K, Nishimura N, Ikeda K, Kagi N, Fujii S, Myojo T, Takayanagi T. Characterization of tobacco odor in smoking environment. In : The 6th International Conference on Indoor Air Quality, Ventilation & Energy Conservation in Buildings ; 2007 ; Sendai. Proceeding of IAQVEC. 2007. II-387-92.

Ikeda K, Kagi N, Yanagi U, Hasegawa A, Takeda K. Survey on the accuracy of indoor air quality analytical methods using DNPH cartridge. In : The 6th International Conference on Indoor Air Quality, Ventilation & Energy Conservation in Buildings ; 2007 ; Sendai. Proceeding of IAQVEC. 2007. II-401-6.

Suwa Y, Tamura H, Taira T, Kagi N, Fujii S. Adsorption model of condensed organic compound on the substrate faced to the corona discharge type air ionizer. In : The 6th International Conference on Indoor Air Quality, Ventilation & Energy Conservation in Buildings ; 2007 ; Sendai. Proceeding of IAQVEC. 2007. III-241-6.

水道工学部

Department of Water Supply Engineering

学術雑誌に発表した原著論文

鴨志田公洋, 小坂浩司, 浅見真理, 相澤貴子. 塩素処理における有機りん系農薬の類型別反応性とオキシソニ体への変換について. 水環境学会誌 2007 ; 30 (3) : 145-154.

浦瀬太郎, 呉熙卿, 香川千絵, 島崎大, 国包章一. 活性炭による医薬品類の除去特性. 用水と廃水 2007 ; 49 (4) : 61-67.

小坂浩司, 浅見真理, 松岡雪子, 鴨志田公洋, 国包章一. 利根川流域の浄水場における過塩素酸イオンの実態調査. 水環境学会誌 2007 ; 30 (7) : 361-367.

小坂浩司, 中島典之, 国包章一. 浄水処理工程におけるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルの挙動. 土木学会論文集 G 2007 ; 63 (4) : 255-262.

浅見真理, 小坂浩司, 松岡雪子, 鴨志田公洋. IC/MS/MS 法を用いた環境水及び水道水中のハロゲン酸分析法と過塩素酸の検出. 環境化学 2007 ; 17 (3) : 363-375.

学術雑誌に発表した総説

鴨志田公洋, 小坂浩司, 浅見真理, 相澤貴子. 塩素処理における有機りん系農薬の類型別反応性とオキシソニ体への変換について. 水環境学会誌 2007 ; 30 (3) : 145-154.

島崎大, 西村哲治, 国包章一. 水道水源等の医薬品による汚染とその制御. かんきょう 2007 ; 32 (1) : 26-27.

秋葉道宏. 上下水道システムに対する地震リスクとその

対策. 保健医療科学 2007 ; 56 (1) : 9-15.

山田俊郎, 秋葉道宏. 最近10年間の水を介した健康被害事例. 保健医療科学 2007 ; 56 (1) : 16-23.

立川裕隆, 国包章一. 日米水道水質管理及び下水道技術に関する政府間会議報告. 水道協会雑誌 2007 ; 76 (8) : 53-78.

島崎大, 西村哲治, 国包章一. 水道水源等の医薬品による汚染とその制御. かんきょう 2007 ; 32 (1) : 26-27.

秋葉道宏. 上下水道システムに対する地震リスクとその対策. 保健医療科学 2007 ; 56 (1) : 9-15.

山田俊郎, 秋葉道宏. 最近10年間の水を介した健康被害事例. 保健医療科学 2007 ; 56 (1) : 16-23.

秋葉道宏. 水道における災害対策. 水環境学会誌 2007 ; 30 (5) : 18-21.

著書

秋葉道宏, 新水道水質基準は TOC を採用 (1). 医療用水の確保を (2). 土木学会環境工学委員会編 (編集幹事). 自然・社会と対話する環境工学. 東京: 土木学会; 2007. p.51-53 (1). p.108-111 (2).

秋葉道宏. 医療用水の確保を. 土木学会環境工学委員会編. 自然・社会と対話する環境工学 (一部分担執筆). 東京: 土木学会; 2007. p.108-111.

島崎大. 持続可能な水供給システム研究会, 編. 水供給

—これからの50年— (一部分担執筆). 東京: 技報堂出版; 2007. p.145-163, 166-170.

浅見真理. 幼保施設における水の衛生. 幼保施設危機管理研究会. 幼保施設等安全・安心ハンドブック. 東京: ぎょうせい; 2007.

抄録のある学会報告

島崎大, 国包章一. 水道水源等における医薬品による汚染実態調査. 第41回日本水環境学会年会講演集; 2007, 595.

呉熙卿, 浦瀬太郎, 島崎大, 国包章一. Effect of PAC dose and natural organic matter on pharmaceuticals adsorption. 第41回日本水環境学会年会講演集; 2007, 453.

小坂浩司, 浅見真理, 松岡雪子, 鴨志田公洋, 国包章一. 利根川流域の水道における過塩素酸イオンの実態調査. 第41回日本水環境学会年会講演集; 2007, 458.

鴨志田公洋, 小坂浩司, 浅見真理, 松岡雪子. イオン交換カラムを用いた LC/MS による過塩素酸イオン測定法の開発. 第41回日本水環境学会年会; 2007.3.15-17; 大阪. 同講演集. p.645.

秋葉道宏, 新水道水質基準は TOC を採用(1). 医療用水の確保を(2). 土木学会環境工学委員会編 (編集幹事). 自然・社会と対話する環境工学. 東京: 土木学会; 2007. p.51-53(1). p.108-111(2).

小坂浩司, 浅見真理, 仲里茂彦, 二本木秀治, 及川富士雄, 松岡雪子, 鴨志田公洋, 国包章一. 浄水プロセスおよび次亜塩素酸ナトリウム溶液中の過塩素酸イオンの実態調査. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.546-547.

西村和之, 国包章一. 流出クリプトスポリジウム・オーシスト量算出のための予備的調査. 第58回全国水道研究発表会講演集; 2007, 606-607.

西澤博, 金志勲, 秋葉道宏, 浅見真理, 国包章一. 利根川水系におけるクリプトスポリジウムとジアルジア汚染の実態調査. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.610-611.

春日郁朗, 島崎大, 国包章一. 培養法と分子生物学的手法による生物活性炭槽内の従属栄養細菌の評価. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.614-615.

高井正子, 島崎大, 国包章一. 配水過程における微生物再増殖に及ぼす残留塩素濃度の影響. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.616-617.

山田俊郎, 秋葉道宏, 浅見真理, 島崎大, 国包章一. 過去10年間の飲料水に係る健康危機事例の分析. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.650-651.

横川宣弘, 伊藤雅喜. 膜ろ過に鉄系凝集剤を組み入れた浄水処理システムに関する研究 - PAC, 砂ろ過との比較

実験一. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.180-181.

松田康孝, 伊藤雅喜. ナノろ過膜ファウリングと前処理(凝集沈澱・膜処理)および原水濃度との関係についての研究. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.206-207.

鹿島田浩二, 松井佳彦, 大野浩一, 伊藤雅喜, 高田武, 吉沢健一, 三木一弥, 青井健太郎, 房岡良成, 太田直輝. NF 膜を用いた高度浄水処理についての研究 (I). 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.210-211.

五十嵐倫子, 藤原正弘, 近藤博幸, 伊藤雅喜. 水質に応じた最適浄水処理システムの構築. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.286-287.

馬場崇, 伊藤雅喜. 流量・弁差圧の連続監視によるパネ式逆止弁の以上検出手法の開発. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.474-475.

相澤貴子, 鎌田素之, 西村哲治, 浅見真理, 小坂浩司. 検出実態を反映した農薬監視体制の提案. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.538-539.

石橋健二, 東田恭明, 藤田卓也, 東出大輔, 森元俊夫, 伊佐治知明, 木村謙治, 浅見真理, 安藤正典. イオンクロマトグラフ法による塩素酸及び亜塩素酸の分析方法の検討. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.576-577.

宮田雅典, 西村哲治, 浅見真理, 菊池修一, 宇田川富男, 天羽孝志, 渡部祐介, 奥野雅司, 橋渡健児, 安恒実, 安藤正典. ハロ酢酸類 3 物質の LC - MS 法による分析方法の検討. 第58回全国水道研究発表会; 2007.5.23-25; 釧路. 同講演集. p.582-583.

山田俊郎, 秋葉道宏, 浅見真理, 島崎大, 国包章一. 最近10年間の我が国における飲料水健康危機事例について. 第15回衛生工学シンポジウム; 2007.11.8-9; 札幌. 第15回衛生工学シンポジウム講演集. p.133-136.

山田俊郎, 秋葉道宏, 浅見真理, 島崎大, 国包章一. 我が国における飲料水に係る健康危機事例について. 第44回環境工学研究フォーラム; 2007.11.16-18; 釧路. 第44回環境工学研究フォーラム発表論文集. p.134-136.

伊藤千春, 小野哲夫, 佐藤亜津子, 清水寛子, 野崎直彦, 三澤愛子, 島崎大, 秋葉道宏, 鳩野洋子, 森川美絵. 医療機関従事者に対する医療廃棄物処理に関するアンケート調査. 第18回廃棄物学会研究発表会; 2007.11.19-21; つくば. 同講演論文集. E3-6.

日根野谷充, 木村哲朗, 大野浩一, 伊藤雅喜, 松下拓, 松井佳彦. 凝集沈澱・活性炭吸着による NF 濃縮水の処理. 第15回衛生工学シンポジウム; 2007.11.8-9; 札幌. 同論文集. p.171-174.

伊藤雅喜. 高度処理としてのナノろ過膜の性能予測と導入のための実証的研究. ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2007; 2007.12.6; 東京. 同講演集. p.S6-2-1

—S6-2-18.

浅見真理, 小坂浩司. 環境水, 水道水中のイオン分析の重要性. イオンクロマトグラフィー討論会. 2007.12.

島崎大. 水道水源等における医薬品の存在状況と浄水処理による制御. 京都大学環境衛生工学研究会第29回シンポジウム; 2007.7.19-20; 京都. 同講演論文集. p.9-12.

山本裕子, 山田俊郎. 海外における飲料水の汚染事例. 第15回衛生工学シンポジウム; 2007.11.8-9; 札幌. 第15回衛生工学シンポジウム講演集. p.121-124.

その他学術報告(研究調査報告書含む)

国包章一, 浅見真理, 島崎大, 他. 環境省地球環境保全等試験研究費「水道水源等における生理活性物質の測定と制御に関する研究」平成18年度環境保全成果集; 2007.3.

国包章一, 浅見真理, 秋葉道宏: 環境省地球環境保全等試験研究費「公共用水域の人畜由来汚染による健康影響リスクの解明と規制影響分析に関する研究」平成18年度環境保全成果集; 2007.3.

国包章一, 主任研究者. 厚生労働科学研究費地域健康危機管理研究事業「残留塩素に依存しない水道の水質管理手法に関する研究」(H17-健康-025). 平成18年度総括・分担研究報告書; 2007.3.

秋葉道宏, 国包章一, 浅見真理, 島崎大, 他. 厚生労働科学研究費地域健康危機管理研究事業「飲料水に係る健康危機の適正管理手法の開発に関する研究」(主任研究者: 秋葉道宏. H18-健康-一般-006). 平成18年度総括・分担研究報告書; 2007.3.

秋葉道宏, 主任研究者. 厚生科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「飲料水に係る健康危機の適正管理手法の開発に関する研究」(H18-健康-一般-006) 平成18年度研究報告書; 2007.3.

秋葉道宏, 片山裕之, 西澤博. 利根川水系におけるクリプトスポリジウム及びジアルジア汚染の実態調査. 厚生科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業「広域における食品由来感染症を迅速に探知するために必要な情報に関する研究」(主任研究者: 寺嶋淳. H18-新興-一般-016) 平成18年度研究報告書; 2007.3.

安藤正典, 秋葉道宏, 西村哲治. 一般有機物分科会報告書. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「最新の科学的知見に基づく水質基準の見直し等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基. H16-健康-066). 平成18年度研究報告書; 2007.3.

安藤正典, 秋葉道宏, 西村哲治. 一般有機物分科会報告書. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「最新の科学的知見に基づく水質基準の見直し等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基. H16-健康-066). 平成16~18年度研究報告書; 2007.3.

小坂浩司, 他. (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構「オゾン応用技術の安全管理に関する標準化調査事業」(委託先: 特定非営利活動法人日本オゾン協会). 平成

18年度成果報告書. 2007.3.

小坂浩司. 微量汚染物質のオゾンおよびヒドロキシルラジカルとの反応速度定数の測定. オゾンニュース 2007; 62: 3-6.

国包章一, 西野二郎, 他. 水道水質管理分科会報告書. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「最新の科学的知見に基づく水質基準の見直し等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基. H16-健康-066). 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.3.

国包章一, 西野二郎, 他. 水道水質管理分科会報告書. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「最新の科学的知見に基づく水質基準の見直し等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基. H16-健康-066). 平成16~18年度総合研究報告書. 2007.3.

伊藤雅喜, 眞柄泰基, 国包章一. 無機物質分科会報告書. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「最新の科学的知見に基づく水質基準の見直し等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基. H16-健康-066). 平成18年度研究報告書; 2007.3.

伊藤雅喜, 眞柄泰基, 国包章一. 無機物質分科会報告書. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「最新の科学的知見に基づく水質基準の見直し等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基. H16-健康-066). 平成16~18年度研究報告書; 2007.3.

安藤正典, 秋葉道宏, 西村哲治. 一般有機物分科会報告書. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「最新の科学的知見に基づく水質基準の見直し等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基. H16-健康-066). 平成18年度研究報告書; 2007.3.

安藤正典, 秋葉道宏, 西村哲治. 一般有機物分科会報告書. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「最新の科学的知見に基づく水質基準の見直し等に関する研究」(主任研究者: 眞柄泰基. H16-健康-066). 平成16~18年度研究報告書; 2007.3.

秋葉道宏, 片山裕之, 西澤博. 利根川水系におけるクリプトスポリジウム及びジアルジア汚染の実態調査. 厚生科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業「広域における食品由来感染症を迅速に探知するために必要な情報に関する研究」(主任研究者: 寺嶋淳. H18-新興-一般-016) 平成18年度研究報告書; 2007.3.

伊藤雅喜, 林田武志, 酒井一夫. 逆流防止装置で異常検出方法の開発と応用に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「給水末端における水質および給水装置・用具機能の異常監視と管理に関する研究」(主任研究者: 中村文雄. H17-健康-024). 平成18年度研究報告書; 2007.3.

伊藤雅喜. 建築物内給水システムにおける飲料水の安全性確保に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「建築物衛生における健康危機管理のあり方に関する研究」(主任研究者: 池田耕一. H17-健康

ー019). 平成18年度研究報告書; 2007.3.

小坂浩司, 他. (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構「オゾン応用技術の安全管理に関する標準化調査事業」(委託先: 特定非営利活動法人日本オゾン協会). 平成18年度成果報告書. 2007.3.

小坂浩司. 微量汚染物質のオゾンおよびヒドロキシルラ

ジカルとの反応速度定数の測定. オゾンニュース 2007; 62: 3-6.

大谷仁己, 小坂浩司, 浅見真理, 富岡淳. LC/MS による河川水中過塩素酸イオンの分析. 群馬県衛生環境研究所年報39号. 2007.12: 41-45.

Originals

Kasuga I, Shimazaki D, Kunikane S. Influence of backwashing on the microbial community in a biofilm developed on biological activated carbon used in a drinking water treatment plant. *Water Science & Technology* 2007; 55 (8-9): 173-180.

Sasaki T, Hanamoto K, Ogura K, Oya M, Itoh M, Fujiwara M and Watanabe Y. Membrane-media active collaboration (M-MAC): and alternative for solid-liquid separation in drinking water treatment. *Journal of Water Supply: Research and technology-AQUA* 2007, Vol.56 (6-7): p.357-363.

Kosaka K., Asami M., Matsuoka Y., Kamoshita M. and Kunikane S., Occurrence of perchlorate in drinking water sources of metropolitan area in Japan. *Water Research* 2007; 41 (15): 3474-3482.

Books

Thompson T, Fawell J, Kunikane S, et al. Chemical safety of drinking-water: Assessing priorities for risk management. Geneva: World Health Organization; 2007.

Asami M. Disinfection by-products in water. In: edited by Magara Y, Eolss Publishers. Encyclopedia of life support systems (EOLSS). Oxford, UK: UNESCO; 2007.

Proceedings with Abstracts

Kunikane S. Application of "Water Safety Plan" to drinking water quality management in Japan. In: 7th Japan-US Conference on Drinking Water Quality Management; Jan. 2007; Okinawa. Proceedings. 2007.

Matsui Y, Itoh M, Oguchi Y, Kondo T, Ohno K, Magara Y. Effect of aluminum and ferric coagulant residuals present after MF on NF membrane fouling. In: Membrane Technology Conference and Exposition, American Water Works Association; 2007 Mar. 18-21; Tampa, USA. Proceedings. 2007.

Kosaka K, Asami M, Matsuoka Y, Kamoshita M, Kunikane S. Occurrence of perchlorate at water treatment plants of the Tone River Basin in Japan. In: 233rd American Chemical Society (ACS) National Meeting; 2007 March 25-27; Chicago, Illinois. Proceedings. 2007. p.1348-1352.

Asami M, Itoh S. Occurrence and control of disinfection

by-products in drinking water. In: 7th Japan-US Conference on Drinking Water Quality Management; Jan. 2007; Okinawa. Proceedings. 2007.

Oh H, Urase T, Simazaki D, Kunikane S, Yu M. Removal of carbamazepine, clofibric acid and diclofenac using a unit modular PAC-MF system. In: Annular Conference of Korean Society on Water Quality; 2007 April 20-21; Korea. Proceedings. 2007.

Yamada T., Akiba M., Asami M., Shimazaki D, Kunikane S. Waterborne health hazard cases by drinking water in Japan. In: IWA 14th International Symposium on Health-Related Water Microbiology; 2007 Sep. 9-15; Tokyo. Proceedings. 2007. p.350.

Simazaki D, Takai M and Kunikane S. Effect of residual chlorine concentration and roughness of pipe wall surface on bacterial regrowth potential in the course of drinking water distribution. In: IWA 14th International Symposium on Health-Related Water Microbiology; 2007 Sep. 9-15; Tokyo. Proceedings. 2007.

Simazaki D, Fujiwara J, Manabe S, Matsuda M, Asami M, Kunikane S. Removal of selected pharmaceuticals by chlorination, coagulation-sedimentation and powdered activated carbon treatment. In: 2nd IWA Asia-Pacific Regional Group Conference & Exhibition (Aspire 2007); 2007 Oct. 28- Nov.1; Perth, Australia. Proceedings. 2007.

Asami M, Kosaka K, Kunikane S. Bromate, chlorate, chlorite and perchlorate in sodium hypochlorite solution used for water supply. In: Asian Pacific Regional Exhibition, 2nd IWA Asia-Pacific Regional Group Conference & Exhibition (Aspire 2007); 2007 Oct. 28- Nov.1; Perth, Australia. Proceedings. 2007.

Asami M, Kunikane S. Regulatory Impact Analysis (RIA) - introduction of membrane filtration or UV irradiation into small water supply system against potential cryptosporidium contamination. In: Efficient Operation and Management, International Water Association; May 2007; Jeju, Korea.

Kosaka K., Nakajima F. and Kunikane S. Mass flow of di-(2-ethylhexyl) phthalate in water treatment. In: 5th IWA Specialized Conference on Assessment and Control of Micropollutants / Hazardous Substances in Water; 2007 June 17-20; Frankfurt/Main Germany. Proceedings. 2007. p.548.

Akiba M, Yamada T. Accidental water resource pollutions and health hazard cases caused by drinking water in Japan. In : 29th International Symposium on Environmental Issues ; 2007 May ; Gyeongsan, Korea. Proceedings 2007. pp.81-84.

Nyamragchaa C, Asami M Tomohiro M, Narantuya L.

Drinking water safety and sanitation in relation to diarrheal diseases in peri-urban area of Mongolia. In : IWA 14th International Symposium on Health-Related Water Microbiology ; 2007 Sep. 9-15 ; Tokyo, Japan. Proceedings. 2007. p.142-144.

施設科学部

Department of Facility Sciences

学術雑誌に発表した原著論文

井上由起子, 笥淳夫. 治療・療養の場としての回復期リハビリテーション病棟の建築環境に関する考察 回復期リハビリテーション病棟のあり方に関する研究 その2. 日本建築学会計画系論文集 2007 ; 613 : 53-58.

鳥山亜紀, 渡辺玲奈, 中山茂樹, 笥淳夫, 山下哲郎. 「パーソナル看護拠点」およびその他の看護拠点の機能と配置に関する研究 医療・患者情報の電子化と急性期病棟計画の再検討 その2. 日本建築学会計画系論文集 2007 ; 625 : 527-533.

須田眞史, 横井郁子, 橋本美芽, 三宅祥三, 笥淳夫, 井上由起子. ベッドからの転落への物的対策の検討. 病院管理 2007 ; 44(2) : 41-53.

生田京子, 井上由起子, 小野幸子, 坪井桂子. ユニット型介護保険施設における看取りに関する研究. 日本建築学会計画系論文集 2007 ; 622 : 49-56.

小林健一, 宇田淳, 山下哲郎. 病院の地震対策に関する実態調査について - 建築・設備関係を中心として -. 日本集団災害医学会誌 2007 ; 12(2) : 196-206.

長谷川崇, 岩佐明彦, 新海俊一, 篠崎正彦, 安武敦子, 小林健一, 宮越敦史. 応急仮設住宅における居住環境改変とその支援 - 「仮設カフェ」による実践的研究 -. 日本建築学会計画系論文集 2007 ; 622 : 9-16.

学術雑誌に発表した総説

笥淳夫. 病院の物的環境と医療安全 (転倒・転落防止対策). 日本医師会雑誌 2007 ; 135(12) : 2509-2513.

笥淳夫. 手術部の建築計画 - 感染防止の観点から -. 第22回日本環境感染学会総会 ; 2007年2月 ; 神奈川. 第22回日本環境感染学会総会特集号 2007 ; 22 : 78.

笥淳夫. 病院建築設備から見た結核の空気感染対策. 病院設備 2007 ; 49(2) : 36-37.

笥淳夫. 書評 クリニックを具体化する過程で考えるべきことを整理 (「クリニック時代のクリニック建築」 ; 山下哲郎著). 日本医事新報 2007 ; 4335 : 35.

笥淳夫. 病院環境の構築と維持・管理. ビルと環境 2007 ; 116 : 19-22.

笥淳夫. 一目で分かる専門用語 院内感染管理分野. ビルと環境 2007 ; 116 : 38-39.

笥淳夫. 肺結核患者を対象とした空気感染隔離. 病院設

備 2007 ; 49(4) : 14-21.

笥淳夫. 高齢者を対象とした医療施設の建築的課題. 建築設備と配管工事 2007 ; 600 : 7-12.

笥淳夫. 病院環境の管理 - 過去・現在・未来 -. 空気清浄 2007 ; 45(4) : 3-8.

井上由起子. 既存特養ホームにおけるユニットケア導入のポイント. 介護保険情報 2007 ; 7 : 8-11.

石川誠, 井上由起子, 宮崎康久. 座談会・回復期リハビリテーション病院のトイレ環境「もう一度ひとりで使いたい」患者さんの願いを支えるトイレ - 多様な身体状況をケアする現場から -. リハビリテーション 2007 ; 6 : 4-7.

井上由起子. 高齢期における医療と地域コミュニティ. 病院 2007 ; 10 : 833-837.

井上由起子. シンポジウム I 「終の棲家はどこ？」 高齢期の住まい - いえ から まち へ -. 日本在宅医学会大会 ; 2007.3 ; 札幌. 日本在宅医学会雑誌 2007 ; 9 : 21-23.

小林健一. 医療福祉用語の基礎知識 (医療費適正化計画, 療養病床の再編成). 医療福祉建築 2007 ; 155 : 36.

小林健一. 「選択・集中」したのは, 高度専門医療や充実した急性期医療. 新しい時代の地域中核病院が誕生. 別冊厚生サロン 2007 ; III Summer : 16-22.

著書

小林寛伊, 大久保憲, 木下佳子, 諏訪部章, 尾家重治, 笥淳夫, 他. 感染制御 Q&A. 2007.p.96-97,100-103,161.

藤井賢一郎, 井上由起子, 三浦研, 山口健太郎, 石井敏, 小山剛, 他編. いえとまちに住まう, サテライト型特別養護老人ホームの特徴と考え方. 平成19年度版 地域密着型サービスマニュアル. 東京 : 日本厚生協会出版部 ; 2007. p.103-120,139-162.

長澤泰, 石井敏, 井上由起子, 菅野正広. 第2章 ユニットケアをめぐる現状とこれから. 事例と解説でみるユニットケア型施設計画ガイドブック. 東京 : 中央法規出版 ; 2007. p.29-35.

井上由起子, 伊藤雅治, 秋葉都子, 篠崎人理, 田中智子, 永田久美子, 波瀾幸敏, 三浦研, 宮島渡, 村上勝彦, 山崎和彦, 山田尋志. 利用者の生活を支えるユニットケア. 認知症介護研究・研修東京センター. 中央法規出版 ;

2007 : p.31-65.

井上由起子, 石井敏. 施設から住まいへ—高齢期の暮らしと環境—. 厚生科学研究所; 2007.

三浦研, 石井敏, 井出良三, 井上由起子, 小山剛, 牧嶋誠吾, 宮島渡, 山口健太郎, 糸山剛, 井上博文, 菅野正広, 山崎敏. 小規模多機能サービス拠点の計画 目指すべき方向性と考え方 (平成18年度老人保健事業推進費等国庫補助事業). 日本医療福祉協会; 2007.

小林健一. 災害拠点病院. 日本病院管理学会, 編. 医療・病院管理用語事典 改訂第3版. 東京: エルゼビア・ジャパン株式会社ミクス; 2006.

抄録のある学会報告

鳥山亜紀, 渡辺玲奈, 中山茂樹, 山下哲郎, 笥淳夫. 分散看護拠点を配した病棟における看護業務分析—看護業務と病棟平面との関連性に関する研究—その3. 日本建築学会2007年度大会; 2007.8.29-31; 福岡. 2007年度大会学術講演梗概集. 2007. E-1 p.337.

渡辺玲奈, 鳥山亜紀, 中山茂樹, 山下哲郎, 笥淳夫. 受け持ち部屋範囲と看護必要度から考える看護チーム規模の検討—看護業務と病棟平面との関連性に関する研究—その4. 日本建築学会2007年度大会; 2007.8.29-31; 福岡. 2007年度大会学術講演梗概集. 2007. E-1 p.339.

毛利志保, 董恩伯, 井上由起子, 谷口元. ユニット内の居住空間整備における経年変化—個室ユニット型特別老人ホームの実態把握に関する研究—その3. 日本建築学会2007年度大会; 2007.8.29-31; 福岡. 2007年度大会学術講演梗概集. 2007. E-1 p.225-226.

董恩伯, 毛利志保, 井上由起子, 谷口元. ユニットの独立性とケア体制の関わりからみた今後の課題—個室ユニット型特別老人ホームの実態把握に関する研究—その4. 日本建築学会2007年度大会; 2007.8.29-31; 福岡. 2007年度大会学術講演梗概集. 2007. E-1 p.227-228.

井上由起子, 山口健太郎. 既存特別養護老人ホームの改修とサテライト居住に関する考察—特別養護老人ホームにおけるサテライト居住と本体改修に関する研究 (その1). 日本建築学会2007年度大会; 2007.8.29-31; 福岡. 2007年度大会学術講演梗概集. 2007. E-1 p.243-244.

山口健太郎, 井上由起子. サテライト型特別養護老人ホームの空間構成と運営状況に関する考察—特別養護老人ホームにおけるサテライト居住と本体改修に関する研究 (その2). 日本建築学会2007年度大会; 2007.8.29-31; 福岡. 2007年度大会学術講演梗概集. 2007. E-1 p.245-246.

鳥山亜紀, 渡辺玲奈, 中山茂樹, 山下哲郎, 笥淳夫. 分散看護拠点を配した病棟における看護業務分析—看護業務と病棟平面との関連性に関する研究—その3-1. 日本建築学会2007年度大会; 2007.8.29-31; 福岡. 日本建築学会大会学術講演梗概集. E-1 p.337-338.

渡辺玲奈, 鳥山亜紀, 中山茂樹, 山下哲郎, 笥淳夫. 受け持ち部屋範囲と看護必要度から考える看護チーム規模の

検討—看護業務と病棟平面との関連性に関する研究—その4-1. 日本建築学会2007年度大会; 2007.8.29-31; 福岡. 日本建築学会大会学術講演梗概集. E-1 p.339-340.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

井上由起子. 老人保健健康増進等事業『『高齢者向けの安心な住まい』のためのLSA等のあり方に関する調査研究』報告書 東京: 財) 長寿社会開発センター; 2007.

笥淳夫. 患者の入院生活における物的環境の適正評価に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「安全な療養環境を構築するための物的対策に関する研究」(主任研究者: 笥淳夫. H17-医療-029) 平成18年度研究報告書. 2007. p.25-69.

笥淳夫, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「安全な療養環境を構築するための物的対策に関する研究」H17-医療-029. 平成18年度研究報告書. 2007.

笥淳夫, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「安全な療養環境を構築するための物的対策に関する研究」H17-医療-029. 平成17~18年度研究報告書. 2007.

笥淳夫, 井上由起子, 上野淳, 斉藤芳徳. 回復期リハビリテーション医療に適した患者の環境整備に関する研究. 平成16~18年度科学研究費補助金基盤研究(C) (課題番号: 16560562) 研究成果報告書. 2007.

山下哲郎, 生田京子, 田中英紀, 笥淳夫, 小林健一, 福内靖男, 鷺見圭司. 足利市における公的医療機関の建築計画に関する研究. 足利赤十字病院・名古屋大学共同研究. (主任研究者: 山下哲郎) 新足利赤十字病院・基本計画報告書: 建築計画編. 2007.

笥淳夫, 井上由起子. 回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書. 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会. 2007.

井上由起子, 三浦研, 山口健太郎, 森勇樹. 特別養護老人ホームにおけるサテライト居住と本体改修に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金長寿総合科学研究事業. 平成18年度 総括研究報告書. 2007.

大森彌, 新田保次, 浅見泰司, 位寄和久, 池田省三, 井上由起子, 鎌田實, 白井宗雄, 園田真理子, 武川正吾, 戸田晴久, 三浦研, 元永拓郎. 在宅・長寿の我がまちづくり~安心とほほえみへのアプローチ~ (在宅・長寿の我がまちづくり検討委員会 平成18年度老人保健健康増進等事業). 財) 国土技術研究センター. 2007.

大森彌, 新田保次, 浅見泰司, 位寄和久, 池田省三, 井上由起子, 鎌田實, 白井宗雄, 園田真理子, 武川正吾, 戸田晴久, 三浦研, 元永拓郎. 在宅・長寿の我がまちづくり 108+ α のヒント (在宅・長寿の我がまちづくり検討委員会 平成18年度老人保健健康増進等事業). 特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク. 2007.

井上由起子. 介護サービス提供に対応した住まいのあり

方に関する調査 報告書（平成18年度老人保健健康増進事業）。財）高齢者住宅財団。2007。

浅見泰司，五十嵐智嘉子，井上由起子，岡本悦司，開原成允，河口洋行，小山秀夫，台豊，高橋紘士，鳥羽研二，内藤佳津雄，畠山輝雄，藤井賢一郎，山内孝一郎。地域ケア整備指針の策定に関する研究 報告書（平成18年度老

人保健健康増進等事業）。財）医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構。2007。

岩佐明彦，安武敦子，新海俊一，篠崎正彦，小林健一。水害・災害仮設住宅の居住環境支援に関する研究 一新潟県中越における実践的研究。住宅総合研究財団 研究論文集 No.33。2007。

研修企画部

Department of Education and Training Technology

学術誌に発表した原著論文

土井由利子，横山徹爾，酒井美良。日本における難病による死亡の時系列推移（1972～2004年）日本公衆衛生雑誌 2007；54：684-694。

土井由利子，岡靖哲，堀内史枝，大川匡子，内山真。子供の睡眠習慣質問票日本語版 the Japanese version of Children's Sleep Habits Questionnaire (CSHQ-J) の作成。睡眠医療 2007；5：83-88。

学術誌に発表した総説

土井由利子。睡眠負債の視点からみた生活習慣病と生命予後。医学のあゆみ 2007；223：807-811。

堀内史江，岡靖哲，土井由利子。小児の睡眠障害。小児科 2007；48(8)：1195-1201。

土井由利子。高齢者の睡眠障害に関する疫学；高齢者睡眠障害の対応と予防。Geriatric Medicine 老年医学 2007；45：657-661。

土井由利子。日本における睡眠薬の使用状況と諸外国との比較—疫学調査から—；不眠症—Common diseaseの病態と心身への影響。Current Therapy カレントセラピー 2007；25(1)：16-19。

土井由利子。睡眠障害の疫学；日常臨床で押さえておきたい睡眠障害の知識。治療 2007；89（増刊号）：6-10。

著書

畑栄一，土井由利子編。行動科学—健康づくりのための理論と応用 第3版。東京：南江堂；2007。

土井由利子。第1章 持てる者，持たざる者。Michael Marmot 著，橋本英樹 監訳。ステータス・シンドローム。東京：日本評論社；2007。p.15-42。

土井由利子。母子保健の現状と動向。小山洋・辻一郎，編。鈴木庄介・久道茂，監修。シンプル衛生公衆衛生学 2007。東京：南江堂；2007。p.209-215。

抄録のある学会報告

土井由利子。睡眠疫学の発展のために—睡眠医療と睡眠疫学。日本睡眠学会第32回定期学術集会；2007.11.9；東京。同抄録集。p.116（シンポジウム）。

土井由利子，酒井美良，横山徹爾，中村好一。クロイツフェルト・ヤコブ病による死亡の時系列推移。第66回日

本公衆衛生学会総会；2007.10.24-26；松山。日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：241。

Duki Zulkarnain，土井由利子，酒井美良，横山徹爾。Geographical Analyses of Mortality Caused by Severe Acute Pancreatitis in Japan。第66回日本公衆衛生学会総会；2007.10.24-26；松山。日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：241-242。

泉峰子，星佳芳，石川雅彦，大塚賀政昭，熊川寿郎，杉山英男，武村真治，橘とも子，筒井孝子，土井徹，土井由利子，中板育美，西村秋生，東野定律，平野かよ子，藤井仁，藤原真一郎，水嶋春朔，山口一郎，林謙治。国立保健医療科学院「ガイド情報ライブラリー」におけるインターネット情報配信。第66回日本公衆衛生学会総会；2007.10.24-26；松山。日本公衆衛生雑誌 2007；54(10 特別附録)：243。

土井由利子，岡靖哲，堀内史枝，大川匡子，内山真。子供の睡眠習慣の国際比較に関する一考察。第13回日本行動医学会；2007.3.18；越谷。同抄録集。p.62。

藤原真一郎。公衆衛生獣医師の研修を通して。第143回日本獣医学会学術集会；2007.4；つくば。第143回日本獣医学会学術集会講演要旨集。p.114。

山口一郎，寺田宙，高橋光子，杉山英男，三宅定明。都市環境（清掃工場，下水処理場）中の放射能。第44回アイソトープ・放射線研究発表会；2007.7；東京。同要旨集。p.157。

杉山英男，寺田宙，高橋光子，飯島育代，磯村公郎。トータルダイエットスタディによる放射性核種の摂取量評価。第44回アイソトープ・放射線研究発表会；2007.7；東京。同要旨集。p.144。

山口一郎，寺田宙，高橋光子，杉山英男，三宅定明。環境中で検出される放射性医薬品の患者投与後からの経過時間。日本保健物理学会第41回研究発表会；2007.6。東京。同要旨。p.100。

杉山英男，高橋光子，寺田宙，前田千佳，加藤文男。キノコ（Pleurotus ostreatus）によるCsの高濃縮性と局在性に関する検討。第127年会日本薬学会；2007.3；富山。同要旨集。p.178。

杉山英男，高橋光子，寺田宙，前田千佳，加藤文男。食用キノコにおけるセシウムの高濃縮性と局在性。第44回全国衛生化学技術協議会；2007.11；三重。p.37-38。

山口一郎, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男, 三宅定明. 都市環境に排出される放射性医薬品のモニタリング. 第44回全国衛生化学技術協議会; 2007.11; 三重. p.199-200.

磯村公郎, 飯島育代, 寺田宙, 高橋光子, 杉山英男. トータルダイエットスタディによる放射性核種の摂取量調査・評価. 第44回全国衛生化学技術協議会; 2007.11; 三重. p.35-36.

学術報告（研究調査報告書含む）

加藤則子. 保健婦さん 応援しています!! ふたりで子育て. 平成18年度 父親の育児参加推進事業報告書. 全国保険センター連合会. 2007. p.10-11.

加藤則子. 協力研究者 須藤紀子, 柳川敏彦, 石津博子. 地域における住民参画と保健と福祉の協働—地域における子育てネットワークと協力して行った子育てプログラム. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「住民参画と保健福祉の協働による子育て機能の向上・普及・評価に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.p.72-74.

加藤則子. 研究協力者 濱西島子. 妊婦の食事摂取, 体重増加, 体型に関する意識調査—既存資料による出生体重減少要因の検討をふまえて—. 厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「若い女性の食生活はこのままで良いのか? 次世代の健康を考慮に入れた栄養学・予防医学的検討」(主任研究者: 吉池信男) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.p.39-48.

加藤則子. 研究代表者. 科学研究費補助金「多胎出生高リスク地域における多胎児の客観的・主観的健康と生育環境の総合的評価」(基盤研究(C) 課題番号: 17590566) 研究成果報告書. 2007.

加藤則子. 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「行政処分を受けた医療従業者の再教育の進め方に関する研究」平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

加藤則子. 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金子ども

も家庭総合研究事業「乳幼児健診をきっかけとした発達障害の早期発見支援活動とその評価に関する研究」平成18年度総括研究報告書. 2007.

土井由利子. 主任研究者. 文部科学研究費補助金基盤研究(C)「眠剤に関する大規模薬剤疫学研究 - 外来処方を中心に」平成18年度研究実績報告書. 2007.

土井由利子. 行政資料を用いた難病の頻度調査—人口動態統計死亡票を用いた特定疾患による死亡の地域集積性に関する検討—. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患の疫学に関する研究」(主任研究者: 永井正規). 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.233-59.

土井由利子. 行政資料を用いた難病の頻度調査—人口動態調査死亡票を用いた特定疾患による死亡の頻度調査について—. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患の疫学に関する研究」(主任研究者: 永井正規). 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.p.260-8.

土井由利子, 横山徹爾, 編. 難病の死亡統計データブック増補. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患の疫学に関する研究」(主任研究者: 永井正規). 平成18年度分担研究報告書. 2007.p.1-44.

畑栄一. 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金統計情報総合研究事業「統計情報を用い保健医療福祉分野ごとに施策評価について具体的に応用可能な指標パッケージの開発に関する研究」(H17—統計—一般—001) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007.

畑栄一. 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金統計情報総合研究事業「統計情報を用い保健医療福祉分野ごとに施策評価について具体的に応用可能な指標パッケージの開発に関する研究」平成17-18年度総合研究報告書. 2007.

杉山英男, 寺田宙, 磯村公郎, 飯島育代. 食品中の放射性核種の摂取量調査・評価研究. 厚生労働科学研究費補助金食品の安全性高度化推進研究事業「食品中の有害物質等の摂取量の調査及び評価に関する研究」(主任研究者: 松田りえ子). 平成18年度研究報告書. 2007.

Originals

Doi Y, Yokoyama T, Sakai M, Nakamura Y. Creutzfeldt-Jakob disease mortality in Japan, 1979-2004: Analysis of national death certificate data. J Epidemiol 2007; 17(4): 133-9.

Okamoto E, Hata E, Kobayashi M, Hayashi K. Age-period-cohort analysis of asthma prevalence among school children. Environmental Health and Preventive Medicine 2007; 12: 119-28.

Sugiyama H, Terada H, Takahashi M, Iijima I, Isomura K. Contents and daily intakes of gamma-ray emitting nuclides, ⁹⁰Sr, and ²³⁸U using market-basket studies in Japan. J Health Sci 2007; 53(1): 107-18.

Proceedings with abstracts

Doi Y. National estimates of sleep medication prescriptions for office-based clinical practice in Japan. In: The 5th World Sleep Congress of the World Federation of Sleep Research and Sleep Medicine Society; September 2-6, 2007; Cairns, Australia.

Sugiyama H, Terada H, Takahashi MN, Iijima I, Isomura K, Hirata A, Sakurai K, Miyata M, Goto S. Concentrations of Cs-137 in imported foodstuffs and daily intakes of radionuclides for people, in Japan. In: 52nd Annual Meeting of the Health Physics Society; 2007; Portland. Abstract book. 2007. p.16.

Yamaguchi I, Terada H, Takahashi MN, Sugiyama H. Qualitative activation analysis on target assembly of

medical accelerators. MTAA12 ; 2007 ; Tokyo. Abstract book. 2007. p.109.

研究情報センター Center for Information Research and Library

学術雑誌に発表した原著論文

湯浅秀道, 木野孔司, 星佳芳, 杉崎正志, 覚道健治. 顎関節症診療ガイドラインにおける "Patient Question" の把握にインターネットを利用するための予備調査. 日本顎関節学会雑誌 2007 ; 19(3) : 227-232.

田島知明, 牧野光則, 星佳芳. 肺の立体視表示による喫煙リスクの CAVE での可視化. 第25回日本シミュレーション学会大会発表論文集 2006 ; 25th : 77-80.

学術雑誌に発表した総説

土井徹, 呂良勇. 中国 CDC におけるインターネットの利用. 日中医学 2007 ; 22(4) : 28-31.

星佳芳, 武村真治, 橘とも子, 泉峰子, 磯野威, 吉見逸郎, 曾根智史, 緒方裕光, 林謙治. 健康危機管理支援情報のインターネット配信. Health Science and Health Care 2007 ; 7(2) : 83-87.

星佳芳. ヘルスサイエンス, ヘルスケアと医療のインターネット情報提供. Health Science and Health Care 2006 ; 6(1) : 34-47.

吉見逸郎. 禁煙ネットワークの役割 国内・国外の状況. COPD FRONTIER 2007 ; 6(4) : 299-303.

吉見逸郎. がん診療連携拠点病院制度について. 公衆衛生 2007 ; 71(1) : 11-15.

抄録のある学会報告

緒方裕光. 医療被ばくを受ける患者さんへの放射線リスク・マネジメントの要点. 第66回日本医学放射線学会学術集会合同シンポジウム ; 2007.4 ; 横浜. 同抄録集. p.47.

緒方裕光. 放射線リスク評価における線量率効果. 日本保健物理学会第41回研究発表会基調講演 ; 2007.6 ; 東京. 同抄録集. p.57.

緒方裕光, 古賀佑彦. 緊急被ばく医療従事者における放射線被ばく容認レベルに関する質問調査. 日本テスト学会第5回大会 ; 2007.8 ; 東京. 同抄録集. p.196-197.

古川智春, 緒方裕光, 馬替純二. ガンマ線の連続照射による遅延性増殖阻害とアポトーシス耐性の誘導. 日本放射線影響学会 ; 2007.11 ; 東京.

古賀佑彦, 衣笠達也, 青木芳郎, 菊地透, 緒方裕光, 山田章吾, 山本尚幸. 「容認できる二次的な被ばく」に関する合意形成. 第11回放射線事故医療研究会 ; 2007.8 ; 福島.

緒方裕光. 健康危機管理情報の網羅的収集／評価及び統合／提供に関する研究. 地域健康危機管理研究成果発表会 ; 2007.2 ; 東京. 同抄録集. p.113-116.

星佳芳. 診療ガイドラインのエビデンスとしての臨床試験・治験. 歯科薬物療法 2007 ; 26(3) : 104.

安藤雄一, 深井穫博, 星佳芳, 花田信弘. 歯科保健行動と社会経済要因の関連 ネットリサーチを用いた全国調査. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10 特別附録) : 568-569.

藤井仁, 土井徹, 星佳芳, 水嶋春朔. 健康危機対応における個人情報利用と保護に関する研究. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10 特別附録) : 335.

磯野威, 橘とも子, 郡山一明, 山口亮, 星佳芳, 水嶋春朔, 遠藤弘良. 地域健康危機管理 e-Learning プログラムの開発および評価に関する研究. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10 特別附録) : 256.

泉峰子, 星佳芳, 石川雅彦, 大夢賀政昭, 熊川寿郎, 杉山英男, 武村真治, 橘とも子, 筒井孝子, 土井徹, 土井由利子, 中板育美, 西村秋生, 東野定律, 平野かよ子, 藤井仁, 藤原真一郎, 水嶋春朔, 山口一郎, 林謙治. 国立保健医療科学院「ガイド情報ライブラリー」におけるインターネット情報配信. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10 特別附録) : 243.

星佳芳, 山口一郎, 安藤雄一, 野村義明, 磯野威, 泉峰子, 藤井仁, 内藤徹, 内藤真理子, 細井香, 和田耕治, 佐藤敏彦. 厚生労働科学研究における保健医療福祉ガイドライン等の作成状況と情報公開手法. 第66回日本公衆衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 松山. 日本公衆衛生雑誌 2007 ; 54(10 特別附録) : 243.

安藤雄一, 相田潤, 深井穫博, 星佳芳, 花田信弘. ネットリサーチを用いたフッ化物利用に関する全国意識調査. 第56回日本口腔衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 東京. 口腔衛生学会雑誌 2007 ; 57 : 478.

内藤真理子, 内藤徹, 星佳芳, 中山健夫. CPI と喪失歯数から見た口腔状態と QOL の関連 職域を対象とした横断研究. 第56回日本口腔衛生学会総会 ; 2007.10.24-26 ; 東京. 口腔衛生学会雑誌 2007 ; 57 : 529.

藤井仁, 星佳芳, 土井徹, 水嶋春朔, 安富潔. 健康危機発生初動時の個人情報の流れに関する研究. 第18回公衆衛生情報研究協議会研究会 ; 2007 ; 和光. 同抄録集. p.15.

佐藤敏彦, 佐藤康仁, 星佳芳, 細井香, 池田俊也. 健診・レセプト突合データを用いた生活習慣病関連医療費の分析. 第77回日本衛生学会総会 ; 2007.3 ; 大阪. 日本衛生学雑誌 2007.03 ; 62(2) : 510.

細井香, 池田俊也, 佐藤康仁, 星佳芳, 佐藤敏彦. 健診・レセプト突合データを用いた受診行動分析 健診結果別受診割合. 第77回日本衛生学会総会; 2007.3; 大阪. 日本衛生学雑誌 2007.03; 62(2): 509.

その他学術報告 (研究調査報告書含む)

緒方裕光, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「健康危機管理情報の網羅的収集/評価および統合/提供に関する研究」(課題番号 H17-健康一般-015) 平成18年度研究報告書. 2007.

緒方裕光, 野添篤毅, 土井徹, 橘とも子, 星佳芳, 泉峰子, 磯野威. 健康危機管理支援情報システム (H-CRISIS) における課題について. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「健康危機管理情報の網羅的収集/評価および統合/提供に関する研究」(主任研究者: 緒方裕光. 課題番号 H17-健康一般-015) 平成18年度研究報告書. 2007. p.95-109.

緒方裕光, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「助成研究成果における追跡評価手法の開発に関する調査研究」平成18年度研究報告書. 2007.

緒方裕光, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金医療技術評価総合研究事業「患者/家族のための良質な保健医療情報の評価・統合・提供方法に関する調査研究」平成18年度研究報告書. 2007.

緒方裕光, 磯野威. 保健医療情報の評価・利用におけるインターネットの有効活用. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「患者/家族のための良質な保健医療情報の評価・統合・提供方法に関する調査研究」(主任研究者: 緒方裕光. 課題番号 H17-健康一般-015) 平成18年度研究報告書. 2007.

鈴木元, 緒方裕光. TobLab ラウンドロビン研究一ター, ニコチン, 一酸化炭素の測定結果一. 厚生労働科学研究費補助金「たばこ規制枠組条約に基づく有害化学物質等の新しい国際標準化試験法に関する研究」(主任研究者: 遠藤治) 平成18年度研究報告書. 2007. p.10-14.

緒方裕光. e-ラーニングプログラムにおける情報の効率的利用に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標, 効果の評価および人材育成に係る e-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究」(主任研究者 橘とも子. 課題番号: H18-健危一般-003) 平成18年度研究報告書. 2007. p.177-183.

鈴木元 (主任研究者), 山口一郎, 杉山英男, 緒方裕光, 笠置文善, 藤原佐枝子, 毛利一平, 米原英典. 厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「屋内ラドンの肺がんリスク研究の現状評価と課題に関する研究」平成18年度研究報告書. 2007.

土井徹, 主任研究者. 山崎力, 梶尾裕, 伊藤弘人, 緒方裕光, 磯野威. 厚生労働科学研究費補助金特別研究事業

『府省共通研究開発システム』の比較検証」平成18年度研究報告書. 2007.

土井徹, 主任研究者. 厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「倫理指針の運用及び遵守状況の調査」(主任研究者: 土井徹) 平成18年度報告書: 2007.

緒方裕光. チェルノブイリ地域の公衆衛生システム. 平成18年度チェルノブイリ事故報告関連調査 (原子力安全基盤機構委託調査). 2007. p. I-91-100.

緒方裕光. 疫学に関する考察. 平成18年度チェルノブイリ事故報告関連調査 (原子力安全基盤機構委託調査). 2007. p. II-42-45.

緒方裕光. リスク評価のモデルと方法. 平成18年度チェルノブイリ事故報告関連調査 (原子力安全基盤機構委託調査). 2007. p. II-82-86.

緒方裕光. 疫学的証拠. 平成18年度チェルノブイリ事故報告関連調査 (原子力安全基盤機構委託調査). 2007. p. II-261-262.

星佳芳, 西村秋生, 磯野威, 泉峰子, 母里裕子, 藤井仁, 富田薫子, 宮澤博子, 古川洋子. 助成研究成果における追跡評価手法の開発に関する調査研究. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「助成研究成果における追跡評価手法の開発に関する研究」(主任研究者: 緒方裕光 (課題番号: H18-特別-指定-003) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.27-50.

藤井仁, 土井徹, 星佳芳. 健康危機への対応における個人情報保護の問題 - 初動時を中心とする -. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機発生から原因特定に至る初動時の個人情報の利用と保護に関する研究」(主任研究者: 土井徹 (課題番号: H18-健危一般-002) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.7-24.

土井徹, 水嶋春朔, 星佳芳, 藤井仁. マスコミ報道における記事から見た健康危機発生時の個人情報の問題に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機発生から原因特定に至る初動時の個人情報の利用と保護に関する研究」(主任研究者: 土井徹 (課題番号: H18-健危一般-002) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.52-61.

土井徹, 鈴木元, 花田信弘, 今井博久, 大江裕一郎, 西川正子, 星佳芳, 藤井仁. 研究機関を対象とした倫理指針の運用及び遵守状況の調査. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「倫理指針の運用及び遵守状況の調査」(主任研究者: 土井徹 (課題番号: H18-特別-指定-002) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.38-78.

土井徹, 鈴木元, 花田信弘, 今井博久, 大江裕一郎, 西川正子, 星佳芳, 藤井仁. 研究者を対象とした倫理指針の運用及び遵守状況の調査. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「倫理指針の運用及び遵守状況の調査」(主任研究者: 土井徹 (課題番号: H18-特別-指定

－002) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.79-117.

星佳芳, 西川正子, 大江裕一郎, 藤井仁, 母里裕子. 臨床研究 倫理指針に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業「倫理指針の運用及び遵守状況の調査」(主任研究者: 土井徹(課題番号: H18－特別－指定－002) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.124-134.

安藤雄一, 星佳芳. 臨床研修指導カリキュラムの作成に関する研究. 分担研究報告書 厚生労働科学研究費補助金

医療安全・医療技術評価総合研究事業「新歯科医師臨床研修制度における研修歯科医師指導に関する研究(修了基準に関する研究を含む)」(主任研究者: 花田信弘(課題番号: H18－医療－一般－048) 平成18年度総括研究報告書. 2007. p.3-6.

今井奨, 星佳芳. 歯科医療安全ガイドラインの作成に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「新歯科医師臨床研修制度における研修

歯科医師指導に関する研究(修了基準に関する研究を含む)」(主任研究者: 花田信弘(課題番号: H18－医療－一般－048) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.7-10.

石井拓男, 星佳芳. 指導ガイドラインの作成に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業「新歯科医師臨床研修制度における研修歯科医師指導に関する研究(修了基準に関する研究を含む)」(主任研究者: 花田信弘(課題番号: H18－医療－一般－048) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.11-16.

橘とも子, 星佳芳, 泉峰子. 健康危機管理担当者のコンピテンシーに関する調査研究. 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標, 効果の評価および人育成に係る e-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究」(主任研究者: 橘とも子(課題番号: H18－健危－一般－003) 平成18年度総括・分担研究報告書. 2007. p.8-136.

Originals

Tokuda Y, Takahashi O, Ohde S, Ogata H, Yanai H, Shimbo T, Fukuhara S, Hinohara S, Fukui T. Health locus of control and use of conventional and alternative care : a cohort study. *British Journal of General Practice* 2007 ; 57 : 643-49.

Naito M, Miyaki K, Naito T, Zhang L, Hoshi K, Hara A, Masaki K, Tohyama S, Muramatsu M, Hamajima N, Nakayama T. Association between vitamin D receptor gene haplotypes and chronic periodontitis among Japanese men. *Int J Med Sci* 2007 ; 4 : 216-222.

Proceedings with abstracts

Ogata H, Morlier JP, Monchaux G. Statistical model for the evaluation of dose rate effects in experimental survival data. In : 41th Annual Meeting of The Japanese Health Physics Society ; 2007 Jun ; Tokyo. Abstracts. 2007. p.138.

Endo O, Matsumoto M, Sugita K, Nakajima D, Goto S, Ogata H, Suzuki G. Mutagenicity of mainstream smoke condensate of major cigarettes in Japan with smoking machine. In : 1st Asian Conference on Environmental Mutagens & 36th Annual Meeting of The Japanese Environmental Mutagen Society ; 2007 Nov ; Kitakyusyu. Abstracts. 2007.

Hoshi K, Mori R, Hayashi K, Doi T. Challenge in developing public health preparedness guidelines – a Japanese example. 4th Annual G-I-N Conference ; 2007.8 ; Toronto. 4th Annual G-I-N Conference Program, p.77.

Tachibana T, Izumi M, Isono T, Hoshi K, Mizushima S, Endo H. Evaluation of e-Learning programs : Developing and assessing programs for regional public health emergency management. In : The 39th Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health ; 2007 Nov ; Sakado, Saitama. p.219-220.